

SHIMANE UNIVERSITY



島根大学 2013-2014

大学概要 PROFILE OF SHIMANE UNIVERSITY



豊かな感性とタフな心を持った大人に!

日本経済が回復基調となり、グローバル志向が強まっています。

島根大学では、昨年から海外交流大学を積極的に増やすと共に、今年度から副専攻として英語高度化プログラムを開設し、英語力アップに取り組んでいます。また、今年度は国際交流センターに日本語強化コースを開設します。フレキシブルな国際交流を推進してグローバルな感性を養成すると共に、ローカルには企業等での社会実体験を通じて、タフで思いやりのある心を涵養する教育を行っています。地域社会体験は相互にニーズを掘り起こす産官学連携に貢献すると共に将来の自分の進む道を選ぶ上でも役立ちます。留学生の島根県での就職活動の支援も開始しています。

さらに、学部の壁を超えた自由度の高い実学精神を持った学際的教育・研究を推進すべく、卒業研究でも理工・農学等と医学の相互乗り入れを開始しました。一つの学部では出来なかった新しい分野での発見や応用に繋がります。

地域の知の拠点として、島根から発信できる人材を育て、島根を活性化することが島根大学の使命と考えています。

島根大学長 小林 祥泰



目 標

1. グローバルな感性を涵養

短期留学を含めて本学からの海外研修、留学を推進(交流協定校の増加)
(英語教育の強化:英語高度化プログラムの新設、海外研修)(日本の文化を学び自信を持って異文化交流できるように古代出雲から小泉八雲までの郷土の歴史、文化を学ぶ「出雲文化学」(2単位)を新設)
海外からの留学生増加、日本での就職を推進
(日本語教育強化、アジア等の日本語学校との連携)
学内外の留学生と本学学生との定期的交流の促進(交流会増加、今年度から留学生混住学生寮を増設)

2. 社会人力(人間力)涵養

教育学部で実施している1000時間体験学修、総合理工学研究科で拡充したインターンシップ、医学部の地域臨床実習に加え、もっと広い意味での人間力涵養のため、低学年から参加する学生主体の地域社会体験(ソーシャル・ラーニング)を全学的に実施する。また「大学と地域社会を結ぶ大学間連携ソーシャルラーニング」として山陰5大学連携事業を経済団体などと協力して行う。

3. 自ら学ぶことが出来る(応用力がある)人材養成

学部の壁を越えて学ぶシステムを、すでにある医理工連携コースなどの大学院だけでなく、学部教育にも今年度から学際的卒業研究として導入する。また、英語高度化プログラムや環境教育プログラムに加え、IT関連プログラムなどの全学で展開する特別副専攻プログラムを追加開設していく。

以上のような施策により、地域で活躍する人材育成や産官学連携研究推進にも繋がることを目指す。

島根大学憲章

島根大学は、学術の中心として深く真理を探究し、専門の学芸を教授研究するとともに、教育・研究・医療及び社会貢献を通じて、自然と共生する豊かな社会の発展に努める。とりわけ、世界的視野を持って、平和な国際社会の発展と社会進歩のために奉仕する人材を養成することを使命とする。

この使命を実現するために、島根大学は、知と文化の拠点として培った伝統と精神を重んじ、「地域に根ざし、地域社会から世界に発信する個性輝く大学」を目指すとともに、学生・教職員の協同のもと、学生が育ち、学生とともに育つ大学づくりを推進する。

1. 豊かな人間性と高度な専門性を身につけた、自ら主体的に学ぶ人材の養成

2. 特色ある地域課題に立脚した国際的水準の研究推進

3. 地域問題の解決に向けた社会貢献活動の推進

4. アジアをはじめとする諸外国との交流の推進

5. 学問の自由と人権の尊重、社会の信頼に応える大学運営

PROFILE OF SHIMANE UNIVERSITY CONTENTS

- 01 学長メッセージ
- 02 目標/島根大学憲章
- 03 豊かな人間性と高度な専門性を身につけた、自ら主体的に学ぶ人材の養成
- 05 特色ある地域課題に立脚した国際的水準の研究推進
- 07 地域問題の解決に向けた社会貢献活動の推進
- 09 アジアをはじめとする諸外国との交流の推進
- 11 学問の自由と人権の尊重、社会の信頼に応える大学運営
- 13 法文学部・人文社会科学研究科
- 14 教育学部・教育学研究科
- 15 医学部・医学系研究科
- 16 医学部附属病院
- 17 総合理工学部・総合理工学研究科
- 18 生物資源科学部・生物資源科学研究科
- 19 法務研究科
- 20 キャンパスマップ(松江)/附属図書館(本館・松江)
- 21 キャンパスマップ(出雲)/附属図書館(医学図書館・出雲)
- 22 学内施設等

データブック

- 24 沿革・学年暦
- 25 沿革図
- 27 運営組織図
- 29 役職員・経営協議会委員・教育研究評議会評議員
- 31 教職員数
- 32 学部・大学院
- 33 附属図書館
- 34 附属病院
- 35 学生数/附属学校児童・生徒・幼児数
- 37 入試状況
- 41 卒業生数・修了者数
- 43 卒業・修了後の状況
- 45 公開講座・公開授業
- 47 科学研究費補助金等の受入状況
- 48 収入・支出決算額
- 49 外国人留学生の受入状況
- 50 留学状況/奨学生数
- 51 定期刊行文献
- 52 土地・建物
- 53 連絡先一覧
- 54 アクセス

豊かな人間性と高度な専門性を身につけた、自ら主体的に学ぶ人材の養成

島根大学では、学生主体の教育活動を一層促進することを目的に、学士課程教育を構築・実施しています。学士課程教育とは、大学卒業者に授与される学士号にふさわしい能力・資質を定め、体系的に構築された教育課程を通じてそれを獲得していくことを意味しています。質の保証された学士課程教育を通じて、現代社会の要請に応え得る豊かな教養と高い倫理観を備え、かつ、科学的探求心に富む有為な人材を育成します。

全学共通教育

専門分野を超えた能力・知識の育成

全学共通教育とは、専門分野の枠を超えて島根大学の学生に共通に求められる基礎的な力や幅広い知識を育成するための教育のことです。全学共通教育は、その履修を通じて島根大学の全学生が身に付けて欲しい能力・資質の目標(下の①から⑤)を定め、自らの学びをさらに深めることができる人間、現代社会を形成するにふさわしい人間を育成します。

- ① 知の探求者として育つ
- ② 市民社会の形成者として育つ
- ③ 地域社会の創造者として育つ
- ④ 国際社会の貢献者として育つ
- ⑤ 自己の開拓者として育つ



専門教育

基礎から専門へ深化する一貫教育

専門教育は学士課程ごとに定められた教育目標に応じて構築された教育のことです。全学共通教育で培った能力・資質を発展させるとともに、高い専門性を身に付けることを目指し、基礎から専門へと体系的に深化する一貫した教育を行っています。専門性を活かして現代社会の課題を発見し、理性的・創造的に解決する力を育成します。

各学士課程教育において、現代社会に対応した教育を実施します。

- 法文学部 人を知り、人を創る
- 教育学部 体験が育む、プロの教育実践力
- 医学部 人類の福祉と地域医療に貢献する医療人の育成
- 総合理工学部 科学・技術が創る人間の未来
- 生物資源科学部 “いのち”あふれる地球を育む

■ 特色ある全学教育プログラム

学びのセルフプロデュース ～自分でデザインする新しい学びの形～

島根大学では、自分の専門・専攻の学びに加え、「プラスαの学び」を用意しています。大学での学びを自分自身で計画的にデザインしていく仕組み、それが学びのセルフプロデュースです。

+α1 自分の興味を活かして学ぶ中から「イノベーション基礎力」を身につける

多様な価値が交錯し、これまで誰も当面したことがなかったような問題が次々に現れる今日の複雑な社会情勢の中、大学卒業者に求められている力、それがイノベーションを生み出す力です。既成の方法の適用ではなく、自ら新たな課題を発見し、その解決を独自の道筋を立てて追求し、変革(イノベーション)をもたらす力。それを手にいれるためにはまず、現実の社会との関わりを持ち、その実体験の中から主体的に学んでいく態度と方法を身につけることが重要です。

島根大学においてはキャンパスを飛び出し、山陰地域の自然・歴史・文化・産業を実体験しながら、講義だけではない学びを通して自己の向上を目指す「ソーシャルラーニング(地域社会体験)」プログラム、環境に関するグローバルで多角的な視野を有し、地域に貢献できる人材養成のための「環境教育」プログラムを用意しています。



+α2 キャンパスで、仕事の現場で、動いて学ぶ中から「人間力・就業力」を身につける

「人とともに 地域とともに」がキャッチフレーズである島根大学では、学生がキャンパスから飛び出し、地域の人、自然、文化から広く豊かな学びを得る活動を促進しています。本学では今現在、自らのキャリアを切り開く力をつける「就業力育成特別教育プログラム」が展開されています。このプログラムは、①キャリアデザイン力育成コース②グローバル人材育成コース③地域貢献人材育成コースの3コースで構成されています。キャリア教育科目の拡充、短期海外チャレンジ研修及び中山間地域での実地体験活動等を試みることで、国内企業及び海外や中山間地などの地域振興で活躍する幅広い人材養成を目指しています。



+α3 積極的な留学体験と英語高度化プログラムで「国際感覚・英語力」を身につける

島根大学では国際感覚あふれる幅広いものの見方を身につけ、それを実践的に活かすことができるように、グローバルな教育を展開しています。高度な英語力を身につけ、グローバル社会に必要な資質を養成する「英語高度化プログラム」、医療現場で役立つ英語を向上させ、地域と世界に貢献できるグローバルな医療人を目指す「アドバンスト・イングリッシュスキルコース」(医学部)が開講されます。留学プログラムにおいては、グローバル体験をまず自ら試みるのが重要で、夏休み・春休みの約3週間を利用し、海外で学べる多くの短期海外研修プログラムと、学内選考を経て半年から1年の間、海外の交流協定校に留学できる短期交換海外留学制度が用意されています。



特色ある地域課題に立脚した国際的水準の研究推進

幅広い分野にわたって高度な研究成果を蓄積し、それぞれの分野においてアクティブな知能集団として研究活動を推進するとともに、多様化する社会の要請に柔軟に対応できる研究組織の拡充強化を図ります。大学の使命を果たすために、学問の自由の理念に基づき、常に自らの教育研究活動に対する点検・評価を行い、新たな知的創造に向けての努力を行います。

また、大学院における教育研究活動をさらに推進し、地域に密着した個性的な研究及び国際的レベルの独創的な研究を重点的に育成するとともに、人類に共通する知的財産の継承発展や社会貢献を目指す学問領域も大切に学風の構築を行います。

学部の枠を超えた研究活動「戦略的研究推進センター」

地域の知の拠点としての先端的研究の推進

全学的に取り組むべき具体的研究テーマを設定し、本学の特徴ある研究を集中的な経費配分のもとで推進しています。

重点的に取り組む研究プロジェクトは「戦略的研究推進センター」の次のような各部門及びプロジェクトセンターに位置づけられ、期限と目標を明確にして集中的に進められます。

戦略的研究推進センターのHPは、<http://www.proken.shimane-u.ac.jp/>をご覧ください。

重点研究部門

中期計画に沿った具体的研究テーマを学際的に推進し、本学の特色ある研究として国際的な研究拠点をめざす研究プロジェクトで構成されます。詳細については、次頁をご覧ください。

萌芽研究部門

数人規模の個別テーマや小規模な学際的なテーマで、近い将来本学の重点研究プロジェクトへの発展が期待される研究プロジェクトで構成されます。

特別研究部門

すでに外部資金等を獲得している研究のうち、本学が重要な研究と位置付け学内外に向けて情報発信することとした研究プロジェクトで構成されます。

プロジェクトセンター

部局を超えて特徴的な教育研究プロジェクトに参加する研究グループをプロジェクトセンターとして位置付けて見える化することにより、研究活動の一層の活性化と推進を目指すもので、平成25年1月に設置しました。

- | | |
|------------------------|--------------------------|
| 1. Ruby・OSSプロジェクトセンター | 4. ナノテクプロジェクトセンター |
| 2. くまびきジオパークプロジェクトセンター | 5. 自然災害軽減プロジェクトセンター |
| 3. 疾病予知予防プロジェクトセンター | 6. 農林水産業の六次産業化プロジェクトセンター |

研究内容の詳細については、<http://www.proken.shimane-u.ac.jp/research.j-new.html>をご覧ください。

ホームページに「研究見本市」開設

この島根大学研究見本市は、web上で本学の各教員の研究紹介を行い、学内の研究ニーズ・シーズの発掘や情報共有及び学外の皆さまに本学の研究シーズをわかりやすくご紹介することで、さらなる研究活動の活性化や共同研究の推進を図ろうとするもので、平成25年1月より開設いたしました。

「部局名」「教員氏名」「キーワード」により検索することができますので、是非ご活用ください。

<http://www.shimane-u.ac.jp/search/announce/index.cgi>からご覧いただけます。

平成25年度 重点研究プロジェクト

山陰地方における地域社会の存立基盤とその歴史的転換に関する研究

歴史的 analysis と現状 analysis から

山陰地方における諸課題の解決を目指す

現在、山陰地方は人口の減少や過疎化をはじめとした諸課題を抱えています。本研究では、これまで島根大学が取り組んできた山陰地方を対象とする共同研究の成果を継承し、同地方が直面する課題の解決を目指します。

山陰地方(特に石見東部海岸部)における地域社会の存立基盤の変容を3期に分け、人口の増減、過疎化の状況や消滅集落を把握し、諸産業の盛衰について調査を行います。その成果をもとに、流通・交通の変化や自治体の経済政策、産業の担い手育成、金融資本の動向等を総合的に把握し、歴史的 analysis と現状 analysis の結合を通じて過去の経済政策の効果を検証します。併せて、特定地域における人口の将来予測や想定される事態予測を行うことで、山陰地方における地域社会の未来像を示すとともに、産業の担い手育成や自治体等の政策に関しても提言を行うことを目指します。また、本研究の推進担当者は30~40代が中心であり、若手研究者の育成も期待されます。



大田市温泉津町今浦の海岸

コホート研究プラットフォームを活用した高齢者難治性疾患予防研究

医学・社会医学を統合した

学際的研究により健康長寿社会を目指す

島根県は日本でも有数の高齢県であり今後さらに高齢化が進むことから、認知症を始め骨粗鬆症、慢性閉塞性肺疾患、膝関節症、緑内障などの疾病の早期発見および予防は最重要課題になると予想されます。本研究は、高齢化先進地域を多く有する島根県に立地する大学の特性を活かし、先進的な研究と地域貢献を両立させようとする取り組みです。

まずコホート研究では過去の蓄積を基盤に、予後調査も含め内容のさらなる充実をはかります。先進的研究では認知症早期発見のための診断ソフトの開発やナノテクの応用、さらに高血圧や癌関連遺伝子の解析を行います。地域貢献では、高齢者疾患予防のための体制構築を試みることに、人と人のつながりを重視する地域社会の継続・発展のための学際的な学術研究を推進します。さらに医学部や人文社会科学系の学生が、コホート研究での健康調査やデータ解析等を体験することで、「現場体験」に基づく教育も実施します。

※コホート…特定の属性や外的条件(例えば地域)におかれた集団を意味する



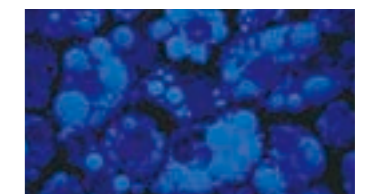
S-グリーン・ライフナノ材料プロジェクト

島根大学発のナノテク材料・技術で

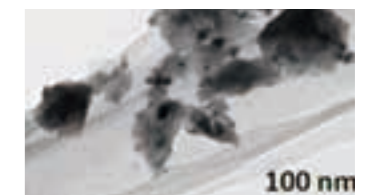
イノベーションの創出を目指す

医・理工・農連携のもと、島根大学が開発してきた「低コスト」「簡易」「実用性」、そして「安心」「安全」な技術開発を基盤とし、低炭素化社会や健康長寿社会の実現に向けたイノベーションの創出を目指すプロジェクトです。これまで島根大学が取り組んできた「S-ナノテク」、「S-匠ナノメディスン」プロジェクトを継承し、更なる発展を目指します。

本プロジェクトは、グリーンイノベーション、ライフイノベーション、基盤技術の3つのグループから構成されます。島根大学が開発した独自のナノ材料をもとに、「グリーン」では、低コスト太陽電池や新しい蓄電・熱電技術の開発、「ライフ」では、ナノ材料による早期診断・治療技術、食品応用技術等の開発を目指します。また「基盤技術」では、材料・評価の基盤技術の開発を行います。これらを継続的に発展させるための学内連携・連携教育を展開し、次なる大型研究プロジェクトへと発展することを目指します。



酸化亜鉛ナノ粒子による脂肪細胞の可視化



新規チタン酸バリウム系誘電体

地域問題の解決に向けた社会貢献活動の推進

山陰地域・環日本海地域という本学の置かれる地域の歴史的・地理的特性を生かして、人類に共通の財産としての学術・文化の継承発展を担い、さらに、地域固有のテーマに関する知的創造を通じて普遍的な真理を探求するとともに、本学が有する知的財産を活用して、教育・研究・文化の拠点として地域社会の発展に貢献します。このため、大学全体として地域のニーズに応える体制を構築することにより、地域に必要とされ、信頼される大学を目指します。

地域に飛び出す学生たち

スポーツを通じた交流

ボート部は水の都ならではの行事「レガッタ」の運営に参加するとともに、ボート競技の普及活動に積極的に関わっています。さらに各種スポーツ競技団体は、地域で開催される競技会へ補助員として参加、また学校等に向いて学童に実技指導等を行っています。



ボランティア活動

ボランティアに取り組む学生が多いのも島大の特徴の1つです。療養所や保育園との交流、遊びを通じて世代間交流を図るプレプレまつえキッズ、献血推進サークル「ぐっば」等々、笑顔と心で地域との交流を深めています。またボランティア活動やサークル活動などの正課以外の諸活動を頑張る学生にポイントを付与することにより応援する、ピピットポイントという大学独自の制度があります。
<http://shienp2.jn.shimane-u.ac.jp>



大学の開放

公開講座・公開授業

島根大学にはバラエティーに富んだ公開講座・公開授業、そして市民に開放された施設が用意されています。生涯教育推進センターを窓口、これまで多くの公開講座・公開授業を実施してきました。これからもさまざまな講座や授業、イベントを企画提供し、地域市民の生涯学習意欲に応えていきたいと考えています。



松江の茶の湯文化と出雲の陶磁文化



脂質栄養と健康



金曜日のドイツ語

春と秋の農場開放日

松江市上本庄町の「附属生物資源教育研究センター」(通称:本庄農場)において、春の桜開花期と、秋の収穫期に一般開放事業を実施しています。地域の人々にとっても恒例行事となっています。



産学連携の具体例

省エネ住宅を実現する調湿木炭「炭八」の利用技術の開発

出雲土建株式会社、出雲カーボン株式会社(出雲市)と島根大学の様々な分野の教員とが共同研究を行い、床下や天井など住環境で調湿材として利用できる高性能な木炭を開発し、「炭八」として商品化に成功しています。今回、総合理工学研究科の中井毅尚准教授は、調湿木炭「炭八」をマンションなどの天井裏などに敷設する効果について共同研究を行い、省エネ効果が期待できることを明らかにしました。天井に「炭八」を敷設した部屋と敷設しない部屋とを用意して実験を行い比較した結果、「炭八」を敷設した部屋ではエアコンの消費電力が、夏場の冷房時には約24%削減でき、冬場の暖房時には約11%削減できることが確認されました。このように、天井などに「炭八」を敷設することによりエアコンの消費電力が節電でき省エネに貢献できることがわかりました。これは、調湿木炭「炭八」の断熱・蓄熱効果が大きな要因と推測されていますが、その原因については解明を進めています。



天井に調湿木炭「炭八」を敷設した状況

これまでの継続した共同研究から、この木炭を効果的に利用することで除湿、カビ・ダニの発生抑制、防音、省エネなどに効果のある「炭の家」(賃貸マンション)を開発し出雲市を中心に建設が進められ、住環境の改善や地球環境問題の対応につながる技術として多方面から全国的に注目を集めています。

このように地域の企業と島根大学とが連携して研究・開発を行い、その成果が実用化され地域産業の発展に貢献しています。さらに、共同研究の成果は、日本建築学会などをはじめ多数の学会で報告されており、学術研究の発展にも貢献しています。

医師やメディカルスタッフを支援するマタニティ白衣の研究開発

この白衣は、島根大学医学部附属病院ワークライフバランス支援室が、大東白衣(雲南市)および日昇産業(広島市)と連携し、産学共同で開発しました。開発の過程で出雲キャンパスに勤務する妊娠中の医師、メディカルスタッフや教員がモニターとして協力し、機能性とデザイン性に配慮した様々な改良を重ねて「ありそうで、実はなかった」画期的なコートタイプのマタニティ白衣が完成しました(2011年5月30日 島根大学より特許出願済)。この白衣は共同研究先の大東白衣と日昇産業から市販されており、さらにワークライフバランス支援室は、職員・学生であれば誰でも、必要な時期に利用できるレンタル制度を開始しています。また、開発したマタニティ白衣については、全国に広く報道されたことで、病院や研究機関からの問い合わせも多く、今後広く普及するものと期待されます。



コートタイプのマタニティ白衣

地域資源-薔薇「さ姫」のエキスによる芳香療法

出雲大社の境内には「看護の神(蛸貝比売命・蛤貝比売命)」が祀られています。そこで島根大学は、看護学を核とする共同研究(看護連携・看工連携)を推進し、その一環として地元農家の奥出雲薔薇園が開発した芳香性の高い薔薇「さ姫」のエキス(トップノート)のアロマ効果を検証しました。その結果、認知症高齢者の介護で困難な場面である入浴時において、薔薇「さ姫」の芳香により感情を穏やかにすることが実証されました。「さ姫」については、「食」の観点からも癒し効果について産学連携で共同研究を進めています。この一連の活動「看工農連携による認知症研究の体制構築・実践と境界領域の融合戦略」に対して、第7回モノづくり大賞・特別賞(日刊工業新聞社主催)を関連する3団体(島根大学、奥出雲薔薇園、介護老人保健施設もくもく)が受賞しました。



アジアをはじめとする諸外国との交流の推進

最先端の学術・文化に関する情報を世界に発信するとともに、研究者・技術者・学生による学術・技術・文化の交流を通じて国際社会に貢献します。特に、環日本海地域との国際共同研究、学術交流及び留学生交流に重点を置きます。人情に厚く、住みやすい島根県に所在する本学の歴史的・地理的特性を活かして、日本の自然と文化に触れてもらい、外国人研究者との共同研究や「未来からの大使」としての留学生の教育や交流などを通じて大学の最新情報を世界に発信します。

学生交流

島根大学では、海外の協定校のうち「学生交流に関する協定書覚書」を締結している協定校から交換留学生を受け入れるのと同時に、島根大学の学生を学籍上「在学」の扱いで、その大学に交換留学生として派遣することにより学生の相互交流を推進しています。

また、交換留学制度以外にも授業の一環として、春や夏の長期休暇の時期に米国、カナダ、韓国、中国、シンガポールでの海外研修を実施しています。この研修は、ホームステイ、文化講座の受講、現地学生との交流会等盛りだくさんの内容になっています。この研修に参加し、自身の成長を体感した学生が、改めて交換留学に申込みケースもあります。

米国 アーカンソー大学との連携による春期海外研修

アーカンソー大学で毎年春に本学の学生が約3週間の海外研修を行っています。この研修はアーカンソー大学英語学習センターでの授業、ホームステイ体験、カンパセーションパートナーとの交流、豊かな自然環境の中での野外活動等、様々な体験を通して実践的な生きた英語を学びます。



研修の様子(2013年2月)

中国 寧夏大学・中国人民大学との連携による夏期研修

寧夏回族自治区にある寧夏大学と北京で約10日間に渡る短期研修を実施しています。この研修では、特別講義、名所旧跡見学、中国人学生との交流会等を通じて、中国に対する理解を深めることができます。また、日本と中国との違いだけでなく、中国国内においても西北部の銀川市と首都の北京市とでは、文化や気候・風土に非常に大きな違いがあることが体験できます。



鎮北堡西部影城にて(2012年9月)

交流協定締結校

2013.5.1現在

| 大学等名 | 国名 | 協定締結日 | 大学等名 | 国名 | 協定締結日 |
|------------------------|------|------------|------------------------------------|---------|------------|
| セントラル・ワシントン大学 | アメリカ | 1982.3.26 | 山東大学 | 中国 | 2005.7.20 |
| ケント州立大学 | ◇ | 1982.8.31 | 浙江大學教育學院 | ◇ | 2006.3.31 |
| カリフォルニア大学デイビス校 | ◇ | 1986.2.11 | 東北師範大学 | ◇ | 2012.11.22 |
| アーカンソー大学 | ◇ | 1993.3.1 | 延世大学校 | 韓国 | 1989.6.3 |
| コロラド大学医学部健康科学センター | ◇ | 2006.2.23 | 釜山教育大学校 | ◇ | 1990.3.23 |
| テキサス大学ダラス校 | ◇ | 2007.8.10 | 慶尚大学校 | ◇ | 1991.3.5 |
| フロリダ大学教養学部 言語文学文化学科 | ◇ | 2009.12.4 | 慶北大学校 | ◇ | 1991.3.6 |
| アリゾナ大学 | ◇ | 2010.5.26 | ジャン・ムラン・リヨン第3大学 | フランス | 1990.11.24 |
| テキサス大学タイラー校 | ◇ | 2012.10.17 | オルレアン大学 | ◇ | 2002.7.12 |
| 東北林業大学 | 中国 | 1989.12.28 | モンゴル科学技術大学 | モンゴル | 1999.3.24 |
| 南京林業大学 | ◇ | 1993.4.15 | モンゴル健康科学大学 | ◇ | 2002.10.4 |
| 中国農業大学 | ◇ | 1996.12.29 | トリバン大学 | ネパール | 1991.12.8 |
| 寧夏大学 | ◇ | 1997.8.18 | アンダラス大学 | インドネシア | 1997.5.6 |
| 北京林業大学 | ◇ | 1997.8.23 | ハノイ医科大学 | ベトナム | 2005.10.17 |
| 吉林大学 | ◇ | 1999.2.1 | トリア大学第2学部 | ドイツ | 2008.11.20 |
| 河北師範大学 | ◇ | 2002.7.29 | リンショー・ピン大学 | スウェーデン | 2005.4.21 |
| 大連大学 | ◇ | 2003.6.30 | キングモックウト工科大学 トンプリ校生物資源テクノロジー研究科 | タイ | 2010.12.23 |
| 寧夏医科大学 | ◇ | 2004.2.27 | マヒドン大学シリラジ病院 | ◇ | 2011.2.2 |
| 北京師範大学 | ◇ | 2004.3.18 | ダッカ大学 | バングラデシュ | 2011.4.12 |
| 中国人民大学経済学院 | ◇ | 2005.4.14 | セメイ国立医科大学 | カザフスタン | 2013.1.28 |



交流協定締結校がある国

国際交流センター

国際交流センターは、その前身である1998年開設の留学生センターの成果を受け継ぎ、2007年より多くの関係者のご協力を得て島根大学の国際交流事業を推進しています。本センターでは、島根大学憲章の精神に基づき、グローバル人材育成を目指して国際的通用性を養う講義を行うと共に、海外の40の協定大学や地域のコミュニティと連携しながら次のような重点施策を推進しています。

1. 島根大学の重点教育研究分野において海外の先進大学群との戦略的ネットワークの構築
2. 島根大学から派遣する学生数や研究者数の増加
3. 海外からの留学生や研究者の受け入れ体制の強化

島根大学の学生や留学生の皆さんには、国際交流センターの活動を良く知っていただき、気軽に相談できるセンターとして利用して貰いたいと考えています。



島根大学・寧夏大学国際共同研究所

1987年、本学農学部(現生物資源科学部)の教員が外国人として初めて中国寧夏回族自治区南部山区に入り学術調査を行い、それがきっかけになり、本学と寧夏大学との研究交流が始まりました。研究交流開始10周年にあたる1997年には、両大学間で交流協定が締結されました。2005年9月には、両大学間で長年続けてきた研究交流を本格発展させると共に、人材育成事業に協力するため、寧夏大学キャンパス内に島根大学・寧夏大学国際共同研究所が完成しました。この研究所では、都市と農村との地域間格差問題、中山間地域(条件不利地域)の活性化、開発と環境問題などを主テーマとして共同研究を行い、これまで10回にわたって学際的な国際シンポジウムを重ね、2013年5月には、『日中農村における持続可能な社会構築と環境教育』をテーマにした国際シンポジウムを島根大学で開催しました。

このシンポジウムでは、農業・農村の振興と持続可能な発展に関して、農業技術の開発・普及、農村の生活福利の向上、意識改革と環境教育など多様な側面から報告が行われ、研究交流ネットワークの拡大が提案されました。

島根大学は、今後も当研究所での研究成果を世界に発信するとともに、国際交流と人材育成を積極的に展開し、当研究所を中国・西部地域研究の拠点として活用していく予定です。

研究所の業務内容

- 研究事業(主なテーマ)
 - 「寧夏南部山区と日本の中山間地域の持続可能な発展に関する研究」
 - 「生態系・環境の保護と再生に関する調査研究」
 - 「農村経済と社会発展の比較研究に関する調査研究」等
- 学術交流、文化交流、国際学術フォーラムの開催(日本・中国)
- 図書館資料の蓄積と提供
- 中国の地方政府への政策提言
- 島根県、松江市等の国際交流事業への協力



学問の自由と人権の尊重、 社会の信頼に応える大学運営

教育研究環境の向上・充実を図るために、教員組織と事務組織その他全ての職員組織を有機的に機能させ、大学においては学生へのサービス体制と教育研究、附属病院においては教育研究及び医療を重視した管理運営を目指します。このため、本学独自の多面的な自己点検・評価及び外部評価を活用し、学長のリーダーシップと補佐体制の充実による企画・立案機能の向上と迅速かつ合理的に目標や計画の実行が可能となる管理運営組織を構築するとともに、その責任体制を明確にします。また、教職員・学生の声が反映され、透明性のある管理運営を行うとともに、教職員にとって働きがいのある職場環境の充実を図ります。

教職員・学生みんなの「声」が創る島根大学

島根大学では、学生の現状を把握し、彼や彼女らの声を聞き上げ、教育改善を図るべく、入学時アンケート、初年次教育ポストアンケート、授業評価アンケート、卒業生・修了生アンケートを教学企画IR室と教育開発センター中心に実施しています。各アンケートの結果は、教員にフィードバックされ、授業を改善する際の基盤として位置づけられます。

FD・SD(大学教職員の能力向上・資質開発)は、従来の大学教育の中で質の高い活動を行っていくと同時に、大学の概念にとらわれずに地域の様々な方との関わりの中で意見交換を行っています。さらにより質の高い教育を実施するためには、学びの主体となる学生の意見も重要です。授業評価アンケートでは、個々の教員が学生の声を教育改善に反映しやすいシステムを整えました。また、先輩学生が後輩をサポートする様々なピアサポートプログラムも展開しています。

このように島根大学では、学生の声や教職員の協働をもとに、よりよい大学環境づくりを邁進しています。



大学と地域を結ぶソーシャルラーニング

島根大学では、平成24年度から、文部科学省「大学間連携共同教育推進事業」の採択事業である「大学と地域社会を結ぶ大学間連携ソーシャルラーニング」に取り組んでいます。この取り組みは、代表校である本学の他に、連携校として島根県立大学・鳥取環境大学・島根県立大学短期大学部・鳥取短期大学、協力校として米子高等専門学校・松江高等専門学校という山陰地域の高等教育機関が参加して、地域社会の方々との共同で学生を育成していくものです。

本取り組みでは、「ソーシャルラーニングポリシー」という教育目標を設定しています。それは「山陰地域をフィールドに、その豊かな自然・歴史・産業・文化的資産を活かし、地域社会と高等教育機関が協働して「主体性」、「コミュニケーション能力」、「イノベーション基礎力」を備えた人材の育成を行う」というものです。この目標に向かって大学と地域が連携して教育を行っていきます。

「ソーシャルラーニング」とは、ここでは社会での活動を通じて学びあうことを指します。教室で学ぶという従来の大学での授業スタイルに加えて、学生は、地域社会に飛び出していくことで、様々な学びの体験をすることになります。



ワークライフバランスの実現

島根大学では、構成員の職場環境を整備し、組織を最大限に機能させることにより、教育研究環境の向上・充実を図っています。

男女共同参画推進室では、ホームページやメールマガジン等を通じた妊娠、出産、育児及び介護に関する支援制度の紹介や、育児休業を取得したことがある男性職員による子育てに関するコラム集「育児するお父さんへのエール」の配付、また、講演会等の意識啓発事業を行っています。

平成25年1月には、島根県では6例目となる「子育てサポート企業」(国が認定する子育て支援に取り組む企業・団体)として認定され、認定マーク「くるみん」を取得しました。

また、出雲キャンパスでは「病児・病後児保育」、公設の学童保育終了時刻後に保育者の勤務終了まで子どもを預かる「学童一時保育」の実施、並びに就学前の子どもを預かる院内保育所の設置等保育支援を行っています。

平成24年度、医学部全教職員・医学部生を対象とした院内保育所ニーズに関するアンケートの集計結果を踏まえ、平成25年度より利用要項を改正し、土日祝日の開所(年末年始は除く)、終夜保育(週3日)、夕食付延長保育、一時保育等さらなる利便性向上に努め、出産後の職場復帰に寄与しています。

医学部附属病院では、平成19年3月に女性医師・全ての医療従事者が安心して働くことができる病院として「働きやすい病院評価」の認証を国立大学病院として初めて受け、平成24年3月に認証の更新が認められました。また、病院の診療支援施設に「ワークライフバランス支援室」を設置し、働きやすく学びやすい医学部・附属病院を目指して様々な事業を行っています。本学職員の要望から産学共同で「コートタイプのマニティ白衣」を開発し、教職員・学生へのマニティ白衣のレンタル事業を行う等多様なライフスタイルに適合したキャリア継続支援を行っています。メンタルヘルスにも配慮した対応を心掛け、ソフトとハードの両面から職場環境を改善し、キャリアプランを実現できるようバックアップしています。



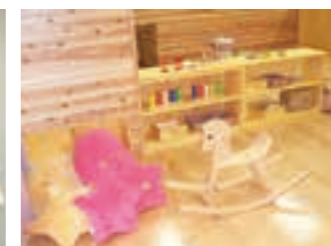
認定マーク「くるみん」



冊子「育児するお父さんへのエール」



コートタイプのマニティ白衣



医学部附属病院「うさぎ保育所」

島根大学の「今」を伝える

教職員・学生の活動を広く発信することで、地域に根付いた大学を目指しています。2011年4月には、新たに広報室を設置し、これまで以上に機動的・戦略的な広報・広聴活動に努めています。

本学広報誌『広報しまだい』は、四半期ごとに毎号43,000部、島根県全域及び鳥取県の一部の地域等に配布しており、教員の研究紹介や学生の活動を地域の皆さまに紹介しています。

また、教職員・学生の活動情報を共有し、双方向交流を可能とするため、公式Facebookページを立ち上げました。大学全体のコミュニケーションツールとして活用するとともに、学外の皆さまへの情報提供の場にもなっています。



法文学部 人文社会科学研究科

Faculty of Law and Literature
Graduate School of Humanities and Social Science

人を知り、人を創る

私たちは、他者との関わりをなかで自己という存在を強く意識しヒトから人へと成長していきます。人を知り、人を創る技を磨くことが、社会を、国家を、世界を知ることにつながっていくのです。全国屈指の少人数教育に情報技術や国際交流をとり入れた法文学部をステップとして、世界へ、人間探求へと飛躍してください。



教育学部 教育学研究科

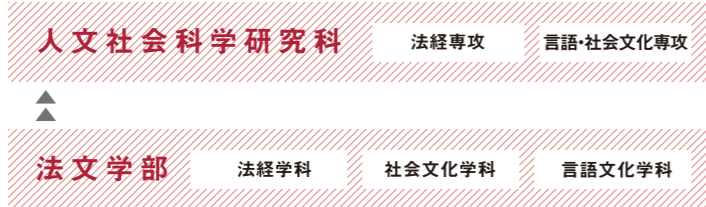
Faculty of Education
Graduate School of Education

体験が育む、プロの教育実践力

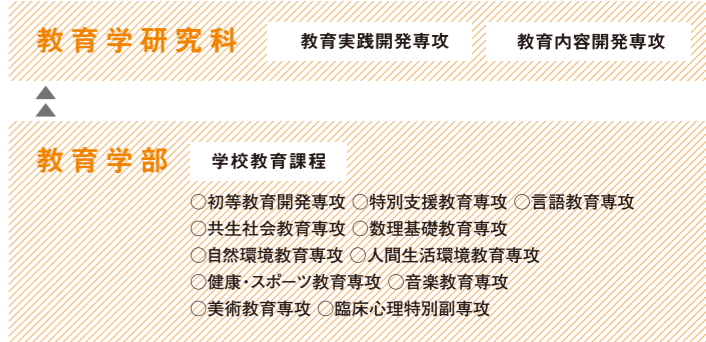
山陰地域唯一の教員養成専門学部です。21世紀の教育改革をリードし、地域の教育課題の解明と解決に積極的に取り組むとともに、1000時間体験学修等の独自の教師教育プログラムにより、教職への限りない情熱と様々な教育的課題に対応できる優れた教育実践力を備えた教員の養成を目指します。



■ 法文学部ホームページ
<http://www.hobun.shimane-u.ac.jp/>



■ 教育学部ホームページ
<http://www.edu.shimane-u.ac.jp/>



法経学科

法経学科では、経済学と法学の両面から社会について学び、民間企業の法務・金融担当者や司法書士、行政書士等の法律経済関係の専門、一般職に就く人を育成するだけでなく、法科大学院やビジネススクール、研究者養成大学院等に進学する人を育成します。また地域には、環境、少子高齢化、地方分権、中山間地域、地域振興等、解決すべき課題が山積みしています。これらの課題の解決に必要とされる法学・経済学の基礎的な知識と応用力を身につけ、分析能力・政策立案能力や問題処理能力を養うことによって、国・地方公共団体等の行政部門やNPOで活躍できる人を育成します。



社会文化学科

社会文化学科は現代社会・歴史と考古・福祉社会の3つのコースに分かれています。所属コースは、1年生の後期に決定されます。

現代社会コース

人間と環境、地域と人間の相互関係、地域社会の構造や機能、文化の特徴等を体系的に理解する視点を養います。座学中心の講義や演習に加えて、実験や観察、社会調査やフィールドワーク等の実習教育を重視し、データ収集と分析技法を身につけた人を育てます。

歴史と考古コース

歴史学では日本史・東洋史・西洋史・現代史について、考古学では日本列島を含めた東アジアを対象に、それぞれ専門的に教授し、理論と実地調査への認識を培っています。学生研究室は、学生自身が自主的に運営しており、分野・時代ごとの自主ゼミが開設されるほか、研修旅行も毎年企画しています。

福祉社会コース

現代社会の重要テーマである社会福祉の問題に取り組み、地域社会に貢献できる人の育成を目指します。講義や演習に加え、福祉現場での実習を通して社会福祉の全体像を学ぶことができます。本コースでは所定の科目を履修すれば、社会福祉士国家試験の受験資格が取得できます。



言語文化学科

言語文化学科では、東洋・西洋の言語文化について古代から現代まで幅広く学ぶことができます。学生の皆さんは2年生以降、所属する分野を自由に選び、自分が興味を持つ事柄を深く学びながら、言語文化を理解する方法を習得し、論理的に思考を表現する力を身につけ、語学力を高めていきます。

日本・東アジア言語文化分野

日本語学・日本文学の分野では、古代から現代に至るまでの日本語と、それによって生み出された文学について幅広く学ぶことができます。中国語学・中国文学の分野では、遠く神話、甲骨文字の時代から、現在活躍中の中国作家の作品に至るまで、広く研究することができます。

英米・ヨーロッパ言語文化分野

イギリスとアメリカ、及びドイツ・フランス語圏の言語、文学、文化の研究を通して幅広い視野、分析力を身につけます。また、様々な演習の授業を通じて各言語の読解力とコミュニケーション能力を高めます。異文化交流に積極的な学生が多く、毎年何人も語学研修や海外留学に出かけています。

文化の創造と理解分野

人が生み出したものを理解し、その理解をもとにしてさらに創造する—この分野では、継承・衝突・創造が繰り返す人間の文化活動を研究の対象にします。また、芸術・文学・映画・音楽などの作品にも実際に触れながら、文化理解のための技術を習得していきます。



初等教育開発専攻

現代社会における教育の使命を考えながら、確かな知識(理論)をもとに実践に取り組む資質・能力を備えた小学校の教師を育成します。理論と実践との往還を通して、よりよい授業や学級経営、学校経営を志向し続ける高度な専門性を獲得できます。

特別支援教育専攻

学習や生活上の困難を抱えた心身に障がいのある幼児・児童・生徒等を対象とする指導の基礎となる知識や教育実践力を身につけた教師の育成を目指します。

共生社会教育専攻

教職に関する基礎的学力はもちろん、歴史学、地理学、政治学、社会学、社会科教育学等の専門分野に立脚した教科内容の研究能力を育成し、社会科系諸教科の素養を養います。

言語教育専攻

<国語教育コース>

日本語学、古典文学、近代文学、漢文学、書写・書道、国語科教育学の6分野で専門の授業を行い、教員・社会人に相応しい実践的な国語力やコミュニケーション能力を修得していきます。

<英語教育コース>

英語教育の理論と実践を学ぶのはもちろん、英米文学の原典を読んでその真髄に触れたり、また会話や作文を通しての英語運用能力向上にも力を入れています。

人間生活環境教育専攻

家政教育(衣・食・住)、幼児教育、技術教育(ものづくり・栽培・情報)などの人間が生活していく上で基本となる知識を身につけます。さらに、それぞれの領域において、専門知識を身につけると共に、実習によって実践力を備えた教員を育成することを目指しています。

数理基礎教育専攻

計算や数式・図形を理解・操作する能力及び論理性を身につけ、数学について深く理解し、問題や課題を見つけ教材化する力を持ち、的確な指導と説明のできる教師の育成を目指します。

自然環境教育専攻

理科教員に必要な自然科学に関する基礎的知識・技能や探究方法を身につけるとともに、子どもの知的好奇心を刺激し、自然を探究する楽しさを伝えることができる指導法や教材開発について学びます。

美術教育専攻

基礎的な造形能力や美術教育理論を習得する授業と、それらの専門性を深める授業、さらには豊富な臨床的教育体験等でカリキュラムを構成し、造形と美術教育の理論及び実践的能力を身につけた教師の養成をします。

健康・スポーツ教育専攻

保健体育の理論や実践力を身につけるとともに、地域の子どもを対象にした様々なスポーツ活動支援を通して、子どもの理解を深め、発達段階に応じた適切な指導が行える専門的能力を育成します。

音楽教育専攻

声楽、ピアノ、管弦打楽器、作曲、音楽学、音楽教育学の各分野のうち、専科として1つの分野を深く追求するとともに、副科として幅広い分野を学ぶことができます。

臨床心理特別副専攻

臨床心理学の多様な技法と理論をベースに、児童生徒の心理を深く理解できる優れた専門性をもつ教師になれるよう、学びます。また、大学院に進学し、臨床心理士資格取得を目指すこともできます。

大学院 **人文社会科学研究科** ●法経専攻(法政コース・地域経済コース) ●言語・社会文化専攻(言語文化コース・社会文化コース)

入学した大学院生は、各自の研究課題や修了後に目指す進路に応じた4コース(法政コース、地域経済コース、言語文化コース、社会文化コース)のいずれかに属し研究のスキルをみがき、各分野の高度な専門的知識と技法を習得します。さらに、学際的・国際的 な研究を通じて、総合的実践的能力を育むことも目指します。

■ 人文社会科学研究科HP <http://www.hobun.shimane-u.ac.jp/jinbun/>

大学院 **教育学研究科** ●教育実践開発専攻 ●教育内容開発専攻

急速に国際化、情報化が進化する現代社会において、新時代を担うべき優れた教員を養成することが重要課題となっています。本研究科は、「スクール・リーダー」となる高度な資質を有する学校教員の養成を目的とし、山陰地域における教員養成基幹大学院として現職教員及び学部卒業生の双方を対象に高度な専門性に裏打ちされた、地域の教育界を担う人材の育成を目指しています。そのために、学校教育現場における学校教育研究、授業研究の力を養成する「教育実践研究」科目を開設するなど、学部教育のカリキュラムとの有機的関連性を重視しています。また、教職経験3年以上の現職教員を対象に、通常の2年課程に替る「1年短期履修コース」を設置し、教育課程・教育方法等に特段の措置を講じることで現職教員が自ら求める専門職性の向上に努めています。

■ 教育学研究科HP http://www.edu.shimane-u.ac.jp/gakubu_daigakuin/

医学部 医学系研究科

Faculty of Medicine
Graduate School of Medical Research

次世代を担う医療人の育成と 先進医療の地域への還元

生命の尊厳と患者の権利・人格の尊重を教育の理念とし、
広い教養と高い倫理観、科学的な探求心と総合的な判断能力を身につけ、
時代の要請に応じて社会に貢献する医師・看護師を養成することを目指しています。



医学部附属病院

University Hospital

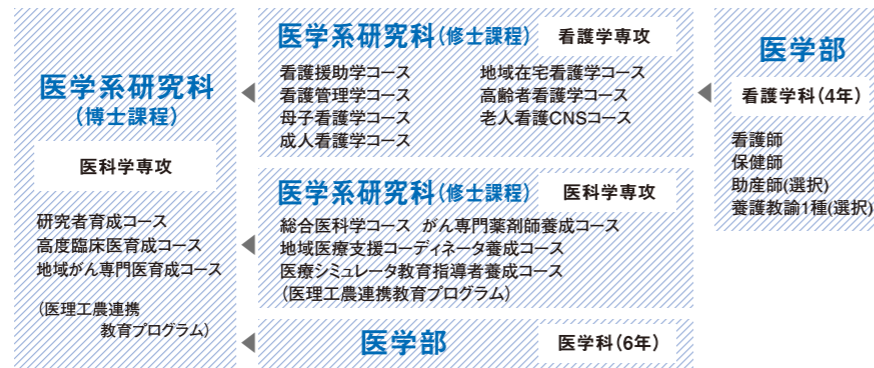
理念『地域医療と先進医療が 調和する大学病院』

目標

- 患者さん中心の全人的医療の実践
- 人間性豊かな思いやりのある医療人の育成
- 地域医療人との連携を重視した医療の提供
- 地域社会に還元できる研究の推進



■ 医学部ホームページ
<http://www.med.shimane-u.ac.jp/>



■ 島根大学医学部附属病院ホームページ
<http://www.med.shimane-u.ac.jp/hospital/index.html>

昭和54年に開設以来、県下唯一の特定機能病院として医療人教育、高度医療提供、臨床研究に当たってきました。都道府県がん診療連携拠点病院としてがんプロフェッショナル養成プラン、大学病院連携型高度医療人養成プランを推進中です。「病院機能評価」、「プライバシマーキ」、大学病院初の「働きやすい病院評価」、附属病院として全国初の「ISO14001(環境マネジメント)」も取得し、卒後臨床研修評価機構の認定も受けています。文科省GP以降も多くのスタッフ、学生を海外病院研修に派遣し実践的臨床教育に取り組んでいます。平成23年6月に緩和ケア病棟と腫瘍センター病棟の併設やチーム医療を重視した重症度別ケア、高度医療に対応した新病棟が完成しました。耐震・免震は元より地下水の活用、自家発電機能も拡充し防災対応機能も充実させています。既設病棟、外来・中央診療棟の改修は、平成25年3月に完了し、大学病院としての本格的な診療・教育・研修が可能となりました。

医学科

一般入試、推薦入試の他、地域枠推薦入試、緊急医師確保対策入試、学士編入を行い、多彩な人材を募集しています。入学後は、豊富な教養科目により豊かな創造力・幅広く柔軟な思考能力・高いコミュニケーション能力を培うとともに、医療の現場体験ができる早期医学体験実習、実習が充実した基礎医学科目、チュートリアル教育を取り入れた臨床医学科目を通して、高度な専門医学知識・医療技術を学びます。臨床実習は、医学部附属病院の他、大田総合医学科センターや県内の45医療施設を選択して行い、実践的な臨床能力を培います。地域医学を学習できる機会が多いことも特徴です。



また、国際的な場で活躍できるように徹底した医学英語の習得、先進医療の体験や学習、海外医療施設での実習の機会も用意しています。

看護学科

医療の高度化が急速に進展する一方、超高齢社会の到来によって、人々の看護に対するニーズは益々増大し、多様化してきています。看護学科ではこうした社会の要請に応え、医療機関であれ地域であれ、一人ひとりの健康ニーズを的確に把握し、適切に援助していくことのできる専門性の高い有能な看護職を養成したいと考えています。課題を論理的に分析し解決していく問題解決能力や、科学的根拠に基づいて援助を実践する能力、ケアの対象者との信頼関係を構築していく対人関係能力など、総合的な看護実践能力の基礎を身につけられるよう、少人数による課題解決型の演習や、病院や保健所、社会福祉施設等での実践をおとせ学ぶ臨地実習、ゼミ形式の卒業研究など、多様な方法と場を設定した教育に力を注いでいます。



大学院

医学系研究科

- 《博士課程》●医科学専攻(研究者育成コース 高度臨床医育成コース 地域がん専門医育成コース)
- 《修士課程》●医科学専攻(総合医科学コース がん専門薬剤師養成コース 地域医療支援コーディネータ養成コース 医療シミュレータ教育指導者養成コース)
- 看護学専攻(看護援助学コース 看護管理学コース 母子看護学コース 成人看護学コース 地域在宅看護学コース 高齢者看護学コース 老人看護CNSコース)

医学及び看護学の発展と人類の福祉の向上に寄与するため、医学および看護学に関する学術的理論とその幅広い応用を教授研究します。医学分野では、研究者として自立して研究活動を行うのに必要な高度の研究能力とその基礎となる豊かな学識を備えた研究者を養成し、同様に優れた研究能力と応用力を有する臨床医・腫瘍専門医、高度職業人を育成します。看護学分野では、広い視野に立って精深な学識を授け、看護学における研究能力や高度の専門性を要する職業等に必要能力と、豊かな人間性を備えた研究者、高度専門職業人を養成します。

■ 医学系研究科HP <http://www.med.shimane-u.ac.jp/graduate/index.html>

手術支援ロボット「ダ・ヴィンチ」

「ダ・ヴィンチ」とは体腔鏡下3次元画像で遠隔操作手術を行うもので、ロボットアームの関節が人の動きを超えた可動域を持ち、精緻な動作が可能な手術支援ロボットです。島根県内では本院が唯一の導入施設で、現在は週1回のペースで前立腺全摘除術を行っています。今後は、膀胱全摘除術、腎部分切除術へと適応を拡大し、消化器外科、婦人科の手術もダ・ヴィンチを用いて実施する予定です。



防災対策

新病棟は免震、既存病棟は耐震化構造をとっており、上水の確保、地下水の活用等で災害時に備えています。出雲キャンパスでは日頃からガス発電でコジェネレーション発電しています。非常用自家発電装置は2000kWを約5日間供給可能ですが、今年度はさらに600kWの非常用自家発電機を設置する予定です。



「働きやすい病院評価」「病院機能評価(Ver.5.0)」

平成19年3月に、女性医師・すべての医療従事者が安心して働くことができる病院として「働きやすい病院評価」の認証を受け、平成20年3月には、病院の現状を様々な角度から確認し、基準を満たした病院として「病院機能評価」の認定を受けました。



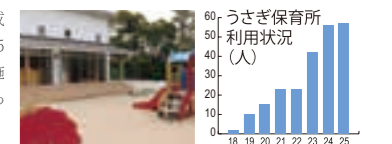
クリニカルスキルアップセンター

本センターは、体系的カリキュラムのもとに医療技能訓練を行うことで、優れた技術を備えた医療人を育成するために平成21年度に開設されました。模擬ICUにシムマンなど高度な機能を持つシミュレータ機器を多数揃え専任講師と救命救急士の助教による研修を常時行っています。今年度は、ダ・ヴィンチのシミュレータを設置し、学生から若手医師まで、手術のトレーニングが可能となっています。



院内保育所「うさぎ保育所」

職員の職場環境改善の一環として、平成18年に定員25名で開設。今年度には定員75名に増員しております。院内保育所と同じ施設内では病児・病後児保育、学童保育もっており、保育環境の充実に努めています。



ボランティアコンサート

病院1階待合ホールで月1回コンサートや落語、手品など多彩なイベントを開催しており、毎月患者さんに楽しんでもらっています。



総合理工学部 総合理工学研究科

Interdisciplinary Faculty of Science and Engineering
Interdisciplinary Graduate School of Science and Engineering

科学・技術が創る人間の未来

最新の手法を駆使して自然科学を解明しようとする理学系分野と、
未来の最先端科学技術を担う工学系分野が、既存の学問分野の枠を越えて
1つの学部で総合、融合、一体化した全国的にもユニークな学部のひとつです。
素粒子サイズから地球サイズまで、さまざまな対象を科学的に捉え、
基礎理論から先端技術への応用まで幅広く扱う学際的教育・研究システムを特色としています。



生物資源科学部 生物資源科学研究科

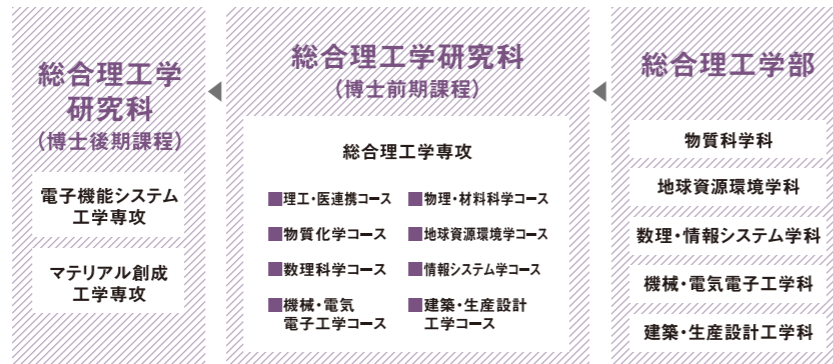
Faculty of Life and Environmental Science
Graduate School of Life and Environmental Science

“いのち”あふれる地球を育む

本学部では、生物・生命を、人間社会と広範で多様な関係を有する存在という広い意味
での資源と捉えます。そして生命現象の基本原則から、生物資源の育成、利用、開発保
全とそれを育む環境に関する広い分野を教育研究の対象としています。



■ 総合理工学部ホームページ
<http://shimane-riko.jp/>



■ 生物資源科学部ホームページ
<http://www.life.shimane-u.ac.jp/>



物質科学科

物理分野

物理分野では、素粒子論から新素材開発まで、物質に関する幅広い教育・研究を行っています。物理学、材料科学に関する専門知識、技術、研究能力を持ち、物質科学の発展に寄与できる技術者、研究者の育成を目指します。教育プログラム「物理系コース」は、JABEEの認定を受けています。

化学分野

化学分野は、化学の基礎から応用まで深く学びたい人、新機能を持つ物質を研究したい人、応用技術を修得したい人のための教育を提供します。JABEE対応の教育プログラムに基づいた技術者養成を目指す「機能材料化学コース」、幅広い知識を基に多分野で活躍できる人材育成を目指す「基礎化学コース」があります。

地球資源環境学科

地球資源環境学科は、地球物質システム学、環境地質学、自然災害工学の3教育分野からなり、地質学をベースとして、地球のなりたちや天然資源、自然災害工学等について総合的に教育・研究しています。本学科では、JABEE認定の技術者教育プログラムを実施し、また野外実習や実験を重視したカリキュラムを組んでいます。

数理・情報システム学科

数理分野

数理分野は、数理構造と数理解析の2コースから構成されます。1年次には数学と情報の基礎を、2年次以降に数理系の専門科目を学びます。数学の学習を通じて、論理的な思考力や柔軟な発想力、適切な判断力、そして豊かな表現力を持ち合わせた、教育を含む諸分野で指導的役割を果たせる人材を育成しています。

情報分野

情報分野では情報システムコースと情報工学コースの2コースから構成されています。1年次に数学と情報の基礎を学び、2年次以降は主に情報工学に関連する専門科目を学びます。ソフトウェアやハードウェアの研究開発を通じて、国際的に通用する技術や幅広い見識を持ち合わせた人材の育成を行っています。

機械・電気電子工学科

機械・電気電子工学科は、機械工学、電気工学及び電子工学の3分野を融合した学科です。これらの分野の核心的基礎を幅広く学習した上で、さらに一分野について、より応用的・専門的な科目を深く学ぶことによって、激動の21世紀で活躍できる高い専門性を持った技術者の育成を目指しています。

建築・生産設計工学科

建築・生産設計工学科は、健康で快適な生活と、資源循環型社会の実現のために材料設計、プロセス設計(生産プロセス設計・循環プロセス設計)、製品設計(建築設計・機械設計)の全般に対応できる、広い知識と独創性を兼ね備えた人材の育成を目指して、JABEE認定を受けたコースを含め教育を行っています。

理工特別コース

「理工特別コース」は既存の5学科7分野を横断する総合理工学部の学部共通教育コースです。それぞれの学科・分野の教育活動と共同しながら、学科の枠を超えて学部の全教員の協力を得て学生の教育に当たります。AO入試(平成24年度募集より実施)の合格者及び各学科への入学者から選抜された優秀な学生に対し、1~2年次の連続したアクティブ・ラーニングセミナーと3年次の早期研究室配属を通して、入学時から継続的に理工系分野の研究面への興味・意欲、国際的視野を育む教育を行うことが、このコースの特徴です。

生物科学科

本学科の教育研究対象は、DNAやタンパク質などの分子レベルから、細胞レベル、組織・器官レベル、個体レベル、種レベルにいたる構造(形態)と機能(生理)、時間軸が重要な発生、遺伝、進化など非常に広い範囲に渡っています。これら多様な生物現象の不思議に触れ、解き明かす過程を経験してもらうことにより、論理的思考力、問題解決能力を身につけた社会人として活躍できる人材の育成を目的としています。

生命工学科

ライフサイエンスとバイオテクノロジーに関する幅広い知識と高度な専門技術を学びます。生物学と化学の知識を基盤に、遺伝子操作、生命情報解析、バイオイメージング、有機合成、分子構造解析等の最先端技術・機器を駆使して、微生物・植物が持つさまざまな生命現象の基本的なメカニズムの解明とともに、生物の持つ有用機能を食品、化学、医薬等の生物産業と化学産業に役立てるための教育と研究を行っています。

農林生産学科

農林業生産による豊かな人間生活の実現を目指し、様々な問題を抱える農産物及び林産物に関する持続可能な生産技術、経営・経済、並びに生産環境を取り巻く生態系について教育と研究を行う学科です。豊かな自然環境に恵まれた山陰地域という立地条件を活かしたフィールド学習など幅広いカリキュラムを通して、農林業とそれを取り巻く生態系、地域社会について総合的に学ぶことができます。本学科は、農産物の生産とその品質・安全性など、国内外の農業生産現場が抱えている問題を解決するための理論と方法を学ぶ農業生産学、森林の生態と育成・保全、土壌・水環境、森林資源の林業機械による収穫、バイオマスエネルギー利用、リモートセンシングによる管理、森林に関する政策・経済について学ぶ森林学、植物・昆虫・微生物などが織りなす生命現象とその多面的な価値に注目し、持続可能な農林業と生態系や環境の保全・管理・活用に関する知識と技術を習得できる農林生態科学、国内外の農業・農村を主な対象とし、中山間地域の活性化問題や資源・環境問題、農業経営・市場問題などの社会経済問題を考察し、解決していくための手法について学ぶ農村経済学の4つの教育コースからなり、相互に連携しながら専門性を高める教育と研究を行っています。

地域環境科学科

環境に調和した循環型社会の確立をめざし、土・水・生物等の地域の資源及び環境を適切に調査・評価し、総合的に保全・管理するための知識と技術を習得する学科です。穴道湖・中海や中国山地などの豊かな自然と食糧生産の基盤である農山村地域をフィールドとして、実践的な教育を行います。本学科は、人と自然との共存や生態系の保全を目指し、生物が生息する水・土環境で生じる様々な現象とそのメカニズムを理解するための知識と方法を学習する生態環境科学、資源循環型社会の構築を目指し、地域資源の有効かつ持続的利用のための生態系の保全・修復技術を学習する環境資源工学、地域の豊かな生産環境・生活環境・自然環境を創造・管理・保全するための専門的な基礎学力と技術を、工学的な観点から習得する地域工学教育コース[JABEE(日本技術者教育認定機構)コース]の3つの教育コースを提供します。

附属生物資源教育研究センター

森林科学、農業生産科学、海洋生物学の3部門からなり、島根県の豊かな自然と多様な生物のもたらす恵みを楽しむ利用するため、県中部及び西部に設けられた演習林、県東部、中部にある実験農場、隠岐の島にある臨海実験施設を活用して、自然への親しみ、実地体験、新たな発見に貢献できる教育研究を行っています。

大学院 総合理工学研究科

《博士前期課程》■総合理工学専攻
○理工・医連携コース ○物理・材料科学コース ○物質化学コース ○地球資源環境学コース
○数理科学コース ○情報システム学コース ○機械・電気電子工学コース ○建築・生産設計工学コース
《博士後期課程》■マテリアル創成工学専攻 ■電子機能システム工学専攻

総合理工学研究科博士前期課程は、平成24年4月、現代社会の新たな要請に応えるため、これまでの5専攻体制を改組し、1専攻8コース体制に生まれ変わりました。各コースでは、科学技術の総合化を目指す新たな理工融合理念に則した研究開発やそれに携わる高度技術者の育成を実践しています。また、理工学と医学が融合した分野の教育研究を推進するため、「理工・医連携コース」を設置しました。博士後期課程では、さらに高度な研究開発能力を身につけ、科学技術の創造に貢献できる人材を養成します。また、本研究科には外国人留学生とともに修学する「英語による「地球」教育研究特別プログラム」が設置されています。

■ 総合理工学研究科HP <http://shimane-riko.jp/graduate/index.html>

大学院 生物資源科学研究科 ●生物生命科学専攻 ●農林生産科学専攻 ●環境資源科学専攻

本研究科では、各専攻それぞれに「課題研究コース」、「学術研究コース」、「地域産業人育成コース」を設け、各人の志向に応じたカリキュラムの選択を可能にしています。課題研究コースでは多様な高度専門職業人を養成するための、学術研究コースでは連合大学院博士課程への進学等研究者を目指す人材を養成するための、また、地域産業人育成コースでは地域産業において指導的役割を果たす人材を養成するための教育プログラムを提供します。また、 Semester制の採用により秋入学を可能にし、社会人や留学生の利便性の向上を図っています。講義では研究科共通科目の必修科目として「科学方法論」や「生物資源科学論」を設け、総合科学的な視点を深めるとともに、専攻、コースに応じた研究や演習により、高い独創性と実践力、国際的な対応力を養っています。

■ 生物資源科学研究科HP <http://www.life.shimane-u.ac.jp/daigakuin/index.html>

山陰法科大学院 法務研究科

Graduate school of Law

社会人・未修者の教育へ力を発揮する山陰の法科大学院

島根大学大学院法務研究科(山陰法科大学院)は、地域社会の法化の進展に寄与すると共に、国際化時代にも対応できる、高度な法的思考力と知識を有する専門ジェネラリストとしての法曹の養成を基本理念にしています。

そのために教育面では、高度で多様な専門知識の修得のみならず、法曹として生涯役立つ法的知性の基礎作り、地域社会の紛争に敢然と立ち向かい解決への道筋を立てる意欲と熱意を育む教育を重視しています。

新司法試験に合格した修了生の多くは社会人と純粋未修者で、社会人と法学未修者向け教育に関して成果を上げており、本研究科の教育実践は2008年度の認証評価で高い評価を受けています。

なお、山陰法科大学院では、法学につき十分な知識を有していると認められる既修者の方のため、2013年度から2年コース[法学既修者コース]を設けています。



●養成すべき法曹像(法科大学院の基本理念と教育目的)

- ①「国民の社会生活上の医師」として地域課題を熟知し、地域社会に深く根ざした法曹
- ②東アジアを中心とした各国法事情・国際取引等に精通し、国際社会の発展に貢献できる法曹

●カリキュラムの基本的な考え方

- ①基本的法律知識の体系的・理論的理解とともに、職業法曹としての倫理観を醸成する。
- ②入門科目の設置により、基本的な法概念、制度、法理論等を体系的に理解し、基礎的な法的思考力を身に付けることができ、講義形式を中心とした法律基本科目から演習形式の総合科目への移行をより効率的に行う。
- ③理論を踏まえつつ、実務への架橋を意識した教育を行うことにより、実務的課題への実践的取り組み方法を修得させる。
- ④先端応用領域における法的問題解決能力を身に付け、多様かつ地域独自の現代的課題に対応できる能力を磨く。

●充実した学習環境と経済的支援

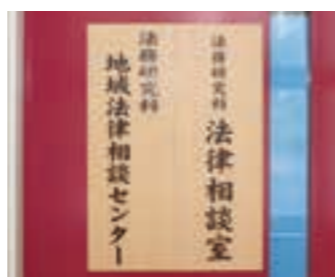
学生全員にキヤレルが付与され、24時間使用できる学生研究室、図書、コピー機、法廷教室などが備わっており、充実した学習環境で法曹を目指し、学習に集中することができます。

また、鳥取・島根両県の若手弁護士がアカデミック・アドバイザーとして、本研究科の教員と連携協力して、学習相談や、教育支援を行っています。

本研究科独自の経済的支援制度として、「成績優秀者の入学料及び授業料の特別免除制度」(各学年5名を対象)を設けるなど、経済的支援も充実しています。

●地域法律相談センター

本研究科には、「地域法律相談センター」が設置されています。島根、鳥取両県の住民の皆様からの法律相談(無料)に実務家教員(弁護士)がお応えするにあたり、相談者の同意を得て学生も参加します。学生にとっては、地域において現実起こっている法律問題を実感することができるのと同時に、相談者とのコミュニケーションの方法を実体験する貴重な機会となっています。



キャンパスマップ

ゲーグルストリートビューで、松江、出雲の各キャンパス内をご覧いただけます。

松江キャンパス

〒690-8504 松江市西川津町1060 TEL.0852-32-6100

- | | |
|--------------------|--|
| 1 本部棟 | 35 総合科学研究支援センター 遺伝子機能解析分野 RI実験施設 |
| 2 法文学部棟 | 36 総合理工学部1号館(大学院棟) |
| 3 山陰研究センター | 37 学生センター |
| 4 教育学部棟 | 38 教育開発センター |
| 5 教育学部附属教育支援センター | 39 入学センター |
| 6 教育学部附属教師教育研究センター | 40 学生支援センター |
| 7 教育学部附属FD戦略センター | 41 キャリアセンター |
| 8 光物性実験室 | 42 外国語教育センター |
| 9 総合理工学部1号館 | 43 国際交流センター |
| 10 総合理工学部2号館 | 44 島根大学・寧夏大学 国際共同研究所(島根大学分室) |
| 11 総合理工学部3号館 | 45 大学会館 |
| 12 動物飼育室 | 46 第1食堂 |
| 13 生物資源科学部1号館 | 47 第2食堂 |
| 14 生物資源科学部2号館 | 48 第1体育館 |
| 15 生物資源科学部3号館 | 49 第2体育館 |
| 16 水利実験室 | 50 トレーニングセンター |
| 17 農業機械実験室 | 51 武道館 |
| 18 林産加工場・実験動物飼育施設 | 52 体育器具庫 |
| 19 製材加工室 | 53 課外活動共用施設 |
| 20 器具庫 | 54 ブール棟 |
| 21 温室 | 55 弓道場 |
| 22 動物実験飼育室 | 56 アーチェリー場 |
| 23 ガラス棟 | 57 車庫 |
| 24 圃場 | 58 環境安全施設 |
| 25 教養講義室棟1号館 | 59 焼却処理施設 |
| 26 教養講義室棟2号館 | 60 特高受変電棟 |
| 27 附属図書館 | 61 ボイラー室 |
| 28 保健管理センター | 62 守衛室 |
| 29 生涯教育推進センター | 63 中央監視室 |
| 30 総合情報処理センター | 64 薬品庫 |
| 31 汽水域研究センター | 65 大学ホール |
| 32 ミュージアム | |
| 33 古代出雲研究施設 | |
| 34 男女共同参画推進室 | |



附属図書館

<http://www.lib.shimane-u.ac.jp/>

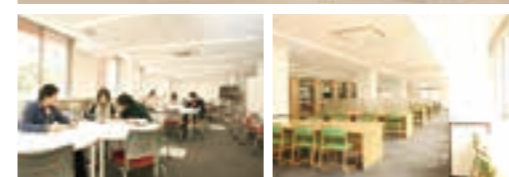
学内外の学術情報資源を最大限に利用するための機能を備えた大学の情報・資料センターとして、学習・教育・研究活動を支援しています。

本館(松江キャンパス)

本館は、平成25年4月にリニューアルオープンしました。入口に近い「交流ゾーン」には、明るく活気のある雰囲気の中で自由学習ができるラーニングコモンズや、新聞・雑誌を読みながらくつろげるコーナーを設けました。奥側の「学習ゾーン」「研究ゾーン」では、学習のための静かで落ち着いた環境を提供しています。閲覧室には個人机を多数設置し、図書や雑誌などの資料は、利用者に分かりやすい配置になっています。また、学習だけでなくリフレッシュのための設備も充実しました。

資料は、図書約76万冊、雑誌約1万2千誌を所蔵しています。学生用図書の整備に力を注ぐ一方、約1万タイトルの電子ジャーナルや各種データベース、Webコンテンツ等の電子媒体の学術情報も提供しています。41台のパソコンが自由に利用できるPCルームのほか、無線LANにより館内のほぼどこからでも電子情報にアクセスできます。

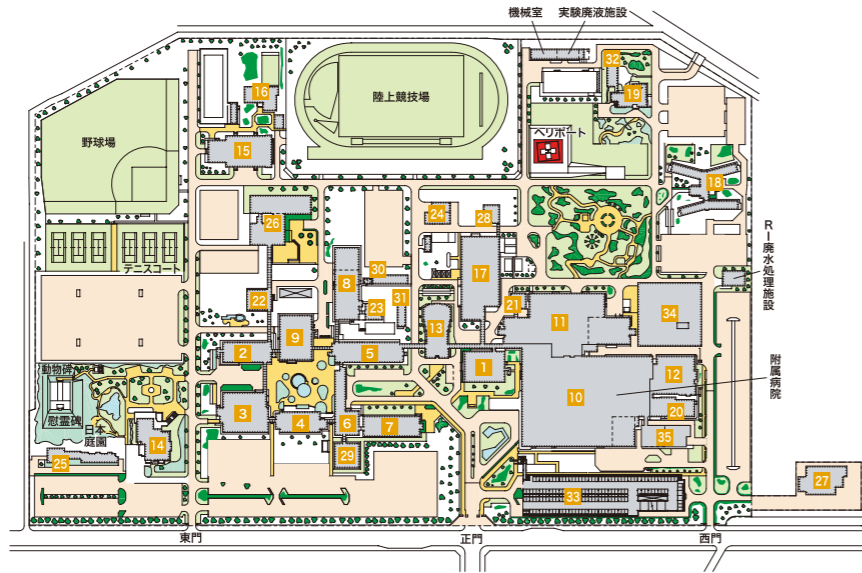
多様化する学術情報に応じた利用環境を提供するとともに、それらの情報資源を使いこなすための支援をしています。ガイダンスや講習会のほか、学生による図書館利用サポートも、学生目線を活かした活動として一役買っています。



キャンパスマップ

出雲キャンパス

〒693-8501 出雲市塩冶町89-1 TEL.0853-23-2111



- | | | |
|-----------------------------|---------------------------|-----------------------------|
| 1 本部棟(医学部) | 13 臨床講義棟 | 23 RI研究棟 |
| 2 講義棟 | 14 大学会館 | 24 塵芥焼却炉室 |
| 3 実習棟 | 14 保健管理センター (出雲保健センター) | 25 国際交流会館 |
| 4 基礎研究棟 | 14 食堂 | 26 看護学科棟 |
| 5 臨床研究棟 | 15 体育館 | 27 産学連携センター (地域医学共同研究部門) |
| 6 共同研究棟 | 16 武道館 | 28 特高受変電棟 |
| 7 第二研究棟 | 17 中央機械室 | 29 第二共同研究棟 |
| 8 総合科学研究支援センター RI・動物実験施設 | 18 看護師宿舎 | 30 第三共同研究棟 |
| 9 医学図書館 | 19 医学部会館 | 31 第四共同研究棟 |
| 10 外来・中央診療棟 | 20 MRI-CT装置棟 | 32 うさぎ保育所 |
| 11 A・B病棟 | 21 病歴室 | 33 立体駐車場 |
| 12 RI高エネルギー棟 | 22 第三研究棟 | 34 C病棟 |
| | | 35 地域医療センター |



附属図書館

<http://www.lib.shimane-u.ac.jp/>

学内外の学術情報資源を最大限に利用するための機能を備えた大学の情報・資料センターとして、学習・教育・研究活動を支援しています。



医学図書館(出雲キャンパス)

医学図書館は出雲キャンパスにあり、医学系専門図書館として、医学部の学生・教職員及び附属病院の医師、看護師、医療職員へ、学習・教育・研究支援のサービスを展開しています。ICカードによる開館時間外入館システムにより、出雲キャンパス所属者は24時間利用が可能で、夜遅くまで勉強する学生や、診療時間後に研究する教職員を日夜支援しています。資料は図書約12万冊、学術雑誌3千誌のほか、ビデオ、DVDも所蔵しており、松江キャンパスと同様の電子ジャーナル、各種文献データベース、Webコンテンツ等も提供しています。

医学図書館では、学術情報収集のスキル向上を目指して、学生・教職員向けに、授業に参加しての講習会、文献データベース検索講習会等を数多く開催しています。また、島根大学の地域への貢献として、医学専門資料を所蔵する図書館を一般市民の方にも広く公開しています。さらに、島根県内の医療関係機関等図書館(室)と連携しながら、関係職員の資質向上と地域医療従事者へのサービス向上にも努めています。

学内施設等

生涯教育推進センター

<http://www.ercll.shimane-u.ac.jp/>



地域の生涯学習の推進と市民の学習機会の拡充のため地域の生涯学習関連機関・団体と連携を図りながら、地域社会の発展に寄与しています。

汽水域研究センター

<http://www.kisuiiki.shimane-u.ac.jp/>



「人間社会とそれを取り巻く自然環境の持続的発展を可能にするための汽水域の保全と利用」を基本理念として、環境変動や生物多様性のメカニズムの解明、資源解析や保全再生に取り組んでいます。

ミュージアム(本館など)

<http://museum.shimane-u.ac.jp/>



永年の教育・研究によって収集・蓄積されてきた標本・資料類等を整理、保管、調査・研究し、展示公開や情報発信を行っています。なお、松江キャンパス内には、このほか山陰地域資料展示室等の展示スペースもあります。

国際交流センター

<http://kokusai.shimane-u.ac.jp/>



島根大学の全学的な国際交流活動の拠点として、市民、行政、産業界等の地域社会と協力し、海外の大学等関係機関との共同研究や留学生の受け入れ、島根大学の学生の海外派遣などを戦略的に推進します。

産学連携センター

<http://www.crc.shimane-u.ac.jp/>



産学官連携の拠点として大学の総合的窓口機能を担い、民間等との共同研究、受託研究及び科学技術相談への対応、知的財産に関する相談及び企業・民間の技術者・医療技術者への教育等の業務を行っています。

- 地域産業共同研究部門
- 地域医学共同研究部門
- 連携企画推進部門
- 知的財産創活部門

松江地区

出雲地区

総合情報処理センター

<http://www.ipc.shimane-u.ac.jp/>



総合情報処理センターは、センターに置かれた情報処理システムを整備・運用し、学内外の情報ネットワークとの連携を図ることで、学内の教育・研究などの情報処理のための利用をサポートするとともに、学術情報システム等の開発や人材育成の支援を行っています。

外国語教育センター

<http://cfle.shimane-u.ac.jp/>



外国語教育の計画立案・運営・実施及びその点検評価を組織的に行うほか、外国語教育を通して、地域・社会貢献及び国際貢献に寄与することを目指しています。また、外国語教育センターワークステーションでは、くつろいだ自学自習の空間を提供しています。

サテライト(島根大学旧奥谷宿舎)

<http://museum.shimane-u.ac.jp/okudani.html>



1924(大正13)年、島根大学の前身・旧制松江高等学校の外国人教師用に建てられた洋館で、国登録有形文化財に登録されています。展示やミニ教室、町歩き観光の拠点として活用されています。

島根大学・寧夏大学国際共同研究所

【寧夏大学構内(中国寧夏回族自治区銀川市)】

<http://www.ningxia.shimane-u.ac.jp>



研究所を拠点に、中山間地域の活性化、開発と環境問題、都市と農村の格差問題等を主要なテーマとして共同研究を行い、研究成果をアジアをはじめとする世界に向けて発信することを目指しています。

広島オフィス

http://www.shimane-u.ac.jp/facility/facilities/hiroshima_office/



島根大学の情報発信・交流の拠点として利便性の高い広島市街に設置。入学希望者への情報提供、企業採用や共同研究、学生の就職支援、医療職員の採用、卒業生・同窓会との連携強化など、利用者のニーズに対応した相談体制を整えています。

総合科学研究支援センター

<http://www.shimane-u.ac.jp/>から「病院・図書館・附属施設」をクリック

既存の研究分野の枠を超えた共同利用体制の整備を実現し、生命・環境・ニューマテリアルに関する先端的及び学際的な教育・研究を強力に支援するとともに、その成果を社会の発展のために還元しています。

- 遺伝子機能解析分野(RI実験施設)(松江)
- 物質機能分析分野(松江)
- 実験動物分野(出雲)
- 生体情報・RI実験分野(出雲)

学内施設等

大学会館

http://www.shimane-u.ac.jp/education/extra_curricular/extra_curri_facility/(松江キャンパス)



学生・教職員が相互交流できる場として、また学生の課外活動の場としても使用することができます。施設内では、書籍・文具及び日用品の販売、高速バス・JR乗車券の予約発券等のサービスも行っています。

学生センター(松江キャンパス)

http://nyucen.shimane-u.ac.jp/(入学センター)



学内中央部に位置し、学生の修学上の支援・助言等を行っています。また、同センターには、入学センターも設置されています。

■入学センター

島根大学における入学選抜方法等の改善を図るため、入学試験の企画、広報、実施、評価、改善等を行っています。

保健管理センター

http://www.ipc.shimane-u.ac.jp/~health/(松江キャンパス)
http://www.med.shimane-u.ac.jp/health/index.html(出雲キャンパス)

心身ともに健康な生活が送れるよう、専門的立場から支援するサービス部門です。定期健康診断の実施、病気やケガの応急処置、健康相談や医療機関の紹介を行っています。いろいろな悩みの相談には臨床心理士などの専門家が対応しています。身長、体重、血圧、視力測定が自由にできますので、日頃のヘルスチェックに役立ててください。

学生寮

http://www.shimane-u.ac.jp/education/welfare/residence/(松江キャンパス)



学生寮は、平成24年度からワンルーム形式のA棟(定員168名)が新築され入居可能となったのに続き、平成25年度から男子寮・女子寮を改修したB棟(定員91名)、C棟(定員59名)が完成し入居可能となりました。

住所/松江市西川津町字深町3371の1

その他の地区

深町地区(学寮)

〒690-0823 松江市西川津町字深町3371-1 TEL.0852-21-3118

北陵地区(産学連携センター・松江キャンパス)

●地域産業共同研究部門・知的財産創活部門・連携企画推進部門
〒690-0816 松江市北陵町2 TEL.0852-60-2290

食堂

http://www.shimane-u.ac.jp/education/welfare/cafeteria/(松江キャンパス)



松江キャンパスの第1食堂と出雲キャンパスの食堂は、朝食から夕食まで3食対応で自分でおかずを組み合わせる利用ができます。松江キャンパスの第2食堂は、丼類やセルフバーなどを揃えた昼食対応の食堂です。

学生支援センター

http://career.shimane-u.ac.jp/(キャリアセンター)



学生支援センター内の学生支援課では、課外活動、就職関係、授業料免除・奨学金等学生生活上の各種支援を行っています。また、同センターには、キャリアセンターや学生支援センターも設置されています。

■キャリアセンター

学生の職業・進路選択及び就職活動をより円滑に推進するため、就職情報の提供、就職相談、キャリア教育の企画・実施等を行っています。

■学生支援センター

学生生活の充実を図ることを目的に、学生支援業務を総合的に取り扱っています。

教育開発センター

http://cerd.shimane-u.ac.jp/
島根大学における学生の学びの質を保障・向上するために、教育システムの構築やFD、それらを支える各種調査、特色ある授業の創出や全学教育プログラムの企画・実施まで様々な学修支援に携わっています。

男女共同参画推進室

http://gender.shimane-u.ac.jp
誰もが学びやすく・働きやすい学内環境を作ることを目指して、男女共同参画の推進、研究者支援及びワーク・ライフ・バランスにかかる事業を行っています。

大輪地区(附属学校)

教育学部附属小学校/〒690-0882 松江市大輪町416-4 TEL.0852-29-1200

教育学部附属中学校/〒690-0824 松江市菅田町167-1 TEL.0852-29-1300

教育学部附属幼稚園/〒690-0882 松江市大輪町416-4 TEL.0852-29-1120

| 部局名 | 所在地 | 電話番号 | |
|-----------------------|-----------------------|----------------------------|--------------|
| 生物資源科学部附属生物資源教育研究センター | | | |
| 本部 | 〒690-1102 松江市上本庄町2059 | 0852-34-0311 | |
| 森林科学部門 | 三瓶演習林 | 〒694-0003 大田市三瓶町多根941-1 | 0854-86-0011 |
| 農業生産科学部門 | 本庄総合農場 | 〒690-1102 松江市上本庄町2059 | 0852-34-0311 |
| // | 神西砂丘農場 | 〒699-0822 出雲市神西沖町字蛇島2473-1 | 0853-43-2081 |
| 海洋生物科学部門 | 隠岐臨海実験所 | 〒685-0024 隠岐郡隠岐の島町加茂194 | 08512-2-1814 |
| 汽水域研究センター | 中海分室 | 〒690-1401 松江市八束町江島字南土手附694 | 0852-76-9007 |
| 国際交流会館 | | 〒690-0824 松江市菅田町字ドンド320 | 0852-25-9530 |

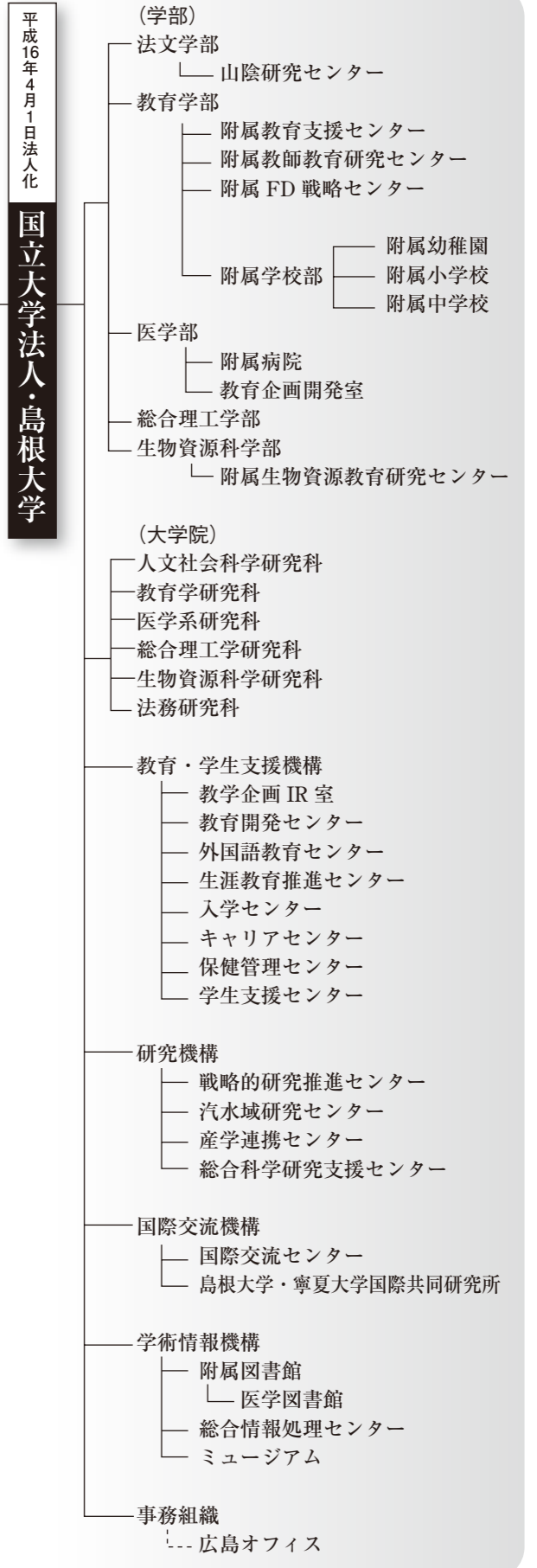
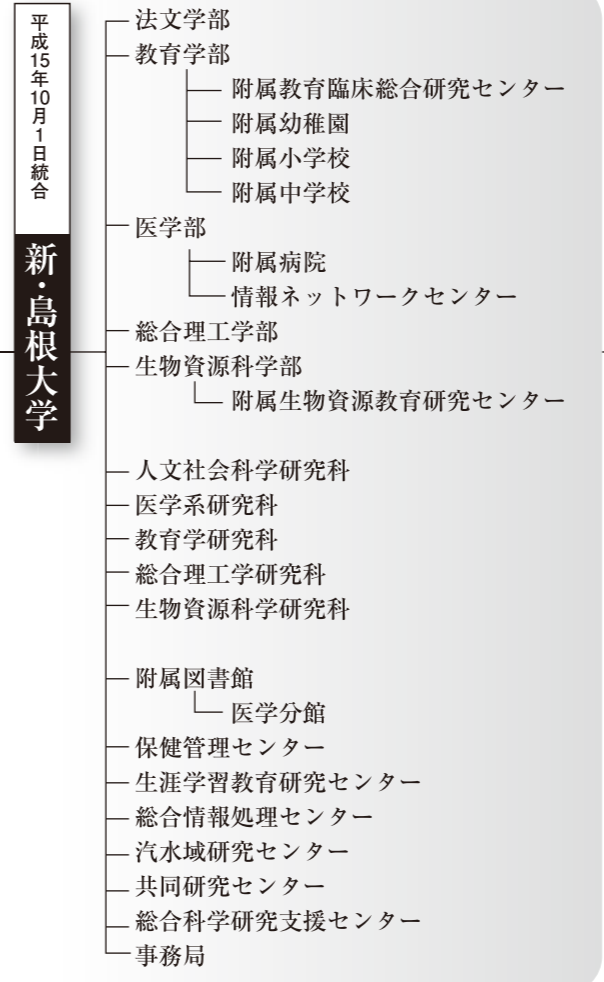
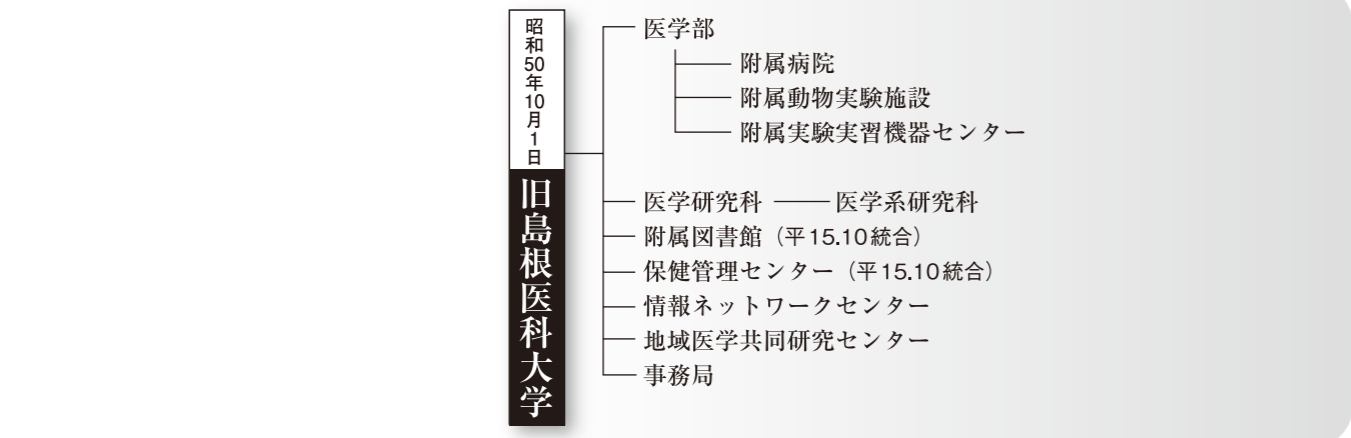
沿革

| 年 月 | 旧島根大学 | 旧島根医科大学 |
|-----------|---|--------------------------------------|
| 昭和24年 5月 | 旧制松江高等学校、島根師範学校、島根青年師範学校を母体として、文理学部 教育学部からなる新制大学として発足 | |
| 昭和40年 4月 | 島根県立島根農科大学を国立移管し、農学部を設置 | |
| 昭和41年 4月 | 保健管理センター設置 | |
| 昭和42年 6月 | 農学部附属農場・農学部附属演習林設置 | |
| 昭和46年 4月 | 大学院農学研究科設置(平成12年生物資源科学研究科に拡充改組) | |
| 昭和50年 10月 | | 島根医科大学設置 |
| 昭和53年 4月 | | RI 実験施設設置 |
| 昭和53年 6月 | 文理学部を改組し、法文学部と理学部設置 | |
| 昭和54年 4月 | 教育学部附属複式教育研究センター設置 | 医学部附属病院設置 |
| 昭和56年 4月 | | 医学部附属動物実験施設設置 |
| 昭和57年 4月 | | 大学院医学研究科博士課程設置 |
| 昭和58年 4月 | | 医学部附属実験実習機器センター設置 |
| 昭和60年 4月 | 大学院理学研究科設置(平成12年総合理工学研究科に拡充改組) | |
| 昭和63年 4月 | 大学院法学研究科設置(平成9年人文社会科学研究科に拡充改組) | |
| 平成元年 4月 | 島根大学、鳥取大学、山口大学の協力のもとに 大学院連合農学研究科博士課程を鳥取大学に設置 | |
| 平成2年 6月 | 遺伝子実験施設設置 教育学部附属教育実践研究指導センター設置 | |
| 平成3年 4月 | 大学院教育学研究科設置 | 保健管理センター設置 |
| 平成4年 4月 | 汽水域研究センター設置 | |
| 平成5年 4月 | 生涯学習教育研究センター設置 | |
| 平成6年 12月 | | 情報ネットワークセンター設置 |
| 平成7年 2月 | | 特定機能病院として承認 |
| 平成7年 10月 | 理学部と農学部を融合・改組し、総合理工学部と生物資源科学部設置 | |
| 平成8年 5月 | 地域共同研究センター設置 | |
| 平成9年 4月 | 大学院人文社会科学研究科設置 附属生物資源教育研究センター設置 | |
| 平成11年 4月 | | 医学部看護学科設置 |
| 平成12年 4月 | 大学院総合理工学研究科設置 大学院生物資源科学研究科設置 | |
| 平成13年 4月 | 教育学部附属教育臨床総合研究センター設置 機器分析センター設置 | 地域医学共同研究センター設置 |
| 平成14年 4月 | 大学院総合理工学研究科を博士課程に改組 総合情報処理センター設置 | |
| 平成15年 4月 | | 大学院医学研究科を大学院医学系研究科に改称し、看護学専攻(修士課程)設置 |
| 年 月 | 島根大学 | |
| 平成15年 10月 | 旧島根大学と旧島根医科大学を統合し、新島根大学を設置 共同研究センター・総合科学研究支援センター設置 | |
| 平成16年 3月 | 島根大学・寧夏大学国際共同研究所設置 | |
| 平成16年 4月 | 国立大学法人法の施行により、国立大学法人島根大学となる 大学院法務研究科設置、大学院医学系研究科に医科学専攻(修士課程)を設置 教育学部附属教育支援センター設置、医学部教育企画開発室設置 外国語教育センター設置、法文学部山陰研究センター設置 | |
| 平成16年 10月 | 共同研究センターを改組し、産学連携センターを設置、評価室設置、総合企画室設置 | |
| 平成16年 12月 | 教育開発センター設置、入試センター設置 | |
| 平成17年 3月 | プロジェクト研究推進機構設置 | |
| 平成17年 10月 | キャリアセンター設置 | |
| 平成18年 4月 | ミュージアム設置、国際交流センター設置 | |
| 平成19年 4月 | 教育学部附属教師教育研究センター設置 | |
| 平成19年 6月 | 教育学部附属FD戦略センター設置 | |
| 平成20年 7月 | 男女共同参画推進室設置 | |
| 平成23年 4月 | 広報室設置 | |
| 平成23年 10月 | 広島オフィス設置 | |
| 平成25年 4月 | センター機構化 | |

学年暦

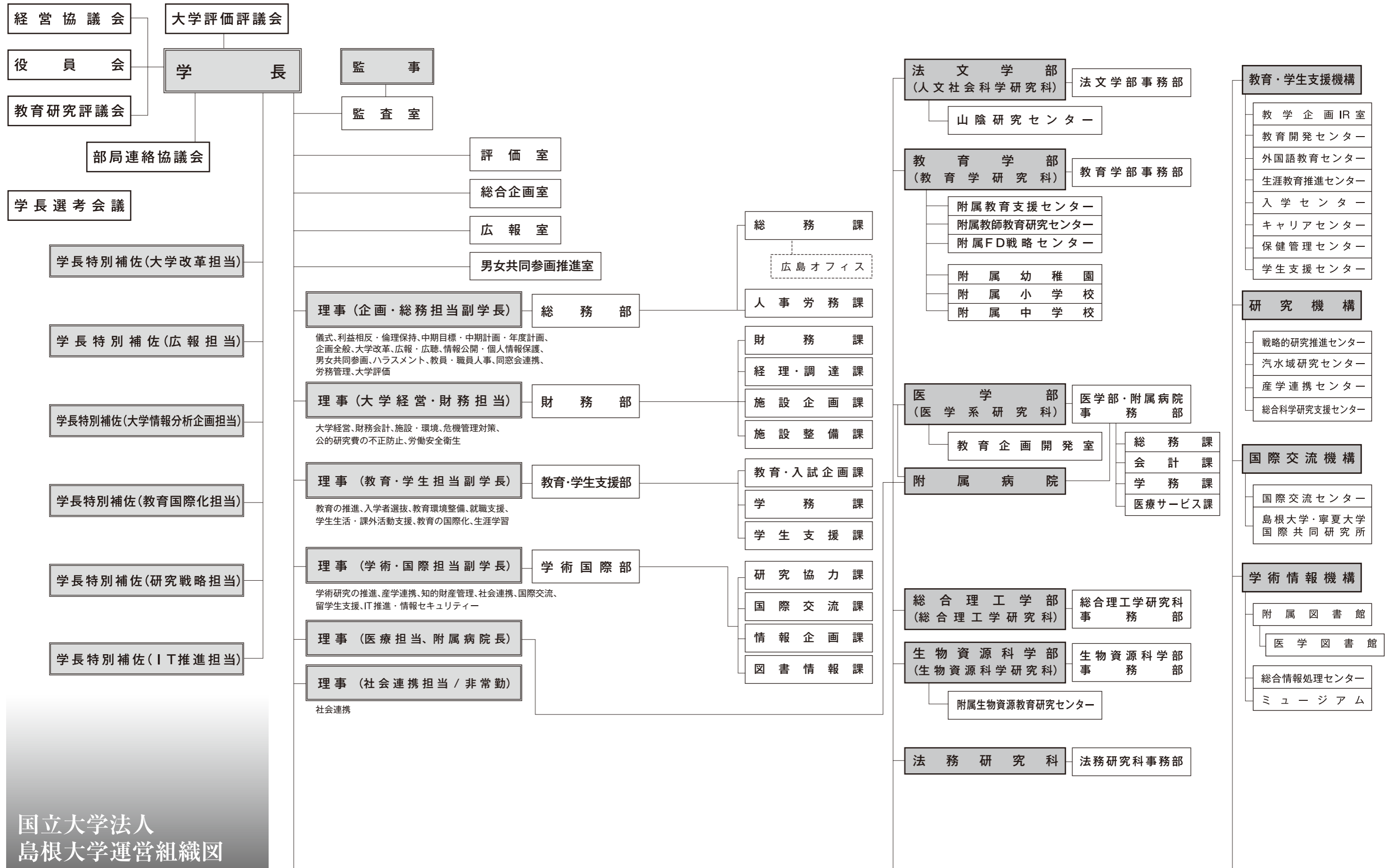
| | | | | | |
|------------|------|------------|---------|-------------|-----------|
| 4月1日 | 学年始 | 9月30日 | 前期終 | 10月19日~20日 | 大学祭(出雲) |
| | 前期始 | 10月1日 | 後期始 | 12月21日~1月5日 | 冬季休業 |
| 4月5日 | 入学式 | | 開学記念日 | 3月17日 | 学位授与式(出雲) |
| 8月7日~9月30日 | 夏季休業 | 10月12日~14日 | 大学祭(松江) | 3月25日 | 学位授与式(松江) |

沿革図



運営組織図

2013.4.1現在



国立大学法人
島根大学運営組織図

役職員・経営協議会委員・教育研究評議会評議員

2013.5.1現在

学長

学長 小林 祥 泰

理事

理事(企画・総務担当副学長) 塩 飽 邦 憲
 理事(教育・学生担当副学長) 肥 後 功 一
 理事(学術・国際担当副学長) 竹 内 川 潤
 理事(医療担当) 井 川 幹 夫
 理事(大学経営・財務担当) 辻 敏 明
 理事(非常勤)(社会連携担当) 江 口 博 晴

学長特別補佐

学長特別補佐(大学改革担当) 野 中 資 博
 学長特別補佐(大学改革担当) 野 田 哲 夫
 学長特別補佐(広報担当) 田 坂 郁 夫
 学長特別補佐(大学情報分析企画担当) 木 野 明 久
 学長特別補佐(研究戦略担当) 藤 田 恭 久
 学長特別補佐(研究戦略担当) 浦 野 健 二
 学長特別補佐(IT推進担当) 平 野 章 二

監事

監事 山 崎 征 爾
 監事(非常勤) 宮 脇 和 秀

理事の下に置く部

理事(企画・総務担当)
 総務部
 総務部長 山 本 晃 一
 総務課長 阿 部 祐 和
 人事労務課長 岩 澤 芳 和
 理事(大学経営・財務担当)
 財務部
 財務部長 村 野 弘 明
 財務課長 門 脇 幸 見
 経理・調達課長 田 上 洋 毅
 施設企画課長 安 田 毅 一
 施設整備課長 井 上 修 一
 理事(教育・学生担当)
 教育・学生支援部
 教育・学生支援部長 為 石 勝 美
 教育・入試企画課長 久 保 公 四 郎
 学務課長 早 竹 昭 人
 学生支援課長 竹 内 美 佐 子
 理事(学術・国際担当)
 学術国際部
 学術国際部長 小 村 陽 悦
 研究協力課長 西 田 俊 一
 国際交流課長 野 津 和 男
 情報企画課長 塩 田 芳 夫
 図書情報課長 高 木 貞 治
 監査室
 室長 原 裕 司

学部・大学院

法文学部・人文社会科学研究科
 学部長・研究科長 武 田 信 明
 副学部長 出 口 卓 顕
 副学部長 吹 野 光 雄
 副学部長 伊 藤 久 之
 事務長 恒 松 久 之
 教育学部・教育学研究科
 学部長・研究科長 秋 重 幸 邦
 副学部長 高 橋 哲 也
 副学部長 小 川 巖 也
 副学部長 河 添 達 也
 副学部長 横 原 茂 也
 附属教育支援センター長 大 谷 修 司
 附属教師教育研究センター長 伊 藤 豊 彦
 附属FD戦略センター長 小 川 巖 治
 附属学校部長 舟 木 賢 治
 附属幼稚園長 佐 々 有 生
 附属小学校長 佐 々 有 生
 附属中学校長 佐 藤 一 良
 事務長 伊 藤 一 良
 医学部・医学系研究科
 学部長・研究科長 大 谷 浩 之
 副学部長 川 内 秀 之
 副学部長 藤 田 委 由
 附属病院長 井 川 幹 夫
 副病院長 木 下 芳 一
 副病院長 山 口 修 平
 副病院長 秦 美 恵 子
 事務部長 藤 原 楠 生
 総務課長 林 勝 幸
 会計課長 石 井 邦 彦
 学務課長 山 根 茂 雄
 医療サービス課長 山 崎 幸 司
 総合理工学部・総合理工学研究科
 研究科長・学部長 服 部 泰 直
 副研究科長・副学部長 三 瓶 良 和
 副研究科長・副学部長 吉 田 和 信
 副研究科長・副学部長 高 須 晃 一
 事務長 廣 光 郎
 生物資源科学部・生物資源科学研究科
 学部長・研究科長 荒 瀬 榮 弘
 副学部長 澤 崎 嘉 貴
 副学部長 松 崎 資 博
 副学部長 野 中 俊 樹
 附属生物資源教育研究センター長 浅 尾 俊 一
 事務長 増 田 一 雄
 法務研究科
 研究科長 朝 田 良 作
 事務長 恒 松 久 之

機構等

教育・学生支援機構
 機構長 肥 後 功 一
 教学企画IR室長 松 田 岳 士
 教育開発センター長 森 朋 子
 外国語教育センター長 西 脇 宏 子
 生涯教育推進センター長 多 々 納 道 子
 入学センター長 田 中 均 貴
 キャリアセンター長 松 崎 貴 三
 保健管理センター長 竹 永 三 男
 保健管理センター副センター長 江 副 智 子
 学生支援センター長 境 英 俊
 研究機構
 機構長 竹 内 潤
 戦略的研究推進センター長 竹 内 潤
 汽水域研究センター長 野 村 律 夫
 汽水域研究センター副センター長 荒 西 太 士
 産学連携センター長 大 庭 卓 也
 産学連携センター副センター長 並 河 徹 一
 総合科学研究支援センター長 廣 光 郎
 総合科学研究支援センター副センター長 原 田 守 守
 国際交流機構
 機構長 竹 内 潤
 国際交流センター長 安 藤 安 則
 島根大学・寧夏大学国際共同研究所長 伊 藤 勝 久
 島根大学・寧夏大学国際共同研究所副所長 一 戸 俊 義
 島根大学・寧夏大学国際共同研究所副所長 関 耕 平
 学術情報機構
 機構長 竹 内 潤
 附属図書館長 田 籠 博 彦
 医学図書館長 廣 田 秋 彦
 総合情報処理センター長 會 澤 邦 夫
 総合情報処理センター副センター長 六 井 淳 久
 ミュージアム館長 林 正 和
 ミュージアム副館長 會 下 和 宏
 総合企画室
 室長 塩 飽 邦 憲
 評価室
 室長 塩 飽 邦 憲
 男女共同参画推進室
 室長 塩 飽 邦 憲
 広報室
 室長 塩 飽 邦 憲

経営協議会委員

学長 小林 祥 泰
 理事(企画・総務担当副学長) 小 塩 林 祥 泰
 理事(教育・学生担当副学長) 塩 飽 邦 憲
 理事(学術・国際担当副学長) 竹 内 川 潤
 理事(医療担当) 井 川 幹 夫
 理事(大学経営・財務担当) 辻 敏 明
 理事(非常勤)(社会連携担当) 江 口 博 晴
 山陰中央テレビジョン放送株式会社代表取締役社長 有 澤 寛 一
 一畑電気鉄道株式会社代表取締役社長 大 谷 厚 郎
 学校法人奈良学園理事(高等教育担当) 梶 田 一 之
 特定非営利活動法人VHJ機構理事 近 藤 俊 夫
 島根県弁護士会 弁護士 中 村 壽 敦
 キャスター・エッセイスト 福 松 正 敬
 松江市長 宮 正 敬
 一般財団法人日本宇宙フォーラム理事長 間 宮 敬 馨

教育研究評議会評議員

学長 小林 祥 泰
 理事(企画・総務担当副学長) 小 塩 林 祥 泰
 理事(教育・学生担当副学長) 塩 飽 邦 憲
 理事(学術・国際担当副学長) 竹 内 川 潤
 理事(医療担当) 井 川 幹 夫
 理事(大学経営・財務担当) 辻 敏 明
 法文学部長 武 田 信 明
 教育学部長 秋 重 幸 邦
 医学部長 大 谷 浩 之
 生物資源科学部長 荒 瀬 榮 弘
 総合理工学研究科長 服 部 泰 直
 法務研究科長 林 勝 幸
 附属図書館長 田 籠 博 彦
 産学連携センター長 大 庭 卓 也
 教授 法文学部 吹 野 光 雄
 教授 法文学部 出 口 卓 顕
 教授 教育学部 高 橋 哲 也
 教授 教育学部 小 川 巖 也
 教授 医学部 小 並 河 一 之
 教授 医学部 田 籠 博 彦
 教授 生物資源科学部 板 野 中 裕
 教授 生物資源科学部 野 高 須 光 一
 教授 総合理工学研究科 廣 光 郎
 教授 総合理工学研究科 原 田 守 守

沿革・組織
 学部等
 学生数、入試・就職・進学状況
 公開講座・公開授業
 外部資金、収入・支出決算額
 国際交流・その他

教職員数

2013.5.1現在

| 区分 | 役員 | | | | 教育職員 | | | | | | | | | 一般職員 | | | | | | | 医療職員 | | | 合計 | | | |
|-----------|------------------|-----------|----|----|------|-----|----|-----|----|---------|------|------|----|------|-----|------|------|------|------|------|------|-----|--------|-----|------|-------|----|
| | 学長 | 理事 | 監事 | 小計 | 教授 | 准教授 | 講師 | 助教 | 校長 | 副校長・副園長 | 主幹教諭 | 指導教諭 | 教諭 | 養護教諭 | 小計 | 事務職員 | 技術職員 | 図書職員 | 技能職員 | 労務職員 | 教務職員 | 小計 | 医療技術職員 | | 看護職員 | 小計 | |
| 学長 | 1 | | | 1 | | | | | | | | | | | 0 | | | | | | | 0 | | | 0 | 1 | |
| 理事 | | 6 | | 6 | | | | | | | | | | | 0 | | | | | | | 0 | | | 0 | 6 | |
| 監事 | | | 2 | 2 | | | | | | | | | | | 0 | | | | | | | 0 | | | 0 | 2 | |
| 監査室 | | | | 0 | | | | | | | | | | | 0 | 2 | | | | | | 2 | | | 2 | 2 | |
| 理事の下に置く部 | 総務部 | 総務部長 | | | 0 | | | | | | | | | | 0 | 1 | | | | | | 1 | | | 0 | 1 | |
| | | 総務課 | | | 0 | | | | | | | | | | | 0 | 18 | | 1 | | | | 19 | | | 0 | 19 |
| | | 人事労務課 | | | 0 | | | | | | | | | | | 0 | 22 | | | | | | 22 | | | 0 | 22 |
| | 財務部 | 財務部長 | | | 0 | | | | | | | | | | | 0 | 1 | | | | | | 1 | | | 0 | 1 |
| | | 財務課 | | | 0 | | | | | | | | | | | 0 | 9 | | | | | | 9 | | | 0 | 9 |
| | | 経理・調達課 | | | 0 | | | | | | | | | | | 0 | 18 | | | | | | 18 | | | 0 | 18 |
| | | 施設企画課 | | | 0 | | | | | | | | | | | 0 | 8 | 8 | | | 2 | | 18 | | | 0 | 18 |
| | 教育部 | 施設整備課 | | | 0 | | | | | | | | | | | 0 | 1 | 14 | | | | | 15 | | | 0 | 15 |
| | | 教育・学生支援部長 | | | 0 | | | | | | | | | | | 0 | 1 | | | | | | 1 | | | 0 | 1 |
| | | 教育・入試企画課 | | | 0 | | | | | | | | | | | 0 | 10 | | | | | | 10 | | | 0 | 10 |
| | | 学務課 | | | 0 | | | | | | | | | | | 0 | 24 | | | | | | 24 | | | 0 | 24 |
| | 学術国際部 | 学生支援課 | | | 0 | | | | | | | | | | | 0 | 14 | | | | | | 14 | | | 0 | 14 |
| | | 学術国際部長 | | | 0 | | | | | | | | | | | 0 | 1 | | | | | | 1 | | | 0 | 1 |
| | | 研究協力課 | | | 0 | | | | | | | | | | | 0 | 9 | 2 | | | | 1 | 12 | | | 0 | 12 |
| 国際交流課 | | | | 0 | | | | | | | | | | | 0 | 5 | | | | | | 5 | | | 0 | 5 | |
| 国際部 | 情報企画課 | | | 0 | | | | | | | | | | | 0 | 6 | 2 | | | | 1 | 9 | | | 0 | 9 | |
| | 図書情報課 | | | 0 | | | | | | | | | | | 0 | 4 | | 14 | | | | 18 | | | 0 | 18 | |
| 法文学部 | | | 0 | 31 | 34 | 3 | | | | | | | | | 68 | 6 | | | | | | 6 | | | 0 | 74 | |
| 教育学部 | | | 0 | 42 | 29 | 11 | 2 | | | | | | | | 84 | 12 | | | | | | 12 | | | 0 | 96 | |
| 附属幼稚園 | | | 0 | | | | | | 1 | | 1 | 4 | 1 | 7 | | | | | | | | 0 | | | 0 | 7 | |
| 附属小学校 | | | 0 | | | | | | 1 | 2 | 1 | 19 | 2 | 25 | | | | | | | | 0 | | | 0 | 25 | |
| 附属中学校 | | | 0 | | | | | | 1 | 2 | 2 | 23 | 1 | 29 | | | | | | | | 0 | | | 0 | 29 | |
| 医学部 | | | 0 | 52 | 26 | 11 | 77 | | | | | | | 166 | 101 | 43 | | 6 | | | 7 | 157 | | | 0 | 323 | |
| 附属病院 | | | 0 | 2 | 9 | 31 | 79 | | | | | | | 121 | 1 | 2 | | 9 | | | | 12 | 123 | 556 | 679 | 812 | |
| 総合理工学研究科 | | | 0 | 54 | 39 | 8 | 14 | | | | | | | 115 | 8 | 3 | | | | | 2 | 13 | | | 0 | 128 | |
| 生物資源科学部 | | | 0 | 31 | 41 | 2 | 15 | | | | | | | 89 | 11 | 13 | | | | | | 24 | | | 0 | 113 | |
| 法務研究科 | | | 0 | 9 | 5 | | | | | | | | | 14 | 2 | | | | | | | 2 | | | 0 | 16 | |
| 教育・学生支援機構 | 教学企画IR室 | | | 0 | | | | | | | | | | 0 | | | | | | | | 0 | | | 0 | 0 | |
| | 教育開発センター | | | 0 | | 2 | 2 | 1 | | | | | | 5 | | | | | | | | 0 | | | 0 | 5 | |
| | 外国語教育センター | | | 0 | 4 | 7 | | | | | | | | 11 | | | | | | | | 0 | | | 0 | 11 | |
| | 生涯教育推進センター | | | 0 | 1 | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | 0 | | | 0 | 1 | |
| | 入学センター | | | 0 | 1 | 1 | | | | | | | | 2 | | | | | | | | 0 | | | 0 | 2 | |
| | キャリアセンター | | | 0 | 1 | | 1 | 1 | | | | | | 3 | | | | | | | | 0 | | | 0 | 3 | |
| 保健管理センター | | | 0 | 2 | 1 | | | | | | | | 3 | | | | | | | | 0 | 1 | 2 | 3 | 6 | | |
| 学生支援センター | | | 0 | | | | | | | | | | 0 | | | | | | | | 0 | | | 0 | 0 | | |
| 研究機構 | 戦略的研究推進センター | | | 0 | | | 1 | | | | | | | 1 | | | | | | | | 0 | | | 0 | 1 | |
| | 汽水域研究センター | | | 0 | 2 | 3 | | | | | | | | 5 | | | | | | | | 0 | | | 0 | 5 | |
| | 産学連携センター | | | 0 | 3 | 1 | | | | | | | | 4 | | | | | | | | 0 | | | 0 | 4 | |
| | 総合科学研究支援センター | | | 0 | 2 | 2 | | 4 | | | | | | 8 | | | | | | | | 0 | | | 0 | 8 | |
| 国際連携機構 | 国際交流センター | | | 0 | 1 | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | 0 | | | 0 | 1 | |
| | 島根大学・宁夏大学国際共同研究所 | | | 0 | | | | | | | | | | 0 | | | | | | | | 0 | | | 0 | 0 | |
| 学術情報機構 | 附属図書館 | | | 0 | | | | | | | | | | 0 | | | | | | | | 0 | | | 0 | 0 | |
| | 総合情報処理センター | | | 0 | | 1 | | | | | | | | 1 | | | | | | | | 0 | | | 0 | 1 | |
| | ミュージアム | | | 0 | | 1 | | | | | | | | 1 | | | | | | | | 0 | | | 0 | 1 | |
| 総合企画室 | | | 0 | | | | | | | | | | 0 | | | | | | | | 0 | | | 0 | 0 | | |
| 評価室 | | | 0 | | | 1 | | | | | | | | 1 | | | | | | | | 0 | | | 0 | 1 | |
| 男女共同参画推進室 | | | 0 | | | | | | | | | | | 0 | | | | | | | | 0 | | | 0 | 0 | |
| 広報室 | | | 0 | | | | | | | | | | | 0 | | | | | | | | 0 | | | 0 | 0 | |
| 合計 | 1 | 6 | 2 | 9 | 238 | 202 | 71 | 193 | 0 | 3 | 4 | 4 | 46 | 4 | 765 | 295 | 87 | 14 | 16 | 2 | 11 | 425 | 124 | 558 | 682 | 1,881 | |

(注)1.理事及び監事には、非常勤の理事及び監事各1名を含む。2.病院診療職員は含まない。3.外国人研究員は含まない。

学部・大学院

■学部

| 学部 | 学科・課程 | 講座等 |
|-------------|------------|--|
| 法文学部 | 法経学科 | 法経 |
| | 社会文化学科 | 社会文化 |
| | 言語文化学科 | 言語文化 |
| 教育学部 | 学校教育課程 | 初等教育開発、心理・発達臨床、言語文化教育、共生社会教育、数理解基礎教育、自然環境教育、人間生活環境教育、健康・スポーツ教育、芸術表現教育 |
| 医学部 | 医学科 | 基礎医学系 解剖学、生理学、生化学、生命科学 臨床基礎医学系 薬理学、病理学、微生物・免疫学 社会医学系 法医学、環境保健医学、医療情報学、医療社会文化学 臨床医学系 内科学、皮膚科学、小児科学、外科学、整形外科学、脳神経外科学、泌尿器科学、精神医学、産科婦人科学、耳鼻咽喉科学、眼科学、放射線医学、麻酔科学、緩和ケア、歯科口腔外科学、臨床検査医学、救急医学、地域医療教育学、地域医療支援学、総合医療学 |
| | | 看護学科 |
| | 総合理工学部 | 物質科学科 |
| 地球資源環境学科 | | 地球物質システム学、環境地質学、自然災害工学 |
| 数理・情報システム学科 | | 数理構造、数理解析、応用情報学、計算機科学 |
| 機械・電気電子工学科 | | 制御システム工学、計測システム工学、電気電子システム工学、電子デバイス工学 |
| 生物資源科学部 | 建築・生産設計工学科 | 材料工学、機械加工システム学 |
| | 生物科学科 | 生物科学教育コース |
| | 生命工学科 | 生命工学教育コース |
| | 農林生産学科 | 農業生産学教育コース、森林学教育コース、農林生態学教育コース、農村経済学教育コース |
| | 地域環境科学科 | 生態環境科学教育コース、環境資源工学教育コース、地域工学教育コース |

■大学院

| 研究科 | 専攻 | 講座等 |
|-----------------|--------------|--|
| 人文社会科学研究科 修士課程 | 法経専攻 | 法政コース、地域経済コース |
| | 言語・社会文化専攻 | 言語文化コース、社会文化コース |
| 教育学研究科 修士課程 | 教育実践開発専攻 | 学習開発コース、臨床心理コース、発達臨床コース |
| | 教育内容開発専攻 | 言語系教育コース、社会系教育コース、数理系教育コース、自然系教育コース、生活系教育コース、健康系教育コース、芸術系教育コース |
| 医学系研究科 博士課程 | 医科学専攻 | 研究者育成コース、高度臨床医学育成コース、地域がん専門医育成コース |
| 医学系研究科 修士課程 | 医科学専攻 | 総合医科学コース、がん専門薬剤師養成コース、地域医療支援コーディネータ養成コース、医療シミュレータ教育指導者養成コース |
| | 看護学専攻 | 看護援助学コース、看護管理学コース、母子看護学コース、成人看護学コース、地域在宅看護学コース、高齢者看護学コース、老人看護学CNSコース |
| 総合理工学研究科 博士後期課程 | マテリアル創成工学専攻 | マテリアル開発工学、マテリアル循環プロセス学 |
| | 電子機能システム工学専攻 | 電子情報システム工学、電子機能集積工学 |
| 総合理工学研究科 博士前期課程 | 総合理工学専攻 | 理工・連携コース、物理・材料科学コース、物質化学コース、地球資源環境学コース、数理解科学コース、情報システム学コース、機械・電気電子工学コース、建築・生産設計工学コース |
| 生物資源科学研究科 修士課程 | 生物生命科学専攻 | 課題研究コース、学術研究コース、地域産業人育成コース |
| | 農林生産学専攻 | 課題研究コース、学術研究コース、地域産業人育成コース |
| | 環境資源科学専攻 | 課題研究コース、学術研究コース、地域産業人育成コース |
| 法務研究科 専門職学位課程 | 法曹養成専攻 | |

附属図書館

■蔵書数 2013.5.1現在

| 区分 | 図書(冊) | | | 雑誌(種) | | |
|-------|---------|---------|---------|-------|-------|--------|
| | 和書 | 洋書 | 計 | 和書 | 洋書 | 計 |
| 本館 | 586,840 | 146,087 | 732,927 | 8,414 | 2,975 | 11,389 |
| 医学図書館 | 70,675 | 55,958 | 126,633 | 2,237 | 1,719 | 3,956 |

■利用状況

| 区分 | 入館者数 | 貸出冊数 | 図書の貸借 | | 文献複写 | |
|-------|---------|--------|-------|-----|-------|-------|
| | | | 貸出 | 借受 | 受付 | 依頼 |
| 本館 | 189,974 | 39,385 | 112 | 453 | 315 | 3,166 |
| 医学図書館 | 202,333 | 15,702 | 22 | 43 | 1,881 | 2,137 |

※本館では耐震改修工事により一時閉館や利用制限を行ったため、利用が減少した。

■閲覧座席

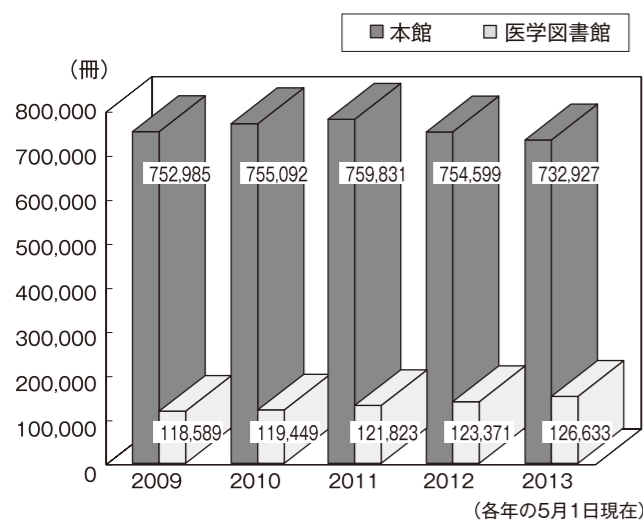
| 区分 | 座席数 | 備考 |
|-------|-----|---|
| 本館 | 560 | 開架閲覧室298席、ロビー13席、ラーニング commons 80席、新聞・雑誌コーナー24席、ラウンジ17席、グループ学習室20席、AVルーム14席、PCルーム41席、研究個室8席、地域資料室4席、マイクロ資料室2席、書庫内15席、その他24席 |
| 医学図書館 | 309 | 開架閲覧室189席、文献検索コーナー9席、セミナー室22席、自由閲覧室25席、ビデオ室11席、視聴覚室42席、アメニティコーナー11席 |

■開館時間等

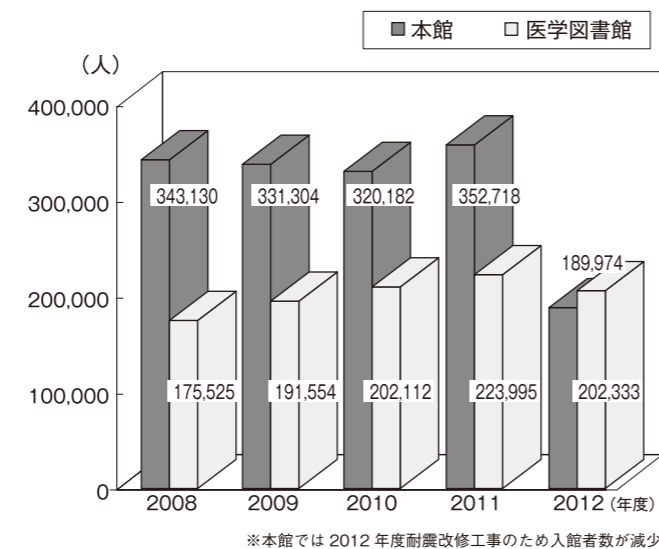
| 区分 | 開館時間 | | 休館日 |
|-------|---|-------------------------|---|
| | 月曜～金曜 | 土曜・日曜・休日 | |
| 本館 | 8:30～21:30 (休業期は9:00～19:00 または9:00～17:00) | 10:00～17:30 (休業期は休館) | 休業期の土曜・日曜・休日 年末・年始(12月28日～1月4日) 夏季一斉休業期間(8月13日～15日) 上記のほか、資料整理のための臨時休館あり |
| 医学図書館 | 9:00～20:00 (8月及び3月は短縮開館) | 10:00～16:00 | 8月及び3月の土曜・日曜・休日 年末・年始(12月28日～1月4日) 夏季一斉休業期間(8月13日～15日) 医学図書館長が必要と認めた日 |

■蔵書数・利用状況の推移

●蔵書数(図書)



●利用状況(入館者数)



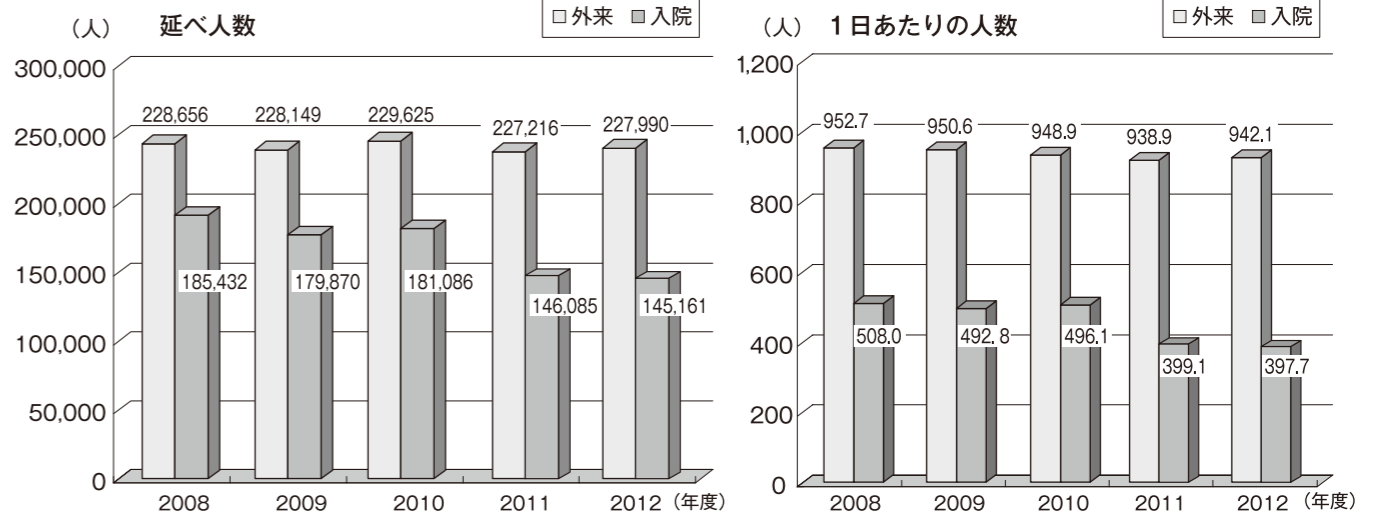
附属病院

■附属病院患者数 (2012.4.1～2013.3.31)

| 診療科名等 | 外来患者数 | | 入院患者数 | |
|----------------|---------|-------|---------|-------|
| | 延数 | 1日平均数 | 延数 | 1日平均数 |
| 内分泌代謝内科 | 10,728 | 44.3 | 2,737 | 7.5 |
| 腫瘍・血液内科 | 5,331 | 22.0 | 9,935 | 27.2 |
| 消化器内科 | 10,848 | 44.8 | 7,722 | 21.2 |
| 肝臓内科 | 7,092 | 29.3 | 3,707 | 10.2 |
| 神経内科 | 8,216 | 34.0 | 7,268 | 19.9 |
| 膠原病内科 | 6,977 | 28.8 | 1,720 | 4.7 |
| 呼吸器・化学療法内科 | 8,729 | 36.1 | 8,147 | 22.3 |
| 腎臓内科 | 3,558 | 14.7 | 2,464 | 6.8 |
| 循環器内科 | 8,153 | 33.7 | 7,340 | 20.1 |
| 皮膚科 | 14,468 | 59.8 | 2,197 | 6.0 |
| 小児科 | 8,570 | 35.4 | 7,880 | 21.6 |
| 消化器外科 | 9,591 | 39.6 | 14,156 | 38.8 |
| 肝・胆・膵外科 | 798 | 3.3 | 1,406 | 3.9 |
| 小児外科 | 1,082 | 4.5 | 768 | 2.1 |
| 乳腺・内分泌外科 | 3,129 | 12.9 | 1,112 | 3.0 |
| 心血管外科 | 1,723 | 7.1 | 3,940 | 10.8 |
| 呼吸器外科 | 1,728 | 7.1 | 3,617 | 9.9 |
| 整形外科 | 16,581 | 68.5 | 11,957 | 32.8 |
| 脳神経外科 | 4,133 | 17.1 | 6,084 | 16.7 |
| 泌尿器科 | 14,103 | 58.3 | 6,916 | 18.9 |
| 精神科神経科 | 14,478 | 59.8 | 8,310 | 22.8 |
| 産科 | 2,516 | 10.4 | 2,319 | 6.4 |
| 婦人科 | 9,578 | 39.6 | 5,880 | 16.1 |
| 耳鼻咽喉科 | 6,745 | 27.9 | 6,870 | 18.8 |
| 眼科 | 18,093 | 74.8 | 5,618 | 15.4 |
| 放射線科 | 953 | 3.9 | 157 | 0.4 |
| 放射線治療科 | 4,564 | 18.9 | 21 | 0.1 |
| 麻酔科 | 6,352 | 26.2 | 2,016 | 5.5 |
| 救命救急センター | 9,558 | 39.5 | 431 | 1.2 |
| 歯科口腔外科 | 8,518 | 35.2 | 2,449 | 6.7 |
| 顎顔面インプラントセンター | 1,058 | 4.4 | 17 | 0.0 |
| 臨床検査科 | 39 | 0.2 | | |
| ICU | | | (2,929) | (8.0) |
| NICU | | | (1,617) | (4.4) |
| HCU | | | (1,345) | (7.3) |
| 第2HCU | | | (840) | (4.6) |
| 救命救急センター第1ユニット | | | (1,411) | (7.8) |
| 救命救急センター第2ユニット | | | (1,001) | (5.5) |
| 合計 | 227,990 | 942.1 | 145,161 | 397.7 |

※ICU、NICU、HCU、第2HCU、救命救急センター第1ユニット・第2ユニットの患者数については、再掲で表示しております。

●患者数の推移



学生数

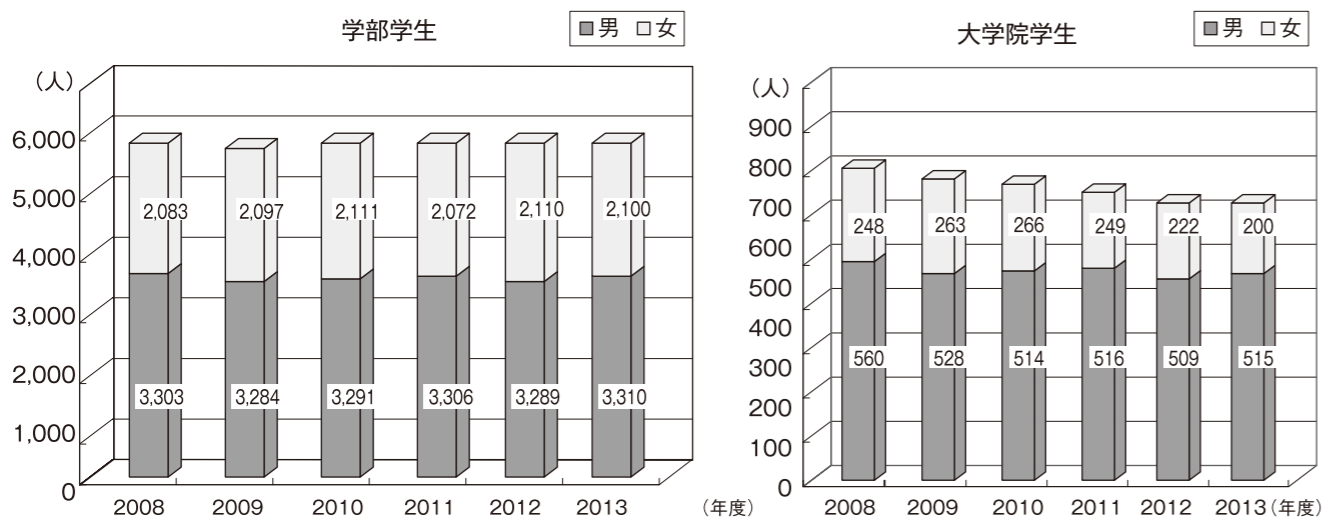
学部

2013.5.1現在

| 区分 | 入学定員 | 収容定員 | 現員 | | | |
|---------|-------------|---------|------------|------------|------------|------------|
| | | | 男 | 女 | 計 | |
| 法文学部 | 法経学科 | 90 | 360 | 257 (3) | 138 | 395 (3) |
| | 社会文化学科 | 70 | 280 | 145 (1) | 179 (4) | 324 (5) |
| | 言語文化学科 | 65 | 260 | 63 (3) | 224 (3) | 287 (6) |
| | 計 | 225【10】 | 920 | 465 (7) | 541 (7) | 1,006 (14) |
| 教育学部 | 学校教育課程 | 170 | 680 | 293 | 418 | 711 |
| | 計 | 170 | 680 | 293 | 418 | 711 |
| 医学部 | 医学科 | 102 | 586 | 382 | 261 | 643 |
| | 看護学科 | 60 | 240 | 31 | 235 | 266 |
| | 計 | 162【20】 | 886 | 413 | 496 | 909 |
| 総合理工学部 | 物質科学科 | 130 | 520 | 507 (4) | 75 (1) | 582 (5) |
| | 地球資源環境学科 | 50 | 200 | 158 | 55 (1) | 213 (1) |
| | 数理・情報システム学科 | 100 | 400 | 345 (3) | 86 (1) | 431 (4) |
| | 電子制御システム工学科 | - | 160 | 206 (3) | 6 | 212 (3) |
| | 材料プロセス工学科 | - | 80 | 76 (2) | 19 (1) | 95 (3) |
| | 機械・電気電子工学科 | 80 | 160 | 164 (3) | 5 | 169 (3) |
| | 建築・生産設計工学科 | 40 | 80 | 62 (1) | 23 (1) | 85 (2) |
| | 計 | 400【12】 | 1,624 | 1,518 (16) | 269 (5) | 1,787 (21) |
| | 生物資源科学部 | 30 | 120 | 72 (1) | 57 (3) | 129 (4) |
| 生態環境科学科 | - | 90 | 80 (3) | 41 | 121 (3) | |
| 生命工学科 | 40 | 160 | 98 | 93 | 191 | |
| 農業生産学科 | - | 60 | 41 | 31 | 72 | |
| 地域開発科学科 | - | 110 | 117 (2) | 31 (2) | 148 (4) | |
| 農林生産学科 | 85 | 170 | 101 (1) | 83 (1) | 184 (2) | |
| 地域環境科学科 | 45 | 90 | 79 (3) | 22 | 101 (3) | |
| 計 | 200【20】 | 840 | 588 (10) | 358 (6) | 946 (16) | |
| 合計 | 1,157【62】 | 4,950 | 3,277 (33) | 2,082 (18) | 5,359 (51) | |

注) 1. 入学定員欄の【 】は、第3年次編入学定員で外数 2. 現員欄の()は外国人留学生で外数

学部学生・大学院学生数の推移



大学院

2013.5.1現在

| 区分 | 入学定員 | 収容定員 | 現員 | | | | | | | | | 大学院計 | | | |
|-----------|--------------|------|-------------|----------|----------|---------------|---------|----------|----------|---|----|----------|----------|----------|----------|
| | | | 修士課程、博士前期課程 | | | 医学博士課程、博士後期課程 | | | 専門職学位課程 | | | 男 | 女 | 計 | |
| | | | 男 | 女 | 計 | 男 | 女 | 計 | 男 | 女 | 計 | | | | |
| 人文社会科学研究科 | 法経専攻 | 6 | 12 | 2 (3) | (4) | 2 (7) | | | | | | | 2 (3) | (4) | 2 (7) |
| | 言語・社会文化専攻 | 6 | 12 | 7 | 5 (1) | 12 (1) | | | | | | | 7 | 5 (1) | 12 (1) |
| | 計 | 12 | 24 | 9 (3) | 5 (5) | 14 (8) | | | | | | | 9 (3) | 5 (5) | 14 (8) |
| 法務研究科 | 法曹養成専攻 | 20 | 60 | | | | | | | | | 20 | 6 | 26 | 26 |
| | 計 | 20 | 60 | | | | | | | | | 20 | 6 | 26 | 26 |
| 教育学研究科 | 教育実践開発専攻 | 20 | 40 | 12 | 19 (1) | 31 (1) | | | | | | | 12 | 19 (1) | 31 (1) |
| | 教育内容開発専攻 | 20 | 40 | 14 | 9 (4) | 23 (4) | | | | | | | 14 | 9 (4) | 23 (4) |
| | 計 | 40 | 80 | 26 | 28 (5) | 54 (5) | | | | | | | 26 | 28 (5) | 54 (5) |
| 医学系研究科 | 医科学専攻 | 15 | 30 | 20 | 16 | 36 | | | | | | | 20 | 16 | 36 |
| | 看護学専攻 | 12 | 24 | 2 | 28 | 30 | | | | | | | 2 | 28 | 30 |
| | 医科学専攻 | 30 | 120 | | | | 91 (13) | 33 (10) | 124 (23) | | | | 91 (13) | 33 (10) | 124 (23) |
| | 機能系専攻 | - | - | | | | 4 | 1 | 5 | | | | 4 | 1 | 5 |
| 計 | 57 | 174 | 22 | 44 | 66 | 95 (13) | 34 (10) | 129 (23) | | | | 117 (13) | 78 (10) | 195 (23) | |
| 総合理工学研究科 | 総合理工学専攻 | 124 | 248 | 211 (11) | 27 (2) | 238 (13) | | | | | | | 211 (11) | 27 (2) | 238 (13) |
| | 物質科学専攻 | - | - | | 1 | 1 | | | | | | | | 1 | 1 |
| | 地球資源環境学専攻 | - | - | 2 (2) | | 2 (2) | | | | | | | 2 (2) | | 2 (2) |
| | 電子制御システム工学専攻 | - | - | (1) | | (1) | | | | | | | (1) | | (1) |
| | 計 | 124 | 248 | 213 (14) | 28 (2) | 241 (16) | | | | | | | 213 (14) | 28 (2) | 241 (16) |
| | マテリアル創成工学専攻 | 6 | 18 | | | | 10 (7) | 2 (2) | 12 (9) | | | | 10 (7) | 2 (2) | 12 (9) |
| | 電子機能システム工学専攻 | 6 | 18 | | | | 9 (2) | 1 (1) | 10 (3) | | | | 9 (2) | 1 (1) | 10 (3) |
| | 計 | 12 | 36 | | | | 19 (9) | 3 (3) | 22 (12) | | | | 19 (9) | 3 (3) | 22 (12) |
| 生物資源科学研究科 | 生物生命科学専攻 | 20 | 40 | 38 (3) | 12 | 50 (3) | | | | | | | 38 (3) | 12 | 50 (3) |
| | 農林生産科学専攻 | 22 | 44 | 10 (1) | 5 (1) | 15 (2) | | | | | | | 10 (1) | 5 (1) | 15 (2) |
| | 環境資源科学専攻 | 18 | 36 | 18 (2) | 6 (3) | 24 (5) | | | | | | | 18 (2) | 6 (3) | 24 (5) |
| | 計 | 60 | 120 | 66 (6) | 23 (4) | 89 (10) | | | | | | | 66 (6) | 23 (4) | 89 (10) |
| 合計 | 325 | 742 | 336 (23) | 128 (16) | 464 (39) | 114 (22) | 37 (13) | 151 (35) | 20 | 6 | 26 | 470 (45) | 171 (29) | 641 (74) | |

注) 現員欄の()は外国人留学生で外数

附属学校児童・生徒・幼児数

2013.5.1現在

附属幼稚園

| 区分 | 男 | 女 | 計 | |
|------|-----|----|----|----|
| 2年課程 | 4才児 | 13 | 15 | 28 |
| | 5才児 | 19 | 21 | 40 |
| 合計 | 32 | 36 | 68 | |

附属中学校

| 区分 | 男 | 女 | 計 | |
|--------|-----|-----|-----|---|
| 1学年 | 68 | 70 | 138 | |
| 2学年 | 69 | 70 | 139 | |
| 3学年 | 68 | 70 | 138 | |
| 特別支援学級 | 1学年 | 0 | 0 | 0 |
| | 2学年 | 1 | 0 | 1 |
| | 3学年 | 1 | 0 | 1 |
| 合計 | 207 | 210 | 417 | |

附属小学校

| 区分 | 男 | 女 | 計 | |
|--------|-----|-----|-----|---|
| 1学年 | 35 | 23 | 58 | |
| 2学年 | 28 | 32 | 60 | |
| 3学年 | 30 | 27 | 57 | |
| 4学年 | 30 | 30 | 60 | |
| 5学年 | 32 | 28 | 60 | |
| 6学年 | 31 | 29 | 60 | |
| 特別支援学級 | 5年 | 0 | 0 | 0 |
| | 6年 | 0 | 0 | 0 |
| 合計 | 186 | 169 | 355 | |

入試実施状況(2013年度入学)

学部

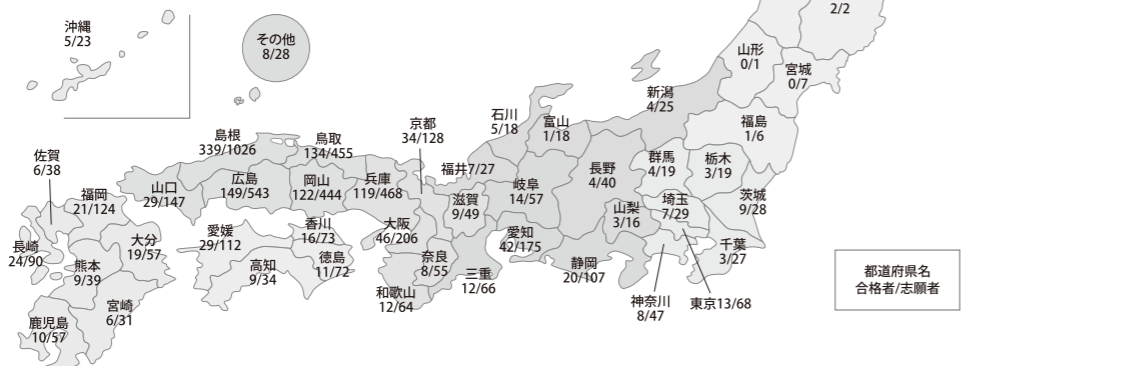
| 学部・学科・課程・専攻等 | 入学定員 | 志願者 | 受験者 | 合格者 | 入学者 | 入学者出身別 (%) | | | |
|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|-------------|-------------|------|----|
| | | | | | | 県内 | 県外 | | |
| 法文学部 | 法経学科 | 90 | 368 | 214 | 121 | 90 | 30.5 | 69.5 | |
| | 社会文化学科 | 70 | 312 | 220 | 89 | 79 | | | |
| | 言語文化学科 | 65 | 245 | 166 | 83 | 70 | | | |
| | 計 | 225 | 925 | 600 | 293 | 239 | | | |
| 教育学部 | 学校教育課程I類 | 170 | 605 | 387 | 142 | 137 | 45.3 | 54.7 | |
| | 学校教育課程II類 | | 健康・スポーツ教育専攻 | 114 | 86 | 18 | | | 17 |
| | | | 音楽教育専攻 | 44 | 42 | 17 | | | 17 |
| | | | 美術教育専攻 | 12 | 12 | 8 | | | 8 |
| | 計 | 170 | 775 | 527 | 185 | 179 | — | — | |
| 医学部 | 医学科 | 102 | 717 | 587 | 104 | 102 | 30.1 | 69.9 | |
| | 看護学科 | 60 | 271 | 162 | 67 | 64 | | | |
| | 計 | 162 | 988 | 749 | 171 | 166 | | | — |
| 総合理工学部 | 物質科学科 | 400 | 761 | 561 | 147 | 137 | 20.0 | 80.0 | |
| | 地球資源環境学科 | | 210 | 127 | 57 | 49 | | | |
| | 数理・情報システム学科 | | 415 | 291 | 117 | 101 | | | |
| | 機械・電気電子工学科 | | 305 | 224 | 84 | 82 | | | |
| | 建築・生産設計工学科 | | 130 | 128 | 53 | 46 | | | |
| | 計 | 400 | 1,821 | 1,331 | 458 | 415 | — | — | |
| 生物資源科学部 | 生物科学科 | 30 | 78 | 55 | 33 | 31 | 14.9 | 85.1 | |
| | 生命工学科 | 40 | 103 | 84 | 50 | 49 | | | |
| | 農林生産学科 | 85 | 303 | 297 | 99 | 94 | | | |
| | 地域環境科学科 | 45 | 193 | 145 | 51 | 48 | | | |
| | 計 | 200 | 677 | 581 | 233 | 222 | | | — |
| 合計 | 1,157 | 5,186 | 3,788 | 1,340 | 1,221 | 26.2 | 73.8 | | |

注1. 医学部の受験者数は第1段階選抜不合格者を除く数である。注2. 私費外国人留学生入試、3年次編入学入試は含まない。

私費外国人留学生入試

| 学部・学科等 | 募集人員 | 志願者 | 受験者 | 合格者 | 入学者 | | |
|------------|-------------|-----------|-----------|-----------|-----------|---|---|
| 法文学部 | 法経学科 | 若干名 | 2 | 2 | 0 | 0 | |
| | 社会文化学科 | 若干名 | 14 | 14 | 3 | 2 | |
| | 言語文化学科 | 若干名 | 4 | 4 | 0 | 0 | |
| | 計 | — | 20 | 20 | 3 | 2 | |
| 総合理工学部 | 物質科学科 | 物理系 | 若干名 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| | | 化学系 | 若干名 | 3 | 3 | 1 | 0 |
| | 地球資源環境学科 | 若干名 | 1 | 1 | 1 | 1 | |
| | 数理・情報システム学科 | 数理系 | 若干名 | 1 | 1 | 1 | 0 |
| | | 情報系 | 若干名 | 1 | 1 | 1 | 0 |
| | 機械・電気電子工学科 | 若干名 | 9 | 9 | 4 | 2 | |
| 建築・生産設計工学科 | 若干名 | 4 | 4 | 3 | 2 | | |
| 計 | — | 20 | 20 | 12 | 6 | | |
| 生物資源科学部 | 生物科学科 | 若干名 | 4 | 4 | 2 | 1 | |
| | 生命工学科 | 若干名 | 1 | 1 | 0 | 0 | |
| | 農林生産学科 | 若干名 | 6 | 6 | 3 | 1 | |
| | 地域環境科学科 | 若干名 | 7 | 7 | 1 | 0 | |
| 計 | — | 18 | 18 | 6 | 2 | | |
| 合計 | — | 58 | 58 | 21 | 10 | | |

都道府県別志願者・合格者



内訳

(1) 一般入試

| 学部・学科・課程・専攻等 | 試験日程 | 募集人員 | 志願者 | 受験者 | 合格者 | 追加合格者 | 入学者 | | |
|--------------|-------------|-------------|-------|-------|-------|-------|-----|----|----|
| 法文学部 | 法経学科 | 前 | 45 | 113 | 101 | 53 | 4 | 80 | |
| | | 後 | 35 | 227 | 85 | 54 | | | |
| | 社会文化学科 | 前 | 43 | 123 | 120 | 49 | 0 | 72 | |
| | | 後 | 20 | 154 | 65 | 33 | | | |
| | 言語文化学科 | 前 | 38 | 103 | 99 | 48 | 0 | 60 | |
| 計 | 後 | 20 | 123 | 48 | 25 | 0 | 212 | | |
| 計 | 計 | 201 | 843 | 518 | 262 | 4 | 212 | | |
| 教育学部 | 学校教育課程I類 | 前 | 74 | 188 | 175 | 83 | 0 | 96 | |
| | | 後 | 16 | 301 | 97 | 18 | | | |
| | 学校教育課程II類 | 健康・スポーツ教育専攻 | 前 | 8 | 48 | 46 | 9 | 0 | 12 |
| | | | 後 | 4 | 61 | 35 | 4 | | |
| | | 音楽教育専攻 | 前 | 10 | 23 | 21 | 11 | 0 | 11 |
| | | | 後 | 4 | 4 | 4 | 4 | | |
| 美術教育専攻 | 前 | 4 | 4 | 4 | 4 | 0 | 4 | | |
| 計 | 計 | 116 | 625 | 378 | 129 | 0 | 123 | | |
| 医学部 | 医学科 | 前 | 62 | 582 | 452 | 62 | 2 | 62 | |
| | 看護学科 | 前 | 32 | 73 | 61 | 37 | 2 | 46 | |
| | | 後 | 10 | 146 | 49 | 10 | | | |
| 計 | 計 | 104 | 801 | 562 | 109 | 4 | 108 | | |
| 総合理工学部 | 物質科学科 | 物理受験コース | 前 | 33 | 138 | 126 | 41 | 0 | 53 |
| | | | 後 | 15 | 161 | 66 | 17 | | |
| | | 化学受験コース | 前 | 45 | 277 | 265 | 53 | 0 | 59 |
| | | | 後 | 10 | 130 | 49 | 11 | | |
| | 地球資源環境学科 | 前 | 28 | 88 | 84 | 33 | 1 | 40 | |
| | 後 | 10 | 108 | 29 | 14 | 0 | 70 | | |
| | 数理・情報システム学科 | 前 | 48 | 139 | 126 | 63 | 0 | 70 | |
| | 後 | 20 | 200 | 89 | 23 | 0 | 70 | | |
| | 機械・電気電子工学科 | 前 | 35 | 130 | 116 | 37 | 0 | 51 | |
| | 後 | 15 | 102 | 35 | 16 | 0 | 51 | | |
| | 建築・生産設計工学科 | 前 | 23 | 83 | 81 | 36 | 0 | 34 | |
| 後 | 5 | 26 | 26 | 5 | 0 | 34 | | | |
| 計 | 計 | 287 | 1,582 | 1,092 | 349 | 1 | 307 | | |
| 生物資源科学部 | 生物科学科 | 前 | 17 | 32 | 29 | 21 | 0 | 22 | |
| | | 後 | 5 | 25 | 5 | 3 | 0 | 42 | |
| | 生命工学科 | 前 | 29 | 69 | 63 | 39 | 0 | 69 | |
| | | 後 | 5 | 19 | 6 | 4 | 0 | 69 | |
| | 農林生産学科 | 前 | 54 | 167 | 161 | 64 | 0 | 69 | |
| | | 後 | 10 | 92 | 92 | 10 | 0 | 69 | |
| | 地域環境科学科 | 前 | 30 | 106 | 99 | 34 | 0 | 37 | |
| 後 | | 5 | 64 | 23 | 6 | 0 | 37 | | |
| 計 | 計 | 155 | 574 | 478 | 181 | 0 | 170 | | |
| 合計 | 前 | 658 | 2,486 | 2,229 | 777 | 9 | 920 | | |
| | 後 | 205 | 1,939 | 799 | 253 | 9 | 920 | | |
| | 一般入試合計 | 863 | 4,425 | 3,028 | 1,030 | 9 | 920 | | |

注1. 「前」…前期日程「後」…後期日程 注2. 医学部医学科の受験者数は第1段階選抜不合格者を除く数である。

(2) 専門高校・総合学科卒業生入試

| 学部・学科 | 募集人員 | 志願者 | 受験者 | 合格者 | 追加合格者 | 入学者 |
|-----------|------------|----------|----------|----------|----------|----------|
| 医学部 看護学科 | 3以内 | 7 | 7 | 3 | — | 3 |
| 合計 | 3以内 | 7 | 7 | 3 | — | 3 |

(3) 推薦入試I

| 学部・学科・課程・専攻等 | 募集人員 | 志願者 | 受験者 | 合格者 | 入学者 | | |
|--------------|-------------|-------------|------------|------------|------------|----|----|
| 法文学部 | 法経学科 | 10 | 28 | 28 | 10 | 10 | |
| | 社会文化学科 | 7 | 35 | 35 | 7 | 7 | |
| | 言語文化学科 | 7 | 18 | 18 | 9 | 9 | |
| | 計 | 24 | 81 | 81 | 26 | 26 | |
| 教育学部 | 学校教育課程I類 | 自然環境教育専攻 | 4 | 17 | 17 | 5 | 5 |
| | | 人間生活環境教育専攻 | 4 | 17 | 17 | 5 | 5 |
| | 学校教育課程II類 | 健康・スポーツ教育専攻 | 4 | 5 | 5 | 5 | 5 |
| | | 音楽教育専攻 | 6 | 21 | 21 | 6 | 6 |
| | | 美術教育専攻 | 4 | 8 | 8 | 4 | 4 |
| | | 計 | 22 | 68 | 68 | 25 | 25 |
| 総合理工学部 | 物質科学科 | 物理受験コース | 5 | 19 | 19 | 7 | 7 |
| | | 化学受験コース | 4 | 10 | 10 | 4 | 4 |
| | 地球資源環境学科 | 7 | 4 | 4 | 4 | 4 | |
| | 数理・情報システム学科 | 数理系コース | 9 | 28 | 28 | 10 | 10 |
| | | 情報系コース | 10 | 17 | 17 | 11 | 11 |
| | 機械・電気電子工学科 | 15 | 52 | 52 | 18 | 18 | |
| 建築・生産設計工学科 | 11 | 19 | 19 | 12 | 12 | | |
| 計 | 61 | 149 | 149 | 66 | 66 | | |
| 生物資源科学部 | 生物科学科 | 8 | 21 | 21 | 9 | 9 | |
| | 生命工学科 | 6 | 15 | 15 | 7 | 7 | |
| | 農林生産学科 | 21 | 44 | 44 | 25 | 25 | |
| | 地域環境科学科 | 10 | 23 | 23 | 11 | 11 | |
| 計 | 45 | 103 | 103 | 52 | 52 | | |
| 合計 | 152 | 401 | 401 | 169 | 169 | | |

入試実施状況(2013年度入学)

(4) 推薦入試Ⅱ

| 学部・学科等 | | 募集人員 | 志願者 | 受験者 | 合格者 | 入学者 | |
|--------|-------------|---------|-----|-----|-----|-----|---|
| 医学部 | 医学科 | 25以内 | 104 | 104 | 25 | 25 | |
| | 看護学科 | 15 | 45 | 45 | 15 | 15 | |
| | 計 | 40 | 149 | 149 | 40 | 40 | |
| 総合理工学部 | 物質科学科 | 物理受験コース | 10 | 10 | 10 | 9 | 9 |
| | | 化学受験コース | 4 | 14 | 14 | 5 | 5 |
| | 数理・情報システム学科 | 数理系コース | 5 | 21 | 21 | 5 | 5 |
| | | 情報系コース | 5 | 8 | 8 | 5 | 5 |
| | 機械・電気電子工学科 | 13 | 19 | 19 | 13 | 13 | |
| | 計 | 37 | 72 | 72 | 37 | 37 | |
| 合 計 | 77 | 221 | 221 | 77 | 77 | | |

(5) 地域枠推薦入試

| 学部・学科 | 募集人員 | 志願者 | 受験者 | 合格者 | 入学者 |
|---------|------|-----|-----|-----|-----|
| 医学部 医学科 | 10以内 | 20 | 20 | 10 | 10 |
| 合 計 | 10以内 | 20 | 20 | 10 | 10 |

(6) 緊急医師確保対策枠推薦入試

| 学部・学科 | 募集人員 | 志願者 | 受験者 | 合格者 | 入学者 |
|---------|------|-----|-----|-----|-----|
| 医学部 医学科 | 5以内 | 11 | 11 | 5 | 5 |
| 合 計 | 5以内 | 11 | 11 | 5 | 5 |

(7) アドミッション・オフィス入試

| 学部・学科・課程・専攻等 | | | 区分 | 募集人員 | 志願者 | 受験者 | 合格者 | 入学者 |
|--------------|----------|-----|--------|------|-----|-----|-----|-----|
| 教育学部 | 学校教育課程Ⅰ類 | 文系型 | AOⅡ | 20 | 57 | 56 | 22 | 22 |
| | | 理系型 | AOⅡ | 12 | 25 | 25 | 9 | 9 |
| | 計 | — | — | 32 | 82 | 81 | 31 | 31 |
| 総合理工学部 | 地球資源環境学科 | AOⅠ | 5 | 10 | 10 | 5 | 5 | |
| | 理工特別コース | AOⅡ | 10 | 8 | 8 | 0 | 0 | |
| | 計 | — | 15 | 18 | 18 | 5 | 5 | |
| 合 計 | | | AOⅠ | 5 | 10 | 10 | 5 | 5 |
| | | | AOⅡ | 42 | 90 | 89 | 31 | 31 |
| | | | AO入試合計 | 47 | 100 | 99 | 36 | 36 |

注1.「AOⅠ」…AO入試Ⅰ(センター試験を課さない) 「AOⅡ」…AO入試Ⅱ(センター試験を課す)

(8) 社会人入試

| 学部・学科 | 募集人員 | 志願者 | 受験者 | 合格者 | 入学者 | |
|-------|--------|-----|-----|-----|-----|---|
| 法学部 | 法経学科 | 若干名 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 社会文化学科 | 若干名 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 言語文化学科 | 若干名 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| 合 計 | — | 1 | 1 | 1 | 1 | |

(9) 帰国生入試

| 学部・学科 | 募集人員 | 志願者 | 受験者 | 合格者 | 入学者 | |
|---------|--------|-----------|-----|-----|-----|---|
| 法学部 | 法経学科 | 推薦Ⅰと合計10名 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 社会文化学科 | 若干名 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 言語文化学科 | 若干名 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 計 | — | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 生物資源科学部 | 各学科 | 若干名 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 合 計 | — | 0 | 0 | 0 | 0 | |

■3年次編入学入試

| 学部・学科等 | | 区分 | 募集人員 | 志願者 | 受験者 | 合格者 | 入学者 |
|---------|-------------|-----|------|-----|-----|-----|-----|
| 法学部 | 法経学科 | 一般 | 10 | 13 | 11 | 3 | 2 |
| | 社会文化学科 | 一般 | | 6 | 6 | 3 | 3 |
| | 言語文化学科 | 一般 | | 14 | 13 | 6 | 6 |
| | 計 | — | | 10 | 33 | 30 | 12 |
| 医学部 | 医学科(学士入学) | 一般 | 10 | 269 | 230 | 12 | 10 |
| | 看護学科 | 一般 | 10 | 22 | 22 | 8 | 4 |
| | 計 | — | 20 | 291 | 252 | 20 | 14 |
| 総合理工学部 | 物質科学科 | 物理系 | 推薦 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | | 一般 | 1 | 1 | 0 | 0 | |
| | 化学系 | 推薦 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | | 一般 | 5 | 5 | 3 | 1 | |
| | 地球資源環境学科 | 一般 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | 数理・情報システム学科 | 数理系 | 推薦 | 2 | 2 | 0 | 0 |
| | | | 一般 | 5 | 3 | 1 | 1 |
| | | 情報系 | 推薦 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | | | 一般 | 3 | 3 | 2 | 0 |
| | 電子制御システム工学科 | 推薦 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | 一般 | 6 | 6 | 4 | 1 | | |
| | 材料プロセス工学科 | 推薦 | 1 | 1 | 1 | 1 | |
| | 一般 | 3 | 3 | 2 | 2 | | |
| 計 | — | 12 | 26 | 24 | 13 | 6 | |
| 生物資源科学部 | 生物科学科 | 推薦 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | | 一般 | 1 | 1 | 0 | 0 | |
| | 生態環境科学科 | 推薦 | 1 | 1 | 1 | 1 | |
| | | 一般 | 10 | 10 | 6 | 4 | |
| | 生命工学科 | 推薦 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | | 一般 | 2 | 2 | 1 | 0 | |
| | 農業生産学科 | 推薦 | 7 | 7 | 3 | 3 | |
| | | 一般 | 7 | 7 | 6 | 5 | |
| | 地域開発科学科 | 推薦 | 4 | 4 | 4 | 4 | |
| | 一般 | 1 | 0 | 0 | 0 | | |
| 計 | — | 20 | 33 | 32 | 21 | 17 | |
| 合 計 | — | 62 | 383 | 338 | 66 | 48 | |

■大学院

| 研究科・専攻等 | | 募集人員 | 志願者 | 受験者 | 合格者 | 入学者 |
|-----------------|------------------|-----------|-----|-----|-----|-----|
| 人文社会科学研究科(修士課程) | 法経専攻 | 6 | 7 | 6 | 3 | 3 |
| | 言語・社会文化専攻 | 6 | 7 | 7 | 5 | 4 |
| | 計 | 12 | 14 | 13 | 8 | 7 |
| 教育学研究科(修士課程) | 教育実践開発専攻 | 20 | 36 | 34 | 21 | 20 |
| | 教育内容開発専攻 | 20 | 18 | 16 | 14 | 12 |
| | 計 | 40 | 54 | 50 | 35 | 32 |
| 医学系研究科(修士課程) | 医科学専攻 | 15 | 17 | 17 | 17 | 17 |
| | 看護学専攻 | 12 | 11 | 11 | 11 | 11 |
| | 計 | 27 | 28 | 28 | 28 | 28 |
| (博士課程) | 医科学専攻 | 30 | 30 | 28 | 28 | 28 |
| | 計 | 30 | 30 | 28 | 28 | 28 |
| | 総合理工学研究科(博士前期課程) | 理工・医連携コース | 6 | 4 | 4 | 3 |
| 物理・材料科学コース | | 17 | 23 | 20 | 20 | 19 |
| 物質化学コース | | 22 | 32 | 32 | 32 | 28 |
| 地球資源環境学コース | | 16 | 15 | 14 | 14 | 12 |
| 数理科学コース | | 13 | 19 | 18 | 18 | 16 |
| 情報システム学コース | | 11 | 13 | 13 | 13 | 12 |
| 機械・電気電子工学コース | | 29 | 43 | 43 | 42 | 38 |
| 建築・生産設計工学コース | | 10 | 15 | 15 | 13 | 11 |
| 計 | 124 | 164 | 159 | 155 | 139 | |
| (博士後期課程) | マテリアル創成工学専攻 | 6 | 4 | 4 | 4 | 4 |
| | 電子機能システム工学専攻 | 6 | 6 | 6 | 6 | 6 |
| | 計 | 12 | 10 | 10 | 10 | 10 |
| 生物資源科学研究科(修士課程) | 生物生命科学専攻 | 20 | 30 | 29 | 29 | 27 |
| | 農林生産科学専攻 | 22 | 8 | 8 | 8 | 8 |
| | 環境資源科学専攻 | 18 | 14 | 14 | 13 | 12 |
| | 計 | 60 | 52 | 51 | 50 | 47 |
| 法務研究科 | 法書養成専攻 | 20 | 11 | 9 | 4 | 2 |
| | 計 | 20 | 11 | 9 | 4 | 2 |
| 合 計 | 325 | 363 | 348 | 318 | 293 | |

■大学院(2年次転入学)

| 研究科・専攻 | | 募集人員 | 志願者 | 受験者 | 合格者 | 入学者 |
|------------------|-------------|------|-----|-----|-----|-----|
| 総合理工学研究科(博士後期課程) | マテリアル創成工学専攻 | 若干名 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| | 計 | — | 1 | 1 | 1 | 1 |
| 法務研究科 | 法書養成専攻 | 若干名 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| | 計 | — | 1 | 1 | 1 | 1 |
| 合 計 | — | 2 | 2 | 2 | 2 | |

■2014年度入試日程(予定)

| 区 分 | | 募集要項発表 | 願書受付期間 | 試験実施日 | 合格発表 |
|--------------------------------|------|--------|----------|---------|------|
| 一般入試 | 前期日程 | 11月下旬 | 1/27~2/5 | 2/25-26 | 3/7 |
| | 後期日程 | | | 3/12 | 3/21 |
| 専門高校・総合学科卒業生入試(医学部 看護学科) | | | | | |
| 推薦入試Ⅱ(法学部、教育学部) | | | | | |
| 推薦入試Ⅰ(総合理工学部、生物資源科学部) | | | | | |
| 推薦入試Ⅱ(医学部) | | | | | |
| 推薦入試Ⅱ(総合理工学部) | | | | | |
| 社会人入試(法学部) | | | | | |
| 地域枠推薦入試(医学部 医学科) | | | | | |
| 緊急医師確保対策枠推薦入試(医学部 医学科) | | | | | |
| 帰国生入試(法学部) | | | | | |
| 帰国生入試(生物資源科学部) | | | | | |
| 私費外国人留学生入試(法学部、総合理工学部、生物資源科学部) | | | | | |
| AO入試Ⅱ(教育学部) | | | | | |
| AO入試Ⅱ(総合理工学部 理工特別コース) | | | | | |
| AO入試Ⅰ(総合理工学部 地球資源環境学科) | | | | | |

卒業生数・修了者数

学部

2013.3.31現在

| 区 | 分 | 2012年度卒業生 | 累計 |
|---------|-------------------|-----------|--------|
| 法文学部 | 法経学科 | 93 | 506 |
| | 社会文化学科 | 68 | 416 |
| | 言語文化学科 | 73 | 1,042 |
| | 法学科 | — | 3,988 |
| | 社会システム学科 | — | 762 |
| | 文学科 | — | 1,586 |
| | 計 | 234 | 8,300 |
| 教育学部 | 学校教育課程 | 164 | 1,008 |
| | 学校教育教員養成課程 | — | 1,093 |
| | 生涯学習課程 | — | 527 |
| | 生活環境福祉課程 | — | 174 |
| | 小学校教員養成課程 | — | 4,790 |
| | 中学校教員養成課程 | — | 2,546 |
| | 養護学校教員養成課程 | — | 570 |
| | 幼稚園教員養成課程 | — | 574 |
| | 特別教科(音楽)校教員養成課程 | — | 1,152 |
| | 特別教科(保健体育)校教員養成課程 | — | 856 |
| | 社会教育文化課程 | — | 398 |
| | 計 | 164 | 13,688 |
| 医学部 | 医学科 | 91 | 3,065 |
| | 看護学科 | 65 | 745 |
| | 計 | 156 | 3,810 |
| 総合理工学部 | 物質科学科 | 132 | 1,640 |
| | 地球資源環境学科 | 37 | 598 |
| | 数理・情報システム学科 | 97 | 1,256 |
| | 電子制御システム工学科 | 81 | 984 |
| | 材料プロセス工学科 | 47 | 602 |
| | 計 | 394 | 5,080 |
| 生物資源科学部 | 生物科学科 | 32 | 415 |
| | 生態環境科学科 | 45 | 699 |
| | 生命工学科 | 38 | 562 |
| | 農業生産学科 | 42 | 470 |
| | 地域開発科学科 | 47 | 765 |
| | 計 | 204 | 2,911 |
| 文理学部 | | — | 3,950 |
| 理学部 | | — | 3,510 |
| 農学部 | | — | 5,141 |
| 合 | 計 | 1,152 | 46,390 |

専攻科他

| 区 | 分 | 2012年度修了者 | 累計 |
|---------------|---|-----------|-------|
| 文学専攻科 | | — | 18 |
| 理学専攻科 | | — | 45 |
| 教育専攻科 | | — | 232 |
| 農学専攻科 | | — | 11 |
| 合 | 計 | — | 306 |
| 教育学部 教員養成2年課程 | | — | 1,106 |

大学院

2013.3.31現在

| 区 | 分 | 2012年度修了者 (単位取得退学含む) | 累計 |
|----------------------|--------------|-------------------------|-------|
| 人文社会科学研究科 | 法経専攻 | 5 | 40 |
| | 言語・社会文化専攻 | 10 | 53 |
| | 法学専攻 | — | 56 |
| | 社会システム専攻 | — | 43 |
| | 言語文化専攻 | — | 32 |
| | 計 | 15 | 224 |
| | 教育学研究科 | 教育実践開発専攻 | 10 |
| 教育内容開発専攻 | | 16 | 80 |
| 学校教育専攻 | | — | 187 |
| 教科教育専攻 | | — | 412 |
| 計 | | 26 | 743 |
| 医学系研究科 (博士課程) | 形態系専攻 | 1 | 163 |
| | 機能系専攻 | 3 | 176 |
| | 生態系専攻 | 4 | 56 |
| | 医科学専攻 | 18 | 41 |
| | 計 | 26 | 436 |
| 医学系研究科 (修士課程) | 医科学専攻 | 14 | 74 |
| | 看護学専攻 | 12 | 89 |
| | 計 | 26 | 163 |
| 総合理工学研究科 (博士後期課程) | マテリアル創成工学専攻 | 6 | 62 |
| | 電子機能システム工学専攻 | 4 | 29 |
| | 計 | 10 | 91 |
| 総合理工学研究科 (博士前期課程) | 物質科学専攻 | 44 | 465 |
| | 地球資源環境学専攻 | 12 | 181 |
| | 数理・情報システム学専攻 | 31 | 275 |
| | 電子制御システム工学専攻 | 45 | 340 |
| | 材料プロセス工学専攻 | 12 | 133 |
| | 計 | 144 | 1,394 |
| 生物資源科学研究科 | 生物生命科学専攻 | 14 | 82 |
| | 農林生産科学専攻 | 13 | 53 |
| | 環境資源科学専攻 | 14 | 59 |
| | 生物科学専攻 | — | 71 |
| | 生態環境科学専攻 | — | 133 |
| | 生命工学専攻 | — | 110 |
| | 農業生産学専攻 | — | 66 |
| | 地域開発科学専攻 | — | 69 |
| | 計 | 41 | 643 |
| 法務研究科 | 法曹養成専攻 | 6 | 111 |
| | 計 | 6 | 111 |
| 理学研究科 | | — | 616 |
| 農学研究科 | | — | 739 |
| 法学研究科 | | — | 80 |
| 合 | 計 | 294 | 5,240 |

博士の学位授与者数

2013.3.31現在

| 区 | 分 | 課程博士 | | 論文博士 | |
|----------|---|--------|-----|--------|-----|
| | | 2012年度 | 累計 | 2012年度 | 累計 |
| 医学系研究科 | | 30 | 408 | 7 | 295 |
| 総合理工学研究科 | | 9 | 86 | 1 | 6 |

卒業・修了後の状況(2012年度)

■学部

2013.5.1現在

| 区分 | 法文学部 | 教育学部 | 医学部 | 総合理工学部 | 生物資源科学部 | 計 |
|-----------------|------|------|-----|--------|---------|-------|
| 卒業生 | 234 | 164 | 156 | 394 | 204 | 1,152 |
| 進学者 | 17 | 24 | 5 | 158 | 55 | 259 |
| 産業界内 | | | | | | |
| 農業、林業 | | | | 1 | 4 | 5 |
| 漁業 | | | | | | |
| 鉱業、採石業、砂利採取業 | | | | | | |
| 建設業 | 6 | | | 16 | 5 | 27 |
| 製造業 | 7 | 2 | | 45 | 22 | 76 |
| 電気・ガス・熱供給・水道業 | | 1 | | | 2 | 3 |
| 情報通信業 | 9 | | | 15 | 1 | 25 |
| 運輸業、郵便業 | 3 | | | 1 | 2 | 6 |
| 卸売業、小売業 | 33 | 2 | | 17 | 24 | 76 |
| 金融業、保険業 | 18 | 5 | | 8 | 7 | 38 |
| 不動産業、物品賃貸業 | 1 | | | 4 | 1 | 6 |
| 学術研究、専門・技術サービス業 | 5 | 1 | | 11 | 3 | 20 |
| 宿泊業、飲食サービス業 | 7 | | | 1 | 8 | 16 |
| 生活関連サービス業、娯楽業 | 9 | 1 | | 4 | 6 | 20 |
| 教育(学校教育) | 5 | 89 | 1 | 16 | 4 | 115 |
| 学習支援 | 4 | 4 | | 3 | 3 | 14 |
| 医療、福祉 | 13 | 6 | 56 | 7 | 7 | 89 |
| 複合サービス業 | 4 | 1 | | 3 | 10 | 18 |
| その他のサービス業 | 3 | 1 | | 14 | 4 | 22 |
| 公務(国家) | 7 | 1 | | 3 | 2 | 13 |
| 公務(地方) | 28 | 5 | | 16 | 10 | 59 |
| その他 | | | 1 | | | 1 |
| 就職者計 | 162 | 119 | 58 | 185 | 125 | 649 |
| 臨床研修医 | | | 87 | | | 87 |
| 無業者等 | 55 | 21 | 6 | 51 | 24 | 157 |

*「無業者等」は、「専修学校・外国の学校等の入学者」、「一時的な仕事に就いた者」、「未決定者」である。

■大学院

2013.5.1現在

| 区分 | 人文社会科学研究科 | 教育学研究科 | 医学系研究科 | | 総合理工学研究科 | | 生物資源科学研究科 | 法務研究科 | 計 |
|-----------------|-----------|--------|--------|------|----------|------|-----------|-------|-----|
| | | | 修士 | 博士一貫 | 博士前期 | 博士後期 | | | |
| 修了者 | 15 | 26 | 26 | 26 | 144 | 10 | 41 | 6 | 294 |
| 進学者 | 1 | | 2 | | 9 | | 5 | | 17 |
| 産業界内 | | | | | | | | | |
| 農業、林業 | | | | | | | 1 | | 1 |
| 漁業 | | | | | | | | | |
| 鉱業、採石業、砂利採取業 | | | | | | | | | |
| 建設業 | | | | | 8 | | 2 | | 10 |
| 製造業 | | | 1 | 2 | 51 | 1 | 9 | | 64 |
| 電気・ガス・熱供給・水道業 | | | | | 2 | | | | 2 |
| 情報通信業 | 1 | | | | 15 | 1 | | | 17 |
| 運輸業、郵便業 | | | | | 4 | | | | 4 |
| 卸売業、小売業 | | | 1 | | 4 | | 5 | | 10 |
| 金融業、保険業 | | | | | 2 | | 2 | | 4 |
| 不動産業、物品賃貸業 | | | | | | | | | |
| 学術研究、専門・技術サービス業 | 5 | | | | 9 | | 2 | | 16 |
| 宿泊業、飲食サービス業 | | | | | | | | | |
| 生活関連サービス業、娯楽業 | 1 | | 1 | | | | | | 2 |
| 教育(学校教育) | 1 | 16 | 4 | 12 | 13 | 6 | 3 | | 55 |
| 学習支援 | | 1 | | | 1 | | 1 | | 3 |
| 医療、福祉 | | 2 | 13 | 7 | | | 1 | | 23 |
| 複合サービス業 | | | | 1 | | | 1 | | 2 |
| その他のサービス業 | | | 1 | | 5 | | | | 6 |
| 公務(国家) | | | | | 1 | | | | 1 |
| 公務(地方) | 2 | 1 | 1 | | 5 | | 4 | | 13 |
| その他 | | | | | | | | | |
| 就職者計 | 10 | 20 | 22 | 22 | 120 | 8 | 31 | 6 | 233 |
| 無業者等 | 4 | 6 | 2 | 4 | 15 | 2 | 5 | 6 | 44 |

*「無業者等」は、「専修学校・外国の学校等の入学者」、「一時的な仕事に就いた者」、「未決定者」である。

●卒業後の主な就職先・進学先

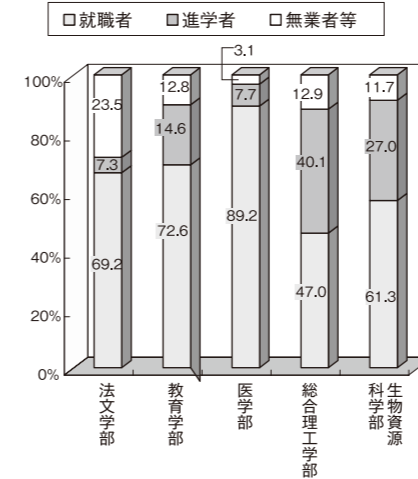
2013.5.1現在

| 区分 | 就職先・進学先 |
|---------|---|
| 法文学部 | <p>【就職先】商工中金、福岡銀行、玉島信用金庫、備北信用金庫、高松信用金庫、住友生命保険、生協共済組合、全日信販、日本郵政、リョーキ、一条工務店、大東建託、セキスイハイム中四国、アキュラホーム、トーエネック、新日本印刷、池上通信機、カルピス、サタケ、ミヨシ電子、JBSテクノロジー、KG情報、ニ葉、森本倉庫、JFE商事、天満屋ストア、小西医療器、生活協同組合コープこうべ、マルマン、トリドール、ダイキ、岡谷鋼機、美作グループ、エイチ・アイ・エス、ニッコウトラベル、トップツアー、アサヒサンクリーン、法務省、衆議院事務局、国税専門官、入国管理局、栃木県庁、福岡県庁、各務原市役所、福山市役所、安芸高田市役所、薩摩川内市役所、福岡県立学校、山形県警、長野県警、京都府警、宮崎県警、北海道文化財団</p> <p>《地元企業等》山陰合同銀行、島根銀行、鳥取銀行、鳥取信用金庫、NOSAI鳥取県中部、セコム山陰、鳥取スター電機、山陰中央テレビジョン放送、ティーエスケイ情報システム、出雲ケーブルビジョン、一畑電気鉄道、ミヨシ産業、東京靴、松江東急イン、皆生グランドホテル、雲南広域福祉会、米子自動車学校、JA島根中央会、JAくにびき・いずも・鳥取中央、島根県庁、鳥取県庁、出雲市役所、鳥取市役所、島根県警、島根県環境保健公社、島根大学</p> <p>【進学先】島根大学大学院、東京大学大学院、横浜国立大学大学院、神戸大学大学院、岡山大学大学院、岡山大学法科大学院、京都府立大学大学院、立教大学大学院、広島修道大学大学院</p> |
| 教育学部 | <p>【学校関係等】(小学校)島根県、鳥取県、岡山県、広島県、山口県、兵庫県、京都府、奈良県、神戸市(中学校)島根県、鳥取県、広島県、山口県、兵庫県(高等学校)兵庫県(特別支援)島根県、鳥取県、岡山県、山口県(私立学校)学校法人永島学園、学校法人水谷学園、学校法人就実学園、学校法人作陽学園(幼稚園・保育園)広島市立保育園、岡山市立保育園、たまち保育園・たまち育英北保育園、松江市立幼稚園、島根大学教育学部附属幼稚園</p> <p>【企業等】中兵庫信用金庫、阪急交通社、小西医療器、ブレンバンク、法務教官、豊岡市役所</p> <p>《地元企業等》島根銀行、鳥取銀行、米子信用金庫、山陰酸素工業、小松電機産業、JA斐川町、大田市役所、島根県警、出雲市消防本部</p> <p>【進学先】島根大学大学院、京都大学大学院、大阪大学大学院、大阪教育大学大学院、岡山大学大学院、広島大学大学院、九州大学大学院、鹿児島大学大学院</p> |
| 医学部 | <p>【医学科：臨床研修先】島根大学医学部附属病院、島根県立中央病院、松江赤十字病院、松江市立病院、松江生協病院、浜田医療センター、益田赤十字病院、東京大学医学部附属病院、京都大学医学部附属病院、広島大学病院、岡山大学病院、山口大学医学部附属病院、九州大学病院 など</p> <p>【看護学科：就職先】島根大学医学部附属病院、島根県立中央病院、出雲市市民病院、松江赤十字病院、島根県(保健師)、島根県公立学校(養護教諭)、岡山大学病院、広島大学病院、神戸大学医学部附属病院、京都大学医学部附属病院、鳥取大学医学部附属病院、国立循環器病研究センター など</p> |
| 総合理工学部 | <p>【就職先】京セラ、三菱電機、本田技研工業、マツダ、デンソー、アマダ、住友重機械工業、豊田自動織機、フタバ産業、ダイキン工業、福島工業、ダイフク、ジェイ・エム・エス、関西電力、中電プラント、インターネットイニシアティブ、熊谷組、協和エクシオ、住友林業、セントラル硝子、日亜化学工業、大和ハウス工業、イオンリテール、ヒマラヤ、太陽石油、倉敷紡績、新日本科学、アルプス技研、メイテック、国際航業、JR西日本、JR四国、山九、サカイ引越センター、滋賀銀行、中国銀行、三井住友海上火災保険、野村證券、大和証券、JA兵庫信連、兵庫県立学校、大阪府及び豊能地区公立学校、京都府公立学校、愛知県公立学校、福井工大附属福井高校、東京都庁、岐阜県庁、下関市役所、飯塚市役所、高岡市役所、宮崎県警察、岡山市消防局</p> <p>《地元企業等》島根富士通、島根島津、島根中井工業、島根トヨタ、山陰スバル、島根ナカバヤシ、島根銀行、日本海信用金庫、山陰中央新報社、島根電工、松崎製作所、キグチテクノス、イスカ、テクノプロジェクト、プロビズモ、ワコムアイティ、イズテック、三光、八幡物産、JA共済連島根、JA雲南・隠岐、松江赤十字病院、島根県庁、鳥取県庁、島根県警、鳥取県西部広域行政管理局</p> <p>【進学先】島根大学大学院、東京大学大学院、東京工業大学大学院、お茶の水女子大学大学院、名古屋大学大学院、大阪大学大学院、岡山大学大学院、広島大学大学院、九州工業大学大学院、慶應義塾大学大学院</p> |
| 生物資源科学部 | <p>【就職先】日本電産、日本ヒューム、日本新薬、テバ製薬、再春館製薬所、山崎製パン、オアシス、岩手缶詰、日本配合飼料、日本農産工業、鳥越製粉、カネコ種苗、雪印種苗、大塚アグリテクノ、ベルグアース、日本エコシステム、小西医療器、スタートゥデイ、天満屋、マックスバリュ西日本、成和産業、今治造船、JR西日本、広島銀行、宮崎銀行、高知信用金庫、ゆうちょ銀行、JA三次・兵庫南・わかやま・能美・みなみ信州、日本赤十字社、長野県国民健康保険団体連合会、香川県庁、長崎県庁、愛知県庁、長崎市役所、奈良町役場、広島県警、山口県警、大阪府警、和歌山県警、岡山市消防局、日本食肉格付協会</p> <p>《地元企業等》山陰合同銀行、島根銀行、米子信用金庫、島根トヨタ、山陰スバル、丸京製薬、大山ハム、アルファ食品、大山どり、田中種苗、東京靴、マリエ・やしろ、丸合、三光、守谷刃物研究所、カナツ技研工業、美保テクノス、JA島根中央会、JAくにびき・いずも・やすぎ、出雲市市民病院、島根労働局、島根県庁、島根県立大学、島根県警、しまね自然と環境財団</p> <p>【進学先】島根大学大学院、東北大学大学院、筑波大学大学院、奈良先端科学技術大学院、神戸大学大学院、鳥取大学大学院、岡山大学大学院、広島大学大学院、愛媛大学大学院</p> |

*順不同。大学院修了者の就職先を含む。

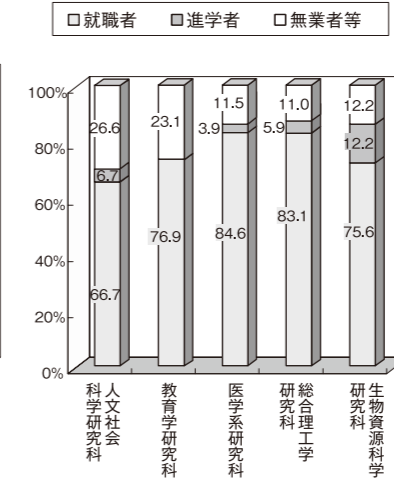
●卒業・修了後の状況(2013.5.1)

◆学部



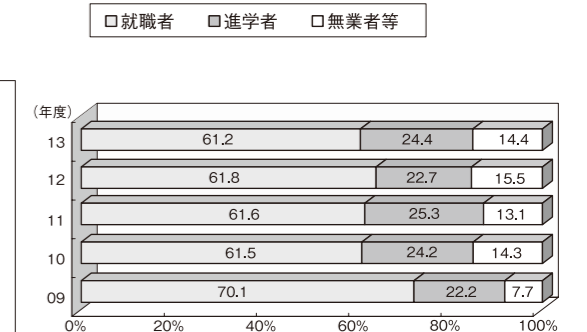
(注)医学部は、臨床研修医を含まない。

◆大学院



(注)法務研究科は含まない(修了者が少ないため)。

●卒業後の状況の推移(学部)



(注)各年度の5月1日現在のデータである。

公開講座・公開授業(2012年度)

公開講座

…有料 □…無料

| | 講座名 | 回数 | 総時間 | 募集人数 | 受講人数 | 開設場所 | 実施部局 |
|-------------------------------|---|---------|---------|---------|---------|-------------------|--------------|
| 前期 | 金曜日のドイツ語 (入門) -ドイツ語を始めましょう- | 12 | 12 | 15 | 12 | 松江キャンパス | 外国語教育センター |
| | 金曜日のドイツ語 (中級) -グリム童話をドイツ語で読みましょう- | 12 | 12 | 15 | 11 | 松江キャンパス | 外国語教育センター |
| | 硬式テニス教室 | 10 | 20 | 40 | 35 | 学内テニスコート | 教育学部 |
| | こども硬式テニス教室1A | 8 | 8 | 30 | 20 | 学内テニスコート | 教育学部 |
| | こども硬式テニス教室1B | 8 | 12 | 30 | 13 | 学内テニスコート | 教育学部 |
| | サツマイモを科学する | 6 | 9 | 20 | 12 | 本庄総合農場 | 生物資源科学部 |
| | 楽しいブルーベリー栽培 | 6 | 15 | 15 | 15 | 本庄総合農場 | 生物資源科学部 |
| | トマトの水耕栽培を体験しよう | 4 | 6 | 15 | 17 | 本庄総合農場 | 生物資源科学部 |
| | 泳げない子の水泳教室 | 5 | 15 | 20 | 20 | 学内プール | 教育学部 |
| | 少しでも泳げる子の水泳教室 | 5 | 15 | 20 | 29 | 学内プール | 教育学部 |
| | 使ってみよう!ワープロソフト・ワード | 4 | 8 | 25 | 10 | 松江キャンパス | 生物資源科学部 |
| | 上級者へステップアップ!ワープロソフト・ワード | 4 | 8 | 25 | 8 | 松江キャンパス | 生物資源科学部 |
| 後期 | 脂質栄養と健康2012-精神神経疾患と脂質栄養-(松江会場) | 1 | 2.5 | 200 | 73 | 島根県民会館 | 医学部 |
| | 脂質栄養と健康2012-精神神経疾患と脂質栄養-(浜田会場) | 1 | 2.5 | 200 | 70 | 浜田医療センター | 医学部 |
| | 石見学Ⅰ～世界遺産・石見銀山と中近世の石見(平成24年度島根大学ミュージアム市民講座第1ステージ) | 5 | 7.5 | 60 | 53 | 松江スティックビル | ミュージアム |
| | 第8回島根まるごとミュージアム体験ツアー | 1 | 5 | 40 | 38 | 松江市・雲南市 | ミュージアム |
| | 島根県の汽水湖(中海・宍道湖)の現状と将来像 | 5 | 7.5 | 24 | 22 | 松江キャンパス | 汽水域研究センター |
| | 松江の名産西条柿に親しもう | 3 | 6 | 30組(60) | 50 | 本庄総合農場 | 生物資源科学部 |
| | わが国における「医療の質」を考える | 3 | 4.5 | 20 | 18 | 松江キャンパス | 病院医学教育センター |
| | 感染症入門講座 | 4 | 6 | 50 | 33 | 出雲キャンパス | 医学部 |
| | 理科実験講座1 自然の中の放射線 | 1 | 2.5 | 20 | 14 | 出雲科学館 | 総合科学研究支援センター |
| | 理科実験講座2 台所は実験室 | 1 | 2.5 | 20 | 18 | 出雲科学館 | 総合科学研究支援センター |
| | 夏休み子供科学教室(※) | 1 | 2 | 40 | 30 | 出雲キャンパス | 医学部 |
| | 後期 | 硬式テニス教室 | 10 | 20 | 40 | 48 | 学内テニスコート |
| こども硬式テニス教室2A | | 8 | 8 | 30 | 21 | 学内テニスコート | 教育学部 |
| こども硬式テニス教室2B | | 8 | 12 | 30 | 15 | 学内テニスコート | 教育学部 |
| 松江の茶の湯文化と出雲の陶磁文化 | | 5 | 12.5 | 30 | 29 | 松江キャンパス・松江スティックビル | 生涯学習教育研究センター |
| 版画講座 | | 4 | 8 | 7 | 6 | 松江キャンパス | 教育学部 |
| 金曜日のドイツ語(初級) | | 10 | 10 | 15 | 7 | 松江キャンパス | 外国語教育センター |
| 金曜日のドイツ語(中級) | | 10 | 10 | 15 | 12 | 松江キャンパス | 外国語教育センター |
| みのりの小部屋 | | 5 | 5 | 20 | 4 | 松江キャンパス | 生物資源科学部 |
| 始めてみよう!表計算ソフト・エクセル | | 2 | 5 | 25 | 11 | 松江キャンパス | 生物資源科学部 |
| 続々・考古学・歴史学が語る先史・古代の「出雲」 | | 6 | 9 | 60 | 59 | 松江スティックビル | ミュージアム |
| これからの生涯学習社会を考える(※) | | 1 | 1.5 | 200 | 192 | 松江キャンパス | 生涯学習教育研究センター |
| 宍道湖の水環境を考える | | 1 | 5 | 30 | 19 | 松江スティックビル | 生涯学習教育研究センター |
| 「国語」の新境地 | 5 | 7.5 | 30 | 25 | 松江キャンパス | 教育学部 | |
| 誰でも参加できる 糖尿病教室 | 4 | 4 | 20 | 11 | 出雲キャンパス | 医学部 | |
| 松江地域文化を語る | 2 | 4 | 30 | 13 | 松江キャンパス | 生物資源科学部 | |
| キッズ サイエンススクール | 3 | 6 | 15組(30) | 46 | 松江キャンパス | 教育学部 | |
| 鳥大のブランド農産品「出雲おろち大根」「神在の里」を味わう | 1 | 2 | 20 | 6 | 出雲市内 | 生物資源科学部 | |
| パニック障害についての理解を深めよう。 | 1 | 2 | 30 | 26 | 出雲キャンパス | 医学部 | |
| わが国における早急に対策を必要としている事項もふまえて | | | | | | | |

(※)前期「夏休み子供科学教室」、後期「これからの生涯学習社会を考える」については同じ内容の講義を2回実施。募集人員・受講者数は各回の合計である。

公開授業

| | 講座名 | 曜日 | 時間 | 募集人数 | 受講人数 | 開設場所 | 実施部局 |
|--------------------------|-----------------------|--------|--------|------|----------|--------------|-----------|
| 前期 | 東アジアのこぼれと文学～七言絶句を作る～ | 月 | 1・2時限 | 10 | 1 | 松江キャンパス | 法文学部 |
| | 歴史学概論 | 月 | 3・4時限 | 10 | 2 | 松江キャンパス | 法文学部 |
| | 情報化社会と経済 | 月 | 7・8時限 | 5 | 6 | 松江キャンパス | 法文学部 |
| | 汽水域の科学 | 火 | 3・4時限 | 10 | 4 | 松江キャンパス | 汽水域研究センター |
| | 細胞学 | 火 | 3・4時限 | 5 | 1 | 松江キャンパス | 生物資源科学部 |
| | 山陰の歴史～古代・中世 | 火 | 5・6時限 | 10 | 9 | 松江キャンパス | 法文学部 |
| | 心の世界 | 火 | 5・6時限 | 10 | 2 | 松江キャンパス | 法文学部 |
| | フランス文化入門 | 火 | 5・6時限 | 10 | 9 | 松江キャンパス | 法文学部 |
| | 電気電子工学概論～デジタル電子技術の基礎～ | 火 | 9・10時限 | 5 | 0 | 松江キャンパス | 総合理工学部 |
| | 地函の歴史 | 水 | 1・2時限 | 5 | 3 | 松江キャンパス | 法文学部 |
| | 古代出雲の考古学 | 水 | 3・4時限 | 10 | 9 | 松江キャンパス | 法文学部 |
| | 心の形成 | 木 | 7・8時限 | 10 | 5 | 松江キャンパス | 法文学部 |
| 医療人類学 | 木 | 7・8時限 | 5 | 1 | 出雲キャンパス | 医学部 | |
| 文化人類学入門 | 木 | 9・10時限 | 10 | 6 | 松江キャンパス | 法文学部 | |
| 環境の化学 | 金 | 1・2時限 | 10 | 0 | 松江キャンパス | 総合理工学部 | |
| エレクトロニクスのはなし | 金 | 1・2時限 | 5 | 1 | 松江キャンパス | 総合理工学部 | |
| ユーラシアの歴史と民族 | 金 | 1・2時限 | 5 | 6 | 松江キャンパス | 法文学部 | |
| 基礎社会学Ⅰ | 金 | 3・4時限 | 5 | 4 | 松江キャンパス | 法文学部 | |
| アメリカ短編小説を読む | 金 | 3・4時限 | 3 | 5 | 松江キャンパス | 法文学部 | |
| 電気と磁気の物理学 | 金 | 3・4時限 | 5 | 1 | 松江キャンパス | 総合理工学部 | |
| 情報と地域～オーブンスーツと地域振興～ | 金 | 7・8時限 | 10 | 0 | 松江キャンパス | 総合情報処理センター | |
| 基礎社会学Ⅱ～家庭・地域について考える～ | 金 | 7・8時限 | 3 | 1 | 松江キャンパス | 法文学部 | |
| 環境問題通論A～21世紀に生きるための基礎知識～ | 金 | 9・10時限 | 10 | 0 | 松江キャンパス | 教育学部 | |
| 基礎フィールド演習 | 集中講義(不定期) | | 3 | 0 | フィールドワーク | 生物資源教育研究センター | |

| | 講座名 | 曜日 | 時間 | 募集人数 | 受講人数 | 開設場所 | 実施部局 |
|---|------------------------|---------|---------|------|---------|--------------|--------------|
| 前期 | 考古学概論Ⅰ | 月 | 5・6時限 | 10 | 3 | 松江キャンパス | 法文学部 |
| | 生産技術基礎実習Ⅰ | 月 | 7・8・9時限 | 5 | 0 | 本庄総合農場 | 生物資源科学部 |
| | 木によるものづくり実習Ⅲ | 月 | 9・10時限 | 5 | 1 | 松江キャンパス | 教育学部 |
| | 共生社会史 | 火 | 1・2時限 | 5 | 0 | 松江キャンパス | 教育学部 |
| | 日本史概説A | 火 | 1・2時限 | 10 | 2 | 松江キャンパス | 法文学部 |
| | 地域産業特論 | 火 | 3・4時限 | 5 | 0 | 松江キャンパス | 法文学部 |
| | 社会保障法 | 火 | 3・4時限 | 10 | 1 | 松江キャンパス | 法文学部 |
| | 地誌学概説～地誌書の作成による地域理解～ | 火 | 3・4時限 | 10 | 0 | 松江キャンパス | 教育学部 |
| | 地域産業論Ⅰ | 火 | 5・6時限 | 5 | 1 | 松江キャンパス | 法文学部 |
| | 共生社会演習(人文地理学)～人文地理学講読～ | 火 | 5・6時限 | 10 | 0 | 松江キャンパス | 教育学部 |
| | 財政学Ⅰ | 火 | 5・6時限 | 10 | 1 | 松江キャンパス | 法文学部 |
| | 日本史講義 | 火 | 7・8時限 | 10 | 2 | 松江キャンパス | 法文学部 |
| 東洋史概説A | 火 | 7・8時限 | 5 | 4 | 松江キャンパス | 法文学部 | |
| 日本文学史Ⅰ～平安後期と中世前期の王朝物語の世界～ | 火 | 9・10時限 | 10 | 3 | 松江キャンパス | 教育学部 | |
| 西洋史概説A | 水 | 3・4時限 | 10 | 5 | 松江キャンパス | 法文学部 | |
| 植物細胞工学 | 水 | 5・6時限 | 5 | 0 | 松江キャンパス | 総合科学研究支援センター | |
| 自然地理学概論 | 木 | 1・2時限 | 5 | 2 | 松江キャンパス | 法文学部 | |
| 耕地生産技術管理論 | 水 | 1・2時限 | 5 | 0 | 松江キャンパス | 生物資源科学部 | |
| 農業管理論 | 木 | 3・4時限 | 5 | 1 | 松江キャンパス | 生物資源科学部 | |
| 労働法Ⅰ | 木 | 3・4時限 | 10 | 3 | 松江キャンパス | 法文学部 | |
| 英米文学入門 | 木 | 3・4時限 | 3 | 3 | 松江キャンパス | 法文学部 | |
| 芸術学講義Ⅱ～美術を通して学ぶキリスト教～ | 木 | 5・6時限 | 10 | 10 | 松江キャンパス | 法文学部 | |
| 果実発育生理学 | 金 | 3・4時限 | 3 | 0 | 松江キャンパス | 生物資源科学部 | |
| 金融論Ⅰ | 木 | 7・8時限 | 5 | 6 | 松江キャンパス | 法文学部 | |
| 生産技術基礎実習Ⅲ | 木 | 7・8・9時限 | 5 | 1 | 本庄総合農場 | 生物資源科学部 | |
| 人文地理学概説Ⅱ | 木 | 9・10時限 | 10 | 0 | 松江キャンパス | 教育学部 | |
| 情報産業論 | 金 | 3・4時限 | 5 | 0 | 松江キャンパス | 法文学部 | |
| 高分子科学 | 金 | 3・4時限 | 5 | 0 | 松江キャンパス | 総合理工学部 | |
| 日本古典文学特殊講義～歴史物語の享受と継承と変容～ | 金 | 7・8時限 | 10 | 9 | 松江キャンパス | 教育学部 | |
| 歴史学史料演習G～伊藤博文「憲法義解」とその英訳 "Commentaries on the Constitution of the Empire of Japan"を読む～ | 金 | 7・8時限 | 3 | 0 | 松江キャンパス | 法文学部 | |
| 木によるものづくり実習Ⅰ | 金 | 9・10時限 | 5 | 3 | 松江キャンパス | 教育学部 | |
| 後期 | 中国文学における風土と人間 | 月 | 1・2時限 | 10 | 0 | 松江キャンパス | 法文学部 |
| | 現代経済へのアプローチ | 月 | 5・6時限 | 5 | 6 | 松江キャンパス | 法文学部 |
| | 考古学から見た古代山陰の世界 | 火 | 1・2時限 | 10 | 6 | 松江キャンパス | 法文学部 |
| | 遺伝学 | 火 | 1・2時限 | 3 | 0 | 松江キャンパス | 生物資源科学部 |
| | 遺伝子を考える | 火 | 3・4時限 | 5 | 0 | 松江キャンパス | 生物資源科学部 |
| | 地域づくり～地域教育の再生～ | 火 | 3・4時限 | 5 | 4 | 松江キャンパス | 生涯学習教育研究センター |
| | 汽水域の科学(応用編) | 火 | 7・8時限 | 10 | 3 | 松江キャンパス | 汽水域研究センター |
| | 環境問題通論B | 火 | 9・10時限 | 10 | 0 | 松江キャンパス | 教育学部 |
| | 動物の世界 | 木 | 3・4時限 | 5 | 2 | 松江キャンパス | 生物資源科学部 |
| | プレートテクトニクス | 木 | 7・8時限 | 10 | 5 | 松江キャンパス | 総合理工学研究所 |
| | 「酒」～一杯の酒から学問を覗く～ | 金 | 3・4時限 | 4 | 0 | 松江キャンパス | 法文学部 |
| | 遺伝と生物学 | 金 | 3・4時限 | 16 | 2 | 松江キャンパス | 生物資源科学部 |
| 島大ミュージアム学 | 金 | 3・4時限 | 10 | 3 | 松江キャンパス | ミュージアム | |
| 技術と社会 | 金 | 5・6時限 | 10 | 3 | 松江キャンパス | 総合理工学研究所 | |
| 知ることと生きること | 金 | 5・6時限 | 10 | 17 | 松江キャンパス | 法文学部 | |
| 情報科学演習B6 | 金 | 9・10時限 | 5 | 0 | 松江キャンパス | 教育学部 | |
| 考古学概論Ⅱ | 月 | 5・6時限 | 10 | 3 | 松江キャンパス | 法文学部 | |
| イギリス文学基礎演習Ⅱ | 月 | 5・6時限 | 3 | 4 | 松江キャンパス | 法文学部 | |
| 情報経済論 | 月 | 7・8時限 | 5 | 2 | 松江キャンパス | 法文学部 | |
| 地域産業論Ⅱ | 月 | 7・8時限 | 5 | 0 | 松江キャンパス | 法文学部 | |
| 現代フランス語入門 | 月 | 7・8時限 | 10 | 10 | 松江キャンパス | 法文学部 | |
| 生産技術基礎実習Ⅱ | 月 | 7・8・9時限 | 5 | 0 | 本庄総合農場 | 生物資源科学部 | |
| 木によるものづくり実習Ⅱ | 月 | 9・10時限 | 5 | 3 | 松江キャンパス | 教育学部 | |
| 財政学Ⅱ | 火 | 1・2時限 | 5 | 2 | 松江キャンパス | 法文学部 | |
| 労働法Ⅱ | 火 | 3・4時限 | 10 | 0 | 松江キャンパス | 法文学部 | |
| 地方財政論 | 火 | 3・4時限 | 5 | 4 | 松江キャンパス | 法文学部 | |
| 自然地理学特論 | 木 | 1・2時限 | 5 | 2 | 松江キャンパス | 法文学部 | |
| 環境経済論Ⅱ | 木 | 5・6時限 | 5 | 1 | 松江キャンパス | 法文学部 | |
| 風土環境論 | 木 | 7・8時限 | 10 | 5 | 松江キャンパス | 教育学部 | |
| 金融論Ⅱ | 木 | 7・8時限 | 6 | 4 | 松江キャンパス | 法文学部 | |
| 生産技術基礎実習Ⅳ | 木 | 7・8・9時限 | 5 | 0 | 本庄総合農場 | 生物資源科学部 | |
| 木と木工の知識 | 木 | 9・10時限 | 5 | 2 | 松江キャンパス | 教育学部 | |
| 経済学概論 | 金 | 3・4時限 | 5 | 4 | 松江キャンパス | 法文学部 | |
| 日本文学史Ⅰ～王朝物語文学とその周辺・前半～ | 金 | 5・6時限 | 10 | 2 | 松江キャンパス | 教育学部 | |
| 文化共生論～日本の王朝文学と「異界」～ | 金 | 7・8時限 | 10 | 3 | 松江キャンパス | 教育学部 | |
| 歴史学史料演習G | 金 | 7・8時限 | 2 | 2 | 松江キャンパス | 法文学部 | |

(※)1・2時限 8:30～10:00、3・4時限 10:15～11:45、5・6時限 12:45～14:15、7・8時限 14:30～16:00、9・10時限 16:15～17:45

(※)授業回数は14回です。

科学研究費補助金等の受入状況(2012年度)

■科学研究費補助金

| 研究種目 | 件数 | 金額(千円) |
|------------|-----|---------|
| 新学術領域研究 | 4 | 27,800 |
| 基盤研究(A) | 1 | 8,875 |
| 基盤研究(B) | 21 | 74,672 |
| 基盤研究(C) | 114 | 118,218 |
| 挑戦的萌芽研究 | 20 | 18,289 |
| 若手研究(A) | 1 | 300 |
| 若手研究(B) | 72 | 71,092 |
| 研究活動スタート支援 | 5 | 5,200 |
| 特別研究員奨励費 | 5 | 3,700 |
| 奨励研究 | 1 | 500 |
| 研究成果公開促進費 | 1 | 1,864 |
| 計 | 245 | 330,510 |

■民間等との共同研究

| 件数 | 金額(千円) |
|----|--------|
| 96 | 87,358 |

■受託研究

| 件数 | 金額(千円) |
|----|---------|
| 70 | 207,355 |

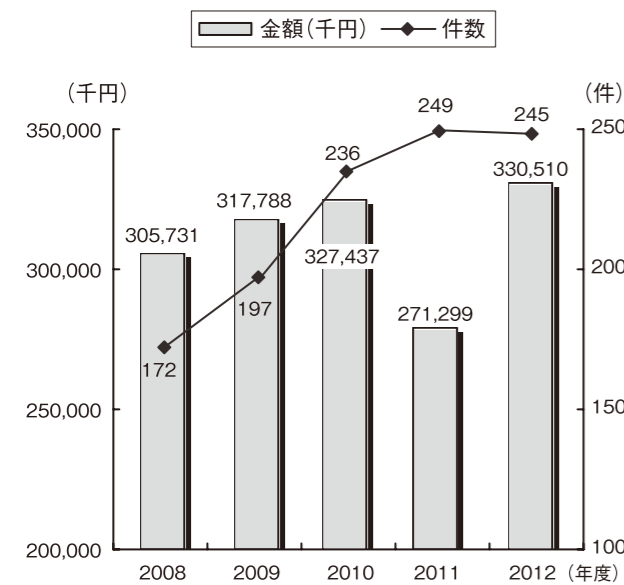
■寄付金

| 件数 | 金額(千円) |
|-----|---------|
| 593 | 551,156 |

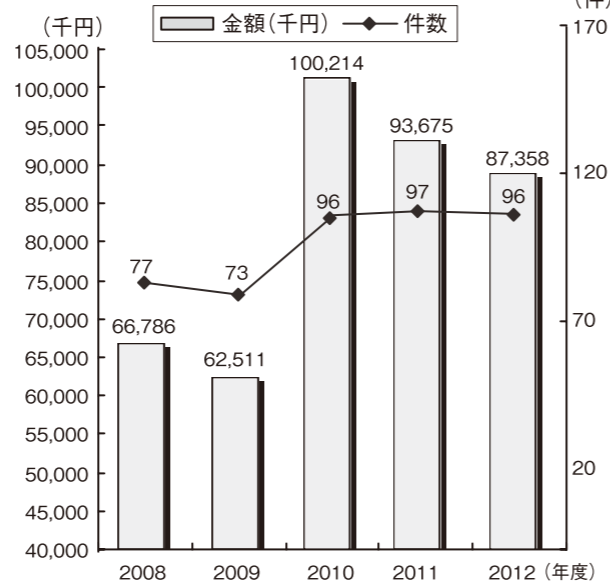
■発明届出等状況(2012年度)

| 発明届件数 | 出願件数 |
|-------|------|
| 30 | 20 |

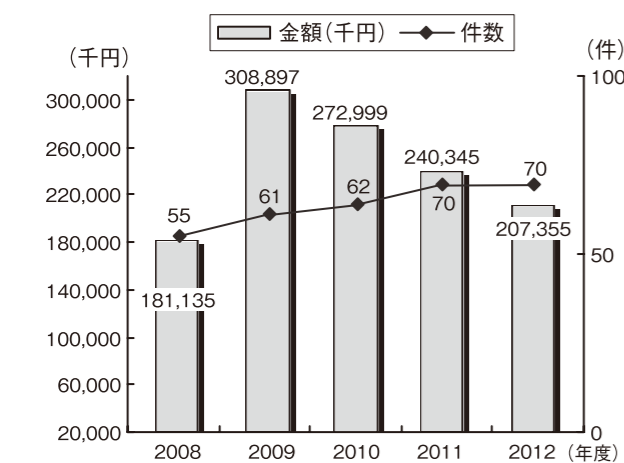
●科学研究費補助金受入状況



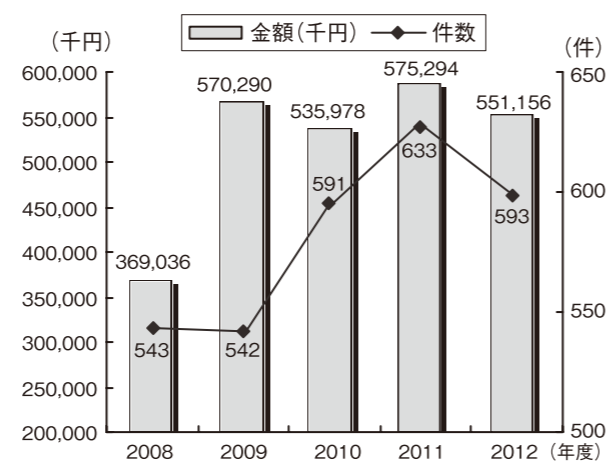
●民間等との共同研究実施状況



●受託研究受入状況



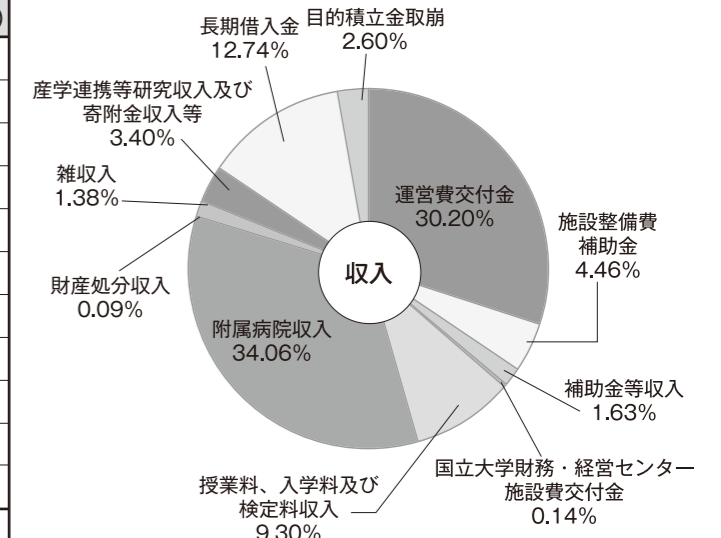
●寄付金受入状況



収入・支出決算額(2012年度)

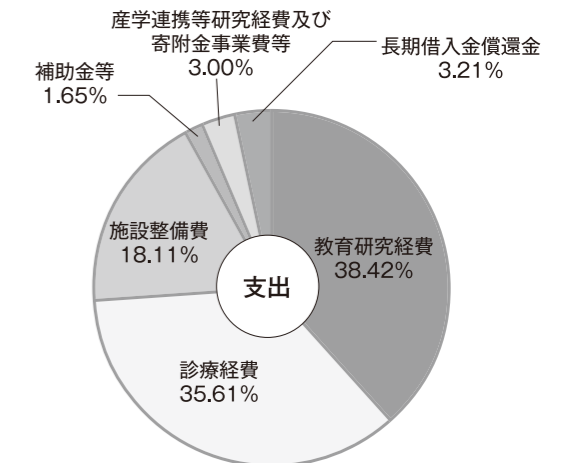
■収入

| 区分 | 金額(百万円) |
|---------------------|---------|
| 運営費交付金 | 11,215 |
| 施設整備費補助金 | 1,657 |
| 補助金等収入 | 604 |
| 国立大学財務・経営センター施設費交付金 | 53 |
| 授業料、入学金及び検定料収入 | 3,452 |
| 附属病院収入 | 12,648 |
| 財産処分収入 | 32 |
| 雑収入 | 513 |
| 産学連携等研究収入及び寄附金収入等 | 1,261 |
| 長期借入金 | 4,730 |
| 目的積立金取崩 | 966 |
| 合計 | 37,131 |

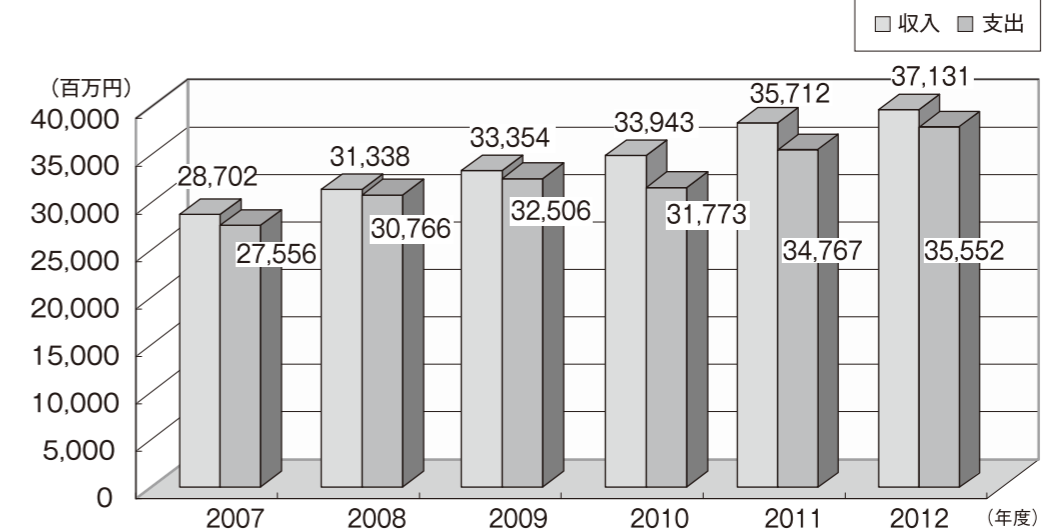


■支出

| 区分 | 金額(百万円) |
|-------------------|---------|
| 教育研究経費 | 13,658 |
| 診療経費 | 12,660 |
| 施設整備費 | 6,440 |
| 補助金等 | 585 |
| 産学連携等研究費及び寄附金事業費等 | 1,067 |
| 長期借入金償還金 | 1,142 |
| 合計 | 35,552 |



●収入・支出(歳入・歳出)の推移

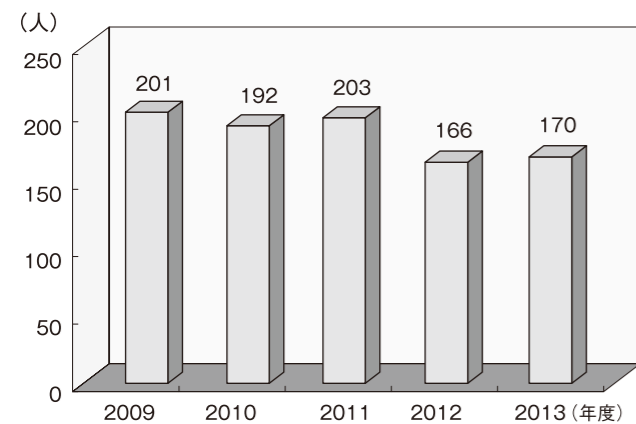


外国人留学生の受入状況

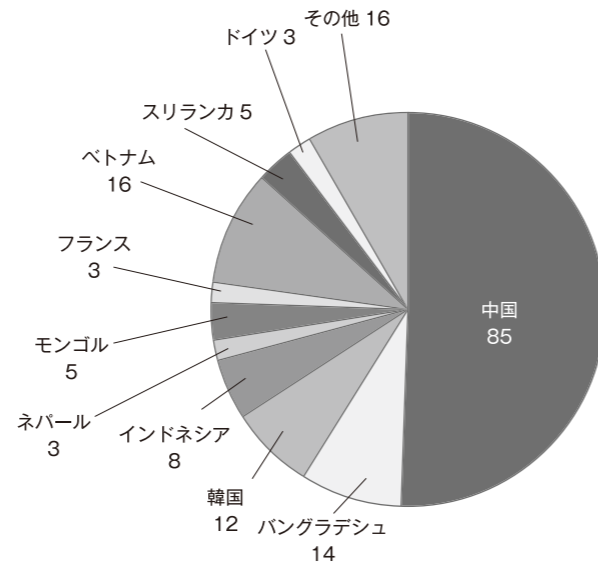
2013.5.1現在

| 学部等 | 法文学部 | | | 法文学部集計 | | 教育学部 | | 教育学部集計 | | 医学部 | | 医学部集計 | | 総合理工学部 | | | 総合理工学部集計 | | | 生物資源科学部 | | | 生物資源科学部集計 | | | 鳥取大学連合農学研究科集計 | | 総計 |
|---------|------|------|-------|--------|-------|------|-------|--------|------|-------|------|-------|-------|--------|------|-------|----------|------|-------|---------|------|-------|-----------|------|-------|---------------|--|----|
| | 学部学生 | 研究生等 | 大学院学生 | 研究生等 | 大学院学生 | 研究生等 | 大学院学生 | 学部学生 | 研究生等 | 大学院学生 | 学部学生 | 研究生等 | 大学院学生 | 学部学生 | 研究生等 | 大学院学生 | 学部学生 | 研究生等 | 大学院学生 | 学部学生 | 研究生等 | 大学院学生 | 学部学生 | 研究生等 | 大学院学生 | 大学院学生 | | |
| 中国 | 10 | 10 | 8 | 28 | 1 | 5 | 6 | 2 | 8 | 10 | 12 | 3 | 7 | 22 | 12 | 2 | 3 | 17 | 2 | 2 | 85 | | | | | | | |
| バングラデシュ | | 1 | | 1 | | | | | 8 | 8 | | | | | | | | | | 5 | 5 | 14 | | | | | | |
| 韓国 | 4 | 1 | | 5 | 3 | | 3 | | | | 1 | 1 | | 2 | 1 | | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 12 | | | | | | |
| インドネシア | | 1 | | 1 | 1 | | 1 | 2 | 2 | | | | 2 | 2 | 1 | | 1 | 2 | | | | 8 | | | | | | |
| ネパール | | | | | | | | | | | | | 2 | 2 | | | | | 1 | 1 | | 3 | | | | | | |
| モンゴル | | | | | | | | 3 | 3 | | | | 2 | 2 | | | | | | | | 5 | | | | | | |
| フランス | | 3 | | 3 | | | | | | | | | | | | | | | | | | 3 | | | | | | |
| タイ | | | | | | | | | | | | | 1 | 1 | | | | | | | | 1 | | | | | | |
| キルギス | | | | | | | | | | | | | 2 | 2 | | | | | | | | 2 | | | | | | |
| ベトナム | | | | | | | | | | | 8 | 3 | 11 | 2 | | 3 | 5 | | | | | 16 | | | | | | |
| ブラジル | | | | | 1 | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | |
| スリランカ | | | | | | | | | | | | | 5 | 5 | | | | | | | | 5 | | | | | | |
| ミャンマー | | | | | | | | 1 | 1 | | | | 1 | 1 | | | | | | | | 2 | | | | | | |
| パラグアイ | | | | | 1 | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | |
| エジプト | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | 1 | | | | 1 | | | | | | |
| ドイツ | | 3 | | 3 | | | | | | | | | | | | | | | | | | 3 | | | | | | |
| イギリス | | | | | | | | | 1 | 1 | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | |
| ギニア | | | | | | | | | | | | | 2 | 2 | | | | | | | | 2 | | | | | | |
| キューバ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | 1 | | 1 | | | | | | |
| ナイジェリア | | | | | | | | | | | | | 1 | 1 | | | | | | | | 2 | | | | | | |
| アフガニスタン | | | | | | | | | | | | | | | | | 2 | 2 | | | | 2 | | | | | | |
| 総計 | 14 | 19 | 8 | 41 | 7 | 5 | 12 | 2 | 23 | 25 | 21 | 4 | 28 | 53 | 16 | 2 | 10 | 28 | 11 | 11 | 170 | | | | | | | |

●留学生数の推移



●留学生の国籍内訳



外国への留学状況

■島根大学から留学した学生の数（2011年度）
（留学、語学研修、異文化研修、学会、フィールド調査等を含む）

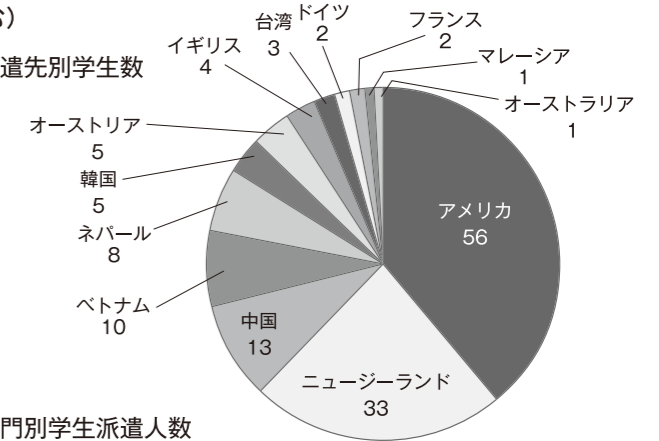
1. 派遣先別

| | |
|----------|-----|
| アメリカ | 56 |
| ニュージーランド | 33 |
| 中国 | 13 |
| ベトナム | 10 |
| ネパール | 8 |
| 韓国 | 5 |
| オーストリア | 5 |
| イギリス | 4 |
| 台湾 | 3 |
| ドイツ | 2 |
| フランス | 2 |
| マレーシア | 1 |
| オーストラリア | 1 |
| 合計 | 141 |

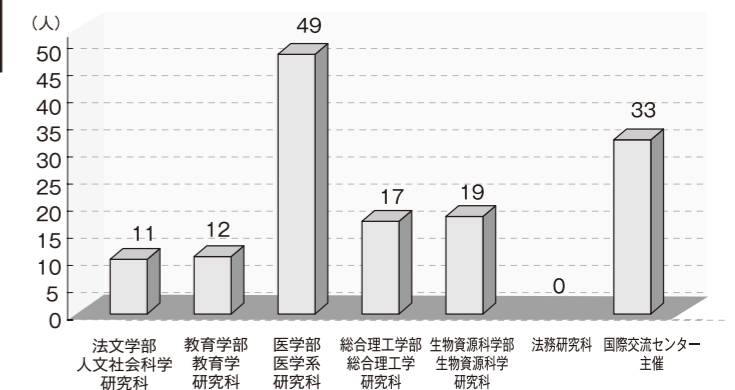
2. 部門別

| | |
|---------------|-----|
| 法文学部 | 11 |
| 人文社会科学研究科 | 12 |
| 教育学部 | 49 |
| 教育学研究科 | 17 |
| 医学部 | 19 |
| 医学系研究科 | 0 |
| 総合理工学部 | 33 |
| 総合理工学研究科 | 0 |
| 生物資源科学部 | 0 |
| 生物資源科学研究科 | 0 |
| 法務研究科 | 0 |
| 国際交流センター主催(※) | 33 |
| 合計 | 141 |

●派遣先別学生数



●部門別学生派遣人数



※国際交流センター主催事業参加者内訳

| | |
|---------|----|
| 法文学部 | 18 |
| 教育学部 | 1 |
| 医学部 | 1 |
| 総合理工学部 | 9 |
| 生物資源科学部 | 4 |
| 合計 | 33 |

■島根大学から交流協定校に交換留学した学生の数（2012年度）

| 派遣先 | 法文学部 | 教育学部 | 医学部 | 総合理工学部 | 生物資源科学部 | 総計 |
|------|------|------|-----|--------|---------|----|
| アメリカ | 2 | 1 | 0 | 0 | 0 | 3 |
| ドイツ | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 |
| ネパール | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 |
| 総計 | 4 | 1 | 0 | 0 | 1 | 6 |

奨学生数

2013.3.1現在

| 区分 | 学生数 | 日本学生支援機構 | | | 比率 |
|-----------|-------|----------|---------|-------|------|
| | | 第一種(注1) | 第二種(注1) | 計(注2) | |
| 法文学部 | 995 | 214 | 311 | 486 | 48.8 |
| 教育学部 | 699 | 160 | 232 | 364 | 52.1 |
| 医学部 | 887 | 138 | 208 | 310 | 34.9 |
| 総合理工学部 | 1,788 | 357 | 570 | 865 | 48.4 |
| 生物資源科学部 | 919 | 201 | 305 | 459 | 49.9 |
| 計 | 5,288 | 1,070 | 1,626 | 2,484 | 47.0 |
| 人文社会科学研究科 | 22 | 4 | 2 | 4 | 18.2 |
| 教育学研究科 | 49 | 16 | 2 | 18 | 36.7 |
| 医学系研究科 | 124 | 2 | 2 | 4 | 3.2 |
| | 63 | 3 | 1 | 3 | 4.8 |
| 総合理工学研究科 | 247 | 132 | 20 | 144 | 58.3 |
| | 15 | 7 | 1 | 8 | 53.3 |
| 生物資源科学研究科 | 86 | 45 | 4 | 47 | 54.7 |
| 法務研究科 | 30 | 11 | 4 | 13 | 43.3 |
| 計 | 636 | 220 | 36 | 241 | 37.9 |
| 合計 | 5,924 | 1,290 | 1,662 | 2,725 | 46.0 |

(注1)併用貸与者を含むのべ数 (注2)併用貸与者を含む実数

定期刊行文献

●学術雑誌

| 発行部局等名 | 文献誌名 | 編集 | 発行回数(年) |
|------------------|---|-------------------|---------|
| 法文学部 | 島大法学 | 法経学科・法務研究科 | 4 |
| | 経済科学論集 | 法経学科 | 1 |
| | 社会文化論集 | 社会文化学科 | 1 |
| | 島根大学社会福祉論集 | 社会文化学科福祉社会教室 | 隔年 |
| | 島大言語文化 | 言語文化学科 | 2 |
| 教育学部 | 山陰研究 | 山陰研究センター | 1 |
| | 島根大学教育学部紀要(教育学、人文・社会科学、自然科学) | 教育学部 | 1 |
| | 島根大学教育臨床総合研究 | 教育学部附属教育支援センター | 1 |
| | 島根大学教育学部心理臨床・教育相談室紀要 | 教育学部心理臨床・教育相談室 | 1 |
| | 附属小学校研究紀要 | 附属小学校 | 1 |
| | 附属中学校研究紀要 | 附属中学校 | 1 |
| | 附属学校園研究紀要 | 附属学校園 | 1 |
| 医学部 | 島根大学医学部紀要, Shimane Journal of Medical Science | 医学部 | 2 |
| 総合理工学部 | 島根大学総合理工学部紀要 | 総合理工学部 | 1 |
| | 島根大学地球資源環境学研究所報告 | 総合理工学研究科地球資源環境学教室 | 1 |
| 生物資源科学部 | 島根大学生物資源科学部研究報告 | 生物資源科学部 | 1 |
| 法務研究科 | 島根大学法文学部紀要法経学科・法務研究科篇(島大法学) | 法文学部法経学科・法務研究科 | 4 |
| 外国語教育センター | 島根大学外国語教育センタージャーナル | 外国語教育センター | 1 |
| 生涯教育推進センター | 島根大学生涯学習研究センター年報 | 生涯教育推進センター | 1 |
| 汽水域研究センター | 島根大学研究機構汽水域研究センター年次報告 | 研究機構汽水域研究センター | 1 |
| 総合科学研究支援センター | 島根大学研究機構総合科学研究支援センター教育研究活動報告 | 研究機構総合科学研究支援センター | 1 |
| 島根大学・寧夏大学国際共同研究所 | 島根大学・寧夏大学国際共同研究所年報 | 島根大学・寧夏大学国際共同研究所 | 1 |
| | 島根大学・寧夏大学国際共同研究所パンフレット | 島根大学・寧夏大学国際共同研究所 | 不定期 |

●広報紙等

| 発行部局等名 | 文献紙名 | 編集 | 発行回数(年) |
|------------|---|--|--|
| 総務課 | 島根大学概要 | 広報室 | 1 |
| | 島根大学案内 | 広報室 | 1 |
| | 広報しまだい | 広報室 | 4 |
| 法文学部 | 島根大学法文学部(学部案内) | 法文学部 | 1 |
| | 島根大学教育学部(学部案内) ShimanEdu.[シマネージュ] 1000時間体験学修 島根大学教員免許状更新講習パンフレット こころとそだちの相談室 園要覧(附属幼稚園) おりづる 学校要覧(附属小学校) 附小だより ちどり 学校要覧(附属中学校) 若樹 学校園要覧 | 教育学部 教育学部 教育学部 教育学部附属教育支援センター 教育学部附属教師教育研究センター 教育学部心理・発達臨床相談室 附属幼稚園 附属幼稚園 附属小学校 附属小学校 附属小学校 附属中学校 附属中学校 附属学校園 | 1 不定期 1 1 1 1 5 1 6 1 3 1 3 1 |
| 医学部 | 島根大学医学部(学部案内) | 医学部 | 1 |
| 医学部附属病院 | 病院ニュース しろうさぎ | 附属病院 | 4 |
| 総合理工学部 | 島根大学総合理工学部(学部案内) | 総合理工学部 | 1 |
| 生物資源科学部 | 島根大学生物資源科学部(学部案内) 生物資源科学部だより | 生物資源科学部 生物資源科学部 | 1 2 |
| 法務研究科 | 島根大学法科大学院(山陰法科大学院)パンフレット | 法務研究科 | 1 |
| | 島根大学大学院法務研究科(山陰法科大学院)地域法律相談センター案内 | 法務研究科 | 1 |
| 教育開発センター | 島根大学教育開発センター年報 | 教育開発センター | 1 |
| | 島根大学教育開発センターパンフレット | 教育開発センター | 不定期 |
| | 初年次教育プログラムパンフレット | 教育開発センター | 不定期 |
| | 島根大学優良教育実践表彰者の声 | 教育開発センター | 1 |
| | 島根大学卒業生・修了生に対する教育成果の検証に関する調査報告書 | 教育開発センター | 不定期 |
| 生涯教育推進センター | 島根大学生涯学習教育研究センター年報 | 生涯教育推進センター | 1 |
| | 島根大学生涯学習教育研究センターパンフレット | 生涯教育推進センター | 不定期 |
| 入学センター | 高大接続研究 | 入学センター | 1 |
| キャリアセンター | 島根大学キャリアセンター年報 | キャリアセンター | 1 |
| | 就活ハンドブック | キャリアセンター | 1 |
| | 島大就活日記 | キャリアセンター | 1 |
| | 企業就職担当者向けパンフレット | キャリアセンター | 1 |
| 保健管理センター | 保健管理センターのしおり(松江) | 保健管理センター松江 | 1 |
| | 保健管理センターのしおり(出雲) | 保健管理センター出雲 | 1 |
| 産学連携センター | 島根大学研究シーズ集 | 産学連携センター | 不定期 |
| | 島根大学産学連携センター年報 | 産学連携センター | 1 |
| | 島根大学産学連携センター・ニュースレター | 産学連携センター | 1 |
| 国際交流センター | SHIMANE UNIVERSITY PROSPECTUS | 国際交流センター | 1 |
| | 大学指南(中国語版大学概要) | 国際交流センター | 不定期 |
| | 島根大学リーフレット | 国際交流センター | 不定期 |
| 附属図書館 | 島根大学附属図書館概要 | 図書情報課 | 3年毎 |
| | 島根大学附属図書館年報 | 図書情報課 | 1 |
| | 島根大学附属図書館報: 澁雲 | 図書情報課 | 2 |
| | 本館ニュース「Li Me ライム」 | 図書情報課 | 毎月 |
| | 医学図書館ニュース「インフォ・アクセス」 | 図書情報課 | 毎月 |
| 総合情報処理センター | 島根大学総合情報処理センター(概要) | 総合情報処理センター | 不定期 |
| | 島根大学総合情報処理センター・News Letter | 総合情報処理センター | 1 |
| ミュージアム | 島根大学ミュージアム・ニュースレター | ミュージアム | 不定期 |
| | 島根大学ミュージアム年報 | ミュージアム | 1 |
| 男女共同参画推進室 | 島根大学男女共同参画推進室メールマガジン[さぼっと通信] | 男女共同参画推進室 | 不定期 |
| | 島根大学男女共同参画推進室事業報告書 | 男女共同参画推進室 | 不定期 |

土地・建物

2013.5.1現在

| 区分 | 土地 | 建物 | | 備考 |
|-----------------------|----------------|----------------|----------------|----------------------------------|
| | | 延面積 | 床面積 | |
| | m ² | m ² | m ² | |
| 松江キャンパス | 201,529 | 40,501 | 125,401 | |
| 本部管理棟 | | 704 | 2,789 | |
| 法文学部 | | 1,921 | 7,631 | |
| 教育学部 | | 4,132 | 16,554 | |
| 総合理工学部 | | 6,952 | 34,541 | 1,2,3号館 |
| 生物資源科学部 | | 5,047 | 22,342 | 1,2,3号館 |
| 生物資源科学部附属施設 | | 1,259 | 1,367 | 水利実験室、農業機械実験室、林産加工場、製材室 |
| 教養講義室 | | 1,301 | 4,292 | 1,2号館 |
| 大学ホール | | 820 | 831 | |
| 附属図書館 | | 2,035 | 6,826 | |
| 遺伝子実験施設 | | 515 | 1,514 | |
| 保健管理センター | | 261 | 479 | |
| 総合情報処理センター | | 361 | 683 | |
| ミュージアム | | 155 | 155 | |
| 汽水域研究センター | | 250 | 774 | |
| 古代出雲研究施設 | | 65 | 130 | |
| 光物性実験室 | | 53 | 53 | |
| 動物飼育室 | | 50 | 50 | |
| 体育施設 | | 4,863 | 5,293 | 第一、第二体育館、トレーニングセンター、プール棟、武道場、弓道場 |
| 学生センター | | 782 | 1,400 | |
| 学生支援センター | | 345 | 656 | |
| 学生会館松江 | | 877 | 2,166 | |
| 学生食堂 | | 1,592 | 1,636 | 学生食堂、第二食堂 |
| 課外活動施設 | | 515 | 1,976 | |
| 環境安全施設 | | 180 | 180 | |
| 有機廃液焼却施設 | | 93 | 93 | |
| 中央監視室 | | 69 | 69 | |
| 特高受変電室棟 | | 168 | 336 | |
| 学生寄宿舍 | | 2,237 | 7,466 | |
| その他 | | 2,899 | 3,119 | 倉庫及び雑建屋 |
| 附属学校キャンパス | 54,688 | 8,468 | 15,268 | |
| 教育学部附属幼稚園 | | 748 | 912 | 園舎、物置器具置場 |
| 教育学部附属小学校 | | 3,882 | 7,364 | 校舎、体育館 |
| 教育学部附属中学校 | | 3,838 | 6,992 | 校舎、体育館 |
| 出雲キャンパス | 222,625 | 40,485 | 127,320 | |
| 本部棟 | | 981 | 3,351 | |
| 講義棟 | | 661 | 1,915 | |
| 実習棟 | | 1,180 | 4,525 | |
| 基礎研究棟 | | 631 | 4,932 | |
| 臨床研究棟 | | 903 | 4,647 | |
| 共同研究棟 | | 601 | 2,312 | |
| 第二研究棟 | | 754 | 3,715 | |
| 第二共同研究棟 | | 395 | 1,087 | |
| 第三共同研究棟 | | 216 | 420 | |
| 第四共同研究棟 | | 207 | 415 | |
| RI・動物実験施設 | | 1,201 | 3,944 | |
| 附属図書館(医学部分館) | | 1,026 | 2,232 | |
| 附属病院棟 | | 14,038 | 57,977 | 外来・中央診療棟、病棟 |
| 高エネルギー診療棟 | | 1,156 | 1,270 | |
| 臨床講義棟 | | 884 | 1,434 | |
| 学生会館出雲 | | 833 | 1,998 | |
| 体育館 | | 1,315 | 1,175 | |
| 武道館 | | 457 | 422 | 武道場、弓道場、弓道練習場 |
| 中央機械室 | | 1,923 | 2,667 | |
| 医学部会館 | | 451 | 586 | |
| 保育所 | | 186 | 186 | |
| MRI-CT装置棟 | | 531 | 531 | |
| 病歴室 | | 175 | 482 | |
| 第三研究棟 | | 333 | 1,335 | |
| RI研究棟 | | 193 | 428 | |
| 塵芥焼却炉室・発電機室 | | 300 | 300 | |
| 国際交流会館出雲 | | 412 | 843 | |
| 看護学科棟 | | 1,211 | 6,189 | |
| 看護師宿舎 | | 984 | 4,007 | |
| 廃水処理施設管理室 | | 340 | 336 | |
| FI排水処理施設 | | 216 | 259 | |
| 特高変電棟 | | 215 | 410 | |
| 産学連携センター(出雲) | | 846 | 2,268 | 地域医学共同部門 |
| 立体駐車場 | | 3,921 | 7,771 | |
| その他 | | 809 | 1,051 | 倉庫及び雑建屋 |
| フィールド教育・研究キャンパス | 5,990,653 | 6,724 | 8,374 | |
| 生物資源科学部附属生物資源教育研究センター | | | | |
| 森林部門 | 5,805,317 | 510 | 718 | 三瓶演習林、匹見演習林、三坂山演習林 |
| 農業生産科学部門 | 180,749 | 5,320 | 6,150 | 本庄農場、神西農場 |
| 海洋生物科学部門 | 4,587 | 894 | 1,506 | 隠岐臨海実験所 |
| その他の地区 | 15,281 | 1,891 | 2,786 | |
| 江島地区 | 3,124 | 410 | 377 | 汽水域研究センター-中海分室 |
| 菅田地区 | 3,182 | 435 | 830 | 国際交流会館松江 |
| 柴地区 | 4,864 | 74 | 74 | 第2運動場 |
| 朝酌地区 | 1,315 | 304 | 364 | 朝酌艇庫 |
| 南田町地区 | 557 | 0 | 0 | |
| 北陵地区 | 1,350 | 668 | 1,141 | 産学連携センター(松江) |
| 曲がり田地区 | 889 | 0 | 0 | 曲り田 |

連絡先一覧

大学ホームページ <http://www.shimane-u.ac.jp> E-mail: webinfo@office.shimane-u.ac.jp

| 学部等 | 電話 | E-mail |
|-------------------|--------------|--------------------------------------|
| 法学部：人文社会科学部 | 0852-32-6113 | lit-jimu@office.shimane-u.ac.jp |
| 教育学部：教育学部 | 0852-32-6251 | edu-jimu@office.shimane-u.ac.jp |
| 附属教育支援センター | 0852-32-9836 | aces@edu.shimane-u.ac.jp |
| 附属教師教育センター | 0852-32-6495 | crte-shimane@edu.shimane-u.ac.jp |
| 附属FD戦略センター | 0852-32-9850 | |
| 附属幼稚園 | 0852-29-1120 | sora@edu.shimane-u.ac.jp |
| 附属小学校 | 0852-29-1200 | yaegumo@edu.shimane-u.ac.jp |
| 附属中学校 | 0852-29-1300 | shimafu@edu.shimane-u.ac.jp |
| 医学部：医学系研究科 | 0853-20-2015 | mga-somu@office.shimane-u.ac.jp |
| 医学部附属病院 | 0853-20-2061 | mse-iryoshien@office.shimane-u.ac.jp |
| 総合理工学部：総合理工学研究科 | 0852-32-6095 | sci-jimu@office.shimane-u.ac.jp |
| 生物資源科学部：生物資源科学研究科 | 0852-32-6492 | toiawase@life.shimane-u.ac.jp |
| 附属生物資源教育研究センター | 0852-34-0311 | ercbr@life.shimane-u.ac.jp |
| 法務研究科 | 0852-32-9835 | law-jimu@office.shimane-u.ac.jp |

| 機構等 | 電話 | E-mail |
|------------|--------------|--|
| 教育・学生支援機構 | | |
| 教育開発センター | 0852-32-9860 | cerd@soc.shimane-u.ac.jp |
| 外国語教育センター | 0852-32-9837 | |
| 生涯教育推進センター | 0852-32-6408 | eroll@edu.shimane-u.ac.jp |
| 入学センター | 0852-32-6073 | admissioncenter@office.shimane-u.ac.jp |
| キャリアセンター | 0852-32-6061 | ssd-shushoku@office.shimane-u.ac.jp |
| 保健管理センター | 0852-32-6568 | |
| 学生支援センター | 0852-32-6330 | |

| 研究機構 | 電話 | E-mail |
|---------------------|--------------|------------------------------|
| 戦略的研究推進センター | 0852-32-6056 | kenkyh04@jn.shimane-u.ac.jp |
| 重点研究部門 | 0852-32-6056 | kenkyh04@jn.shimane-u.ac.jp |
| 萌芽研究部門 | 0852-32-6056 | kenkyh04@jn.shimane-u.ac.jp |
| 特別研究部門 | 0852-32-6056 | kenkyh04@jn.shimane-u.ac.jp |
| プロジェクトセンター | 0852-32-6056 | kenkyh04@jn.shimane-u.ac.jp |
| 汽水域研究センター | 0852-32-6099 | kisui@soc.shimane-u.ac.jp |
| 産学連携センター | | |
| 地域産業共同研究部門 | 0852-60-2290 | crcenter@ipc.shimane-u.ac.jp |
| 知的財産創造部門 | 0852-60-2290 | crcenter@ipc.shimane-u.ac.jp |
| 連携企画推進部門（松江キャンパス） | 0852-60-2290 | crcenter@ipc.shimane-u.ac.jp |
| 地域医学共同研究部門（出雲キャンパス） | 0853-20-2912 | cmrc@med.shimane-u.ac.jp |

| 国際交流機構 | 電話 | E-mail |
|------------------|--------------|--------------------------------------|
| 国際交流センター | 0852-32-9756 | international@office.shimane-u.ac.jp |
| 島根大学・寧夏大学国際共同研究所 | 0852-32-9735 | ied-koryu@office.shimane-u.ac.jp |
| 学術情報機構 | | |
| 附属図書館 | 0852-32-6083 | library@lib.shimane-u.ac.jp |
| 総合情報処理センター | 0852-32-6091 | center@ipc.shimane-u.ac.jp |
| ミュージアム | 0852-32-6496 | museum@riko.shimane-u.ac.jp |
| 総合企画室 | 0852-32-6605 | |
| 評価室 | 0852-32-6605 | |
| 男女共同参画推進室 | 0852-32-9766 | kyodo-sankaku@edu.shimane-u.ac.jp |
| 広報室 | 0852-32-6603 | webinfo@office.shimane-u.ac.jp |
| 広島オフィス | 082-236-1926 | su-hiroshima@jn.shimane-u.ac.jp |

| 事務組織 | 電話 | E-mail |
|-------------|--------------|-------------------------------------|
| 監査室 | 0852-32-6026 | aud-kansa@office.shimane-u.ac.jp |
| 総務部 | 0852-32-6603 | gad-koho@office.shimane-u.ac.jp |
| 人事労務課 | 0852-32-6018 | pld-romu@office.shimane-u.ac.jp |
| 財務部 | 0852-32-6023 | fad-zaimu@office.shimane-u.ac.jp |
| 経理・調達課 | 0852-32-6027 | apd-chotatsu@office.shimane-u.ac.jp |
| 施設企画課／施設整備課 | 0852-32-6044 | fpd-msomu@office.shimane-u.ac.jp |
| 教育・学生支援部 | 0852-32-6052 | epd-kyoiku@office.shimane-u.ac.jp |
| 学務課 | 0852-32-7029 | sad-kyoiku@office.shimane-u.ac.jp |
| 学生支援課 | 0852-32-6330 | ssd-gakusei@office.shimane-u.ac.jp |
| 学術国際部 | 0852-32-6056 | rsd-kenkyu@office.shimane-u.ac.jp |
| 研究協力課 | 0852-32-6106 | ied-ryugaku@office.shimane-u.ac.jp |
| 国際交流課 | 0852-32-6248 | ipd-joho@office.shimane-u.ac.jp |
| 情報企画課 | 0852-32-6083 | library@lib.shimane-u.ac.jp |
| 図書情報課 | | |

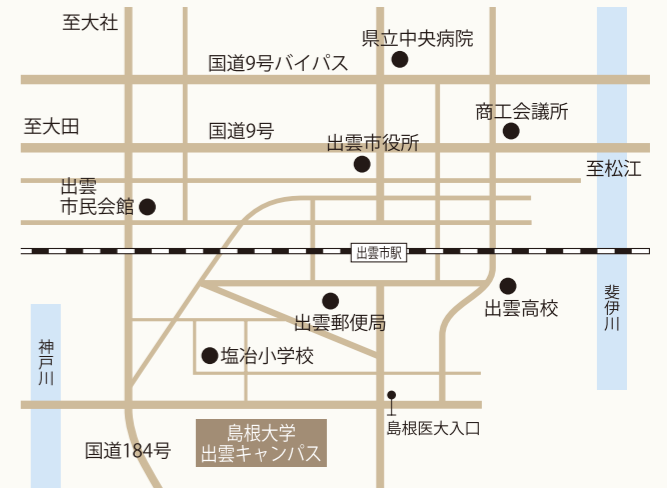
アクセス



| 空路 | 所要時間 |
|-----------------------------------|----------|
| 東京(羽田)→出雲 | 約1時間25分 |
| 福岡→出雲 | 約1時間5分 |
| 大阪(伊丹)→出雲 | 約1時間 |
| ※出雲空港から空港連絡バス松江行(約30分) J R松江駅下車 | |
| 東京(羽田)→米子 | 約1時間20分 |
| ※米子空港から空港連絡バス松江行(約45分) J R松江駅下車 | |
| J R | 所要時間 |
| 東京→岡山→松江 | 約6時間 |
| 福岡→岡山→松江 | 約4時間20分 |
| 大阪→岡山→松江 | 約3時間20分 |
| 高速バス | 所要時間 |
| 東京(渋谷)→松江 | 約10時間25分 |
| 大阪(梅田)→松江 | 約4時間40分 |
| 岡山→松江 | 約3時間 |
| 広島→松江[特急便] | 約2時間50分 |
| 福岡→松江 | 約10時間10分 |
| JR松江駅より | 所要時間 |
| 北循環線内回り 島根大学前下車 | 約15分 |
| 市営バス 島根大学・川津行 島根大学前下車 | 約20分 |
| ※他に「平成ニュータウン」「あじさい団地」「東高校」等もあります。 | |
| 一畑バス 美保関ターミナル行 島根大学前下車 | 約20分 |
| 一畑バス マリンゲートしまね行 島根大学前下車 | 約20分 |



| 空路 | 所要時間 |
|------------------------------------|----------|
| 東京(羽田)→出雲 | 約1時間25分 |
| 福岡→出雲 | 約1時間5分 |
| 大阪(伊丹)→出雲 | 約1時間 |
| ※出雲空港から空港連絡バス出雲市駅行(約25分) J R出雲市駅下車 | |
| J R | 所要時間 |
| 東京→岡山→出雲市 | 約6時間30分 |
| 福岡→岡山→出雲市 | 約4時間45分 |
| 大阪→岡山→出雲市 | 約3時間45分 |
| 高速バス | 所要時間 |
| 東京(渋谷)→出雲 | 約11時間20分 |
| 大阪(梅田)→出雲 | 約5時間35分 |
| 岡山→出雲 | 約4時間 |
| 広島→出雲[特急便] | 約2時間50分 |
| 福岡→出雲 | 約9時間10分 |
| JR出雲市駅より | 所要時間 |
| 一畑バス 出雲市駅・上塩治車庫行 島根医大病院前下車 | 約10分 |
| 市内循環左まわり(150円バス)・上塩治車庫行—島根医大入口下車— | 約5分 |
| 出雲須佐行 島根医大病院前下車(2番のりば) — | 約10分 |
| ※須佐行は、朝夕の便で經由しない便もありますのでご確認ください。 | |





人とともに 地域とともに
国立大学法人

島根大学

国立大学法人 島根大学概要
2013-2014

編集・発行 / 島根大学広報室(総務部総務課)

〒690-8504 島根県松江市西川津町1060 TEL. (0852) 32-6100
<http://www.shimane-u.ac.jp> E-mail: webinfo@office.shimane-u.ac.jp



学 章

総合大学として飛躍し、発展する島根大学を日本海の青色のUで、
知性を愛し感性を育む学問の探究を茜色の扉を本で象徴しています。